

SEKONIC 分光色彩照度計

C-7000 使用説明書



ご使用前に本使用説明書をよくお読みいただき製品の性能を十分ご理解いただいた後に取扱い及び保守をしていただくようお願い致します。なお、本使用説明書はお手元に大切に保管してください。基本的な操作については、スタートアップガイドをご覧ください。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この使用説明書をよくお読みになり、内容をご理解の上、安全に正しくお使いください。

SEKONIC C-7000 は、受光部に分光センサを搭載した分光色彩照度計です。本体に大型カラー液晶を搭載したことで、各種光源の演色性評価、相関色温度、色度図、スペクトルなどを手で直ぐに見ることを可能にした携帯型測定器です。また照度は JIS の A 級 DIN 5032 Part 7 Class C に準拠しておりますので、照度計としても安心してお使いいただける仕様しております。

SEKONIC C-7000 は、製造・検査工程での光源チェックはもちろん、建築現場・道路照明・植物工場などの現場での計測に威力を発揮いたします。

また本体と別に標準付属品である「C-700/C-7000 シリーズユーティリティ」により、タブレットまたはパソコンに USB 接続することでアプリケーションによる測定値やグラフ表示、本体設定、データ保存に対応しています。

※ ユーティリティは弊社製品ホームページのダウンロードサイトからダウンロードした後、パソコンにインストールしてください。

URL：www.sekonic.co.jp/product/meter/download/download.html






ご使用の際は USB ケーブル（ミニ B コネクター）でパソコンと本体「C-7000」を接続してください。

■用語と商標について

- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- Adobe Reader は、Adobe Systems Inc. の登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。
- X-Rite および ColorChecker は、X-Rite、Inc の米国およびその他の国における商標または登録商標です。全著作権所有。
- その他の社名、商品名などは、日本及び海外における各社の商標または登録商標です。

正しく安全にお使いいただくために

ご使用になる前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

 警告	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が死亡、または重傷を負う可能性があることを示す警告マークです。
 注意	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合、製品の使用者等が軽傷、または中程度の傷害を負う可能性がある状況、または物的損害が予想される危険状況を示す注意マークです。
 ご注意	操作をする上での注意や制限です。誤った操作をしないために、必ずお読みください。
 ご参考	操作の参考になることや、関連した機能などについての情報です。お読みになることをお勧めします。
	参照ページを示しています。

警告

- 乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。
- 電池を火の中に入れて、ショート、分解、加熱、規格適合品ではない電池の使用は絶対しないでください。電池が破裂し火災、ケガ、周囲を汚染する原因となります。
- 引火性・可燃性（ガソリンなど）蒸気のあるところでは使用しないでください。火災の原因になります。
- 本製品に液体をこぼしたり、金属類を入れないでください。火災や感電の原因になります。万一、液体をこぼしたり金属類が入った場合は、ただちに電源を切り、電池を取り外し（あるいは USB ケーブルを抜いて）、お問い合わせ窓口にご相談ください。
- 本製品を分解あるいは改造しないでください。火災や感電の原因になります。

注意

- 雨中、水しぶきがかかる場所や製品の水没、または水気のあるところ、濡れた手で扱うことはしないでください。「フラッシュ光コード接続モード」では感電の危険があります。また、製品が故障する原因となる場合があります。
- 本体は絶対に改良や分解をしないでください。測定結果への影響、或いは故障の原因になる恐れがあります。
- 液晶に無理な力をかけたり、落したり、衝撃を与えたりしないでください。またカバンやポケットに入れている時でも、無理な力が加わると液晶の故障や破損の恐れがあります。
- 本製品に同梱されている CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。
- 液晶画面は、指先で軽くタッチして操作してください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いものを使用すると、液晶表示部に傷が付いたり、故障する原因となります。
- 乳幼児等が誤ってストラップを掴んで振り回すことのないように手の届かない場所に置いてください。衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- 持ち運びの際に、ストラップが絡まないように注意してください。落下等の衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- ストラップの素材はポリエステル繊維を使用しています。合成繊維による皮膚のかぶれや発赤、かゆみを引き起こされているときは、症状の悪化を防ぐため、ご使用はお控えください。
- 測定範囲（波長、照度）を超える明るいものを測定しないでください。光学部品に損傷を与え、安定した測定ができなくなる場合があります。
- 電池、USB コネクタの取り外しを行う場合は、必ず電源スイッチを OFF にしてください。故障の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた面など不安定なところに置かないでください。落下・転倒してけがの原因になる場合があります。

ご注意

- 液晶画面には保護シートが貼られています。剥がしてからご使用ください。
- 液晶画面には一部点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合がありますが、これは故障ではありません。
本製品の有効ドット数に対する品質基準の割合は 99.9% 以上です。
有効ドット数の割合とは、「液晶ディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、当社で保証する表示可能なドットの割合」を示しています。
- 2000 m 以下の高度でご使用ください。
- 操作の誤りなどにより、メモリーされているデータが消去された場合でも、当社としては責任を負いかねます。
- 本製品に同梱されている CD-ROM について、お客様は CD-ROM に同梱している契約書の各条件に同意された場合のみ、CD-ROM のソフトウェアをインストールして使用することができます。
- 落下または急激な衝撃は絶対に避けてください。故障の原因になります。
- 高温な場所や多湿な場所には保管しないでください。故障の原因になります。
- 急激な温度変化による結露に注意してください。故障や誤動作の原因になります。
- ご使用となる場所の温度が冬季のご使用等で -10°C 以下になると、液晶表示の応答が非常に遅くなり、表示が読みにくくなります。温度が $0 \sim 10^{\circ}\text{C}$ では液晶表示の応答が若干遅くなりますが、ご使用には差し支えありません。また、温度が 50°C を超えると液晶表示が黒くなり、表示が読みにくくなりますが常温に戻ると元の状態になります。
- 真夏の直射日光下や車中、または暖房装置等の近くに放置すると、本機の温度が上昇し、故障の原因となる場合があります。このような場所での取り扱いにはご注意ください。
- 腐食性のガスが発生する恐れのある場所に放置すると、ガスの影響で本機の故障の原因となる場合があります。このような場所での取り扱いにはご注意ください。
- 本製品を廃棄する場合は、お住まいの自治体のゴミ廃棄方法に従って処理してください。

お手入れについて

- 精度に影響を与える恐れがありますので、受光部にはホコリ、ゴミ、傷を付けないように扱ってください。
- 本機が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は、絶対に使用しないでください。

ご参考

- 使用済みの電池は各自治体のルールに従って処分してください。
- 使用済みの電池を破棄する際はプラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 電池を分解しないでください。

■ 使用の目的

以下の様な場面でご使用できます。

- LED、有機 EL、プロジェクターなどの各種照明の相関色温度、色偏差、演色性（CRI、TM-30、SSI、TLCI/TLMF）、照度、三刺激値、色度座標、主波長、刺激純度の測定
- 車載用 LED ヘッドライトや各種ランプの測定
- 光バイオ反応の照度測定
- 植物工場の照度・光源の分光分布
- 道路照明、屋内照明、店舗照明、などの照度・色温度・演色性評価
- 光源メーカーでの生産における光源の性質、照度、色をチェック

C-7000 の主な特徴

機種名	用途	特徴
C-7000	産業用途	<p>撮影時の定常光及びフラッシュ光、環境光の管理、機材としての光源管理。</p> <ul style="list-style-type: none">• CRI、SSI、TLCI、TLMF、TM-30 などの各種演色評価モードに対応• 相関色温度 (1,563 K ~ 100,000 K)• 照度測定 (1 lx ~ 200,000 lx)• 露光量測定 (20 lx·s ~ 20,500 lx·s)• 充実した測定値の表示<ol style="list-style-type: none">(1) 色温度 (K = ケルビン)(2) 色偏差 (Δuv)(3) CIE1931、CIE1964 色度座標 (x, y)(4) u'v' 色度図 (CIE1976)(5) CRI (Ra、R1 ~ R15)(6) 照度 / 露光量 (定常光 / フラッシュ光)(7) TM-30 (Rf、Rg)(8) SSI (タングステン光、CIED55 またはメモリーした値との比較)• 各種表示モード<ol style="list-style-type: none">(1) テキストモード(2) スペクトル (分光分布) グラフ(3) CRI / 比較モード(4) TM-30 モード(5) SSI モード(6) TLCI/TLMF モード(7) CIE1931、CIE1964 色度座標 (x, y) / 比較モード

■ 使用対象者

本製品をご使用になられる対象者について、以下の様な方々のご使用を想定しております。

- LED、有機 EL、プロジェクターなどの品質管理、研究などに従事されている方。
- 照明設置工事業者、美術館、レストラン、インテリアなどの照明デザイナーなどで光源管理をされる方。
- 植物工場や、研究で光源を管理される方。

■ 制限事項

ご使用にあたり、いくつかの注意・制限事項があります。

お手数ですが、以下の内容にご同意いただいた上で、ご使用いただきますようお願い致します。

ご注意

- 使用説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。アップデートされた最新の使用説明書を弊社ホームページからダウンロードしてご利用されることをお勧めします。
URL：www.sekonic.co.jp/product/meter/download/download.html
 - 「使用上のご注意」や「安全上のご注意」など安全に関する注意事項は、使用説明書作成時点での法的基準や業界基準に拠った内容になっております。従いまして、記載内容が最新の内容ではない場合もありますので、過去の使用説明書のご利用にあたっては、最新の使用説明書に記載されている、安全に関する注意事項を参照くださいますようお願いいたします。
 - 製品には、使用説明書を補足するために、安全に関する注意事項・正誤表などの印刷物が同梱されている場合がありますのであらかじめご了承ください。
 - 使用説明書の内容は、非営利の目的でかつ個人的用途に利用する場合に限り、複製することができます。但し、かかる複製物には当社の著作権表示が付されていることを条件とします。
 - 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
 - 本製品及び本書内容については、将来予告なしに変更することがあります。
 - 使用説明書の画面は、実際のものとは異なることがあります。(色・文字等)
-

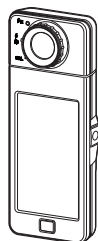
同梱品の確認

本体の他に以下の付属品が同梱されています。開梱後、付属品に不足がないことをご確認ください。

※ 万が一足りないものがあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

※ 単3形電池（2本）は同梱しておりません。別途、お買い求めください。

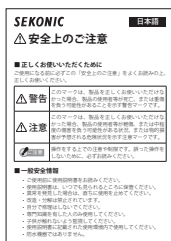
本体



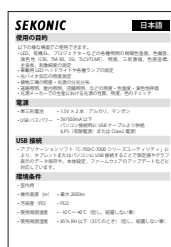
スタートアップガイド（保証書付き）



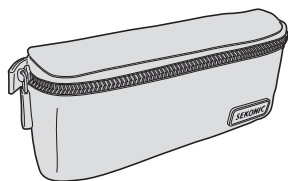
安全上のご注意



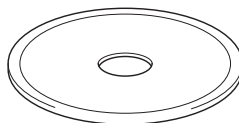
要求事項と安全上のご注意



ソフトケース



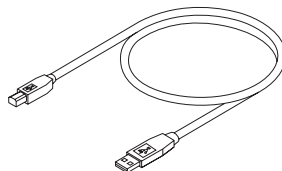
CD-ROM
(使用説明書、C-700/C-7000 シリーズ
ユーティリティ)



ストラップ



USB ミニ B ケーブル



目次

■ 正しく安全にお使いいただくために	i
 警告	i
 注意	ii
■ 使用の目的	iv
■ 使用対象者	v
■ 制限事項	v
■ 同梱品の確認	vi
1. 各部の名称と機能	1
1-1 名称	1
1-2 各部の名称と機能	2
2. ご使用の前に	3
2-1 ストラップの付け方	3
2-2 電池の入れ方	4
2-3 電源の ON/OFF	5
2-4 オートパワーオフ機能	9
2-5 電池容量の確認	10
2-6 電池の交換	11
3. 画面操作	12
3-1 画面と操作	12
3-1-1 基本画面と操作	12
3-1-2 アイコンの操作	17
3-1-3 数字・文字の入力	18
3-1-4 画面のロックと解除	20
4. 基本操作	21
4-1 基本的な操作の流れ	21
4-2 測定モードの選択	23
4-2-1 光源に測定モードを合わせる	23
4-2-2 露光時間を選択する（定常光モードのみ）	25
4-2-3 シャッター速度を選択する（フラッシュ光モードのみ）	26
4-3 表示項目の選択	28
4-4 表示モードの選択	30

4-4-1	テキストで表示する [テキスト]画面	35
4-4-2	スペクトルで表示する [スペクトル]画面	38
4-4-3	演色評価数で表示する [CRI]画面	41
4-4-4	TM-30 の評価指数で表示する [TM-30]画面	44
4-4-5	SSI の評価指数で表示する [SSI]画面	46
4-4-6	TLCI/TLMF の評価指数で表示する [TLCI/TLMF]画面	57
4-4-7	CIE1931 (CIE1964) で表示する [CIE1931 (CIE1964)]画面	62
4-4-8	CIE1976 で表示する [CIE1976]画面	64
4-4-9	スペクトル比較で表示する [スペクトル比較]画面	66
4-4-10	演色評価比較で表示する [CRI 比較]画面	71
4-4-11	CIE1931 (CIE1964) 比較で表示する [CIE1931 (CIE1964) 比較]画面	75
4-4-12	CIE1976 比較で表示する [CIE1976 比較]画面	79
4-4-13	本体設定を表示する [本体設定]画面	83
5.	光源を測定する [測定画面]	85
5-1	測定方法	85
5-2	定常光モードでの測定	86
5-3	フラッシュ光コードレスモードでの測定	90
5-4	フラッシュ光コード接続モードでの測定	94
5-5	モニター機能 (定常光モードのみ)	98
5-6	[Over]、[Under] 表示のときは	102
5-6-1	[Over]、[Under] の表示	102
5-6-2	レンジを切り換える	103
6.	測定のツール [ツールボックス]画面	104
6-1	プリセットの選択 [プリセット選択]画面	105
6-2	メモリー機能	108
6-2-1	メモリーした測定値にタイトルを付ける [メモリータイトル]画面	109
6-2-2	測定結果を呼び出す [メモリーリコール]画面	113
6-2-3	メモリータイトルを変更する [メモリーリネーム]画面	118
6-2-4	保存した測定結果を削除する [メモリークリアー]画面	121
6-3	露光時間の切り替え [露光時間]画面	126
6-4	シャッター速度を選択する [シャッター速度]画面	128
6-5	測定方法を選択する [測定方法]画面	130
7.	本体の設定 [本体設定]画面	133
7-1	本体設定の項目	133

7-1-1	項目一覧	135
7-2	カスタマイズする	136
7-2-1	各項目の仕様	137
7-2-2	スペクトル Y 軸スケールの選択	138
7-2-3	オートパワーオフ時間の選択	141
7-2-4	液晶バックライト明るさの選択	143
7-2-5	液晶バックライト減灯時間の選択	145
7-2-6	言語の選択	147
7-2-7	カスタマイズ項目初期化	149
7-3	プリセットの編集	150
7-3-1	プリセット選択のリスト表示	156
7-3-2	プリセット名の設定	158
7-3-3	Tcp の設定	160
7-3-4	Δuv の設定	162
7-3-5	三刺激値 Y の設定	164
7-3-6	ピーク波長 λp の設定	166
7-3-7	CRI の設定	168
7-3-8	Ra の設定	170
7-3-9	PPFD の設定	172
7-3-10	Rf の設定	174
7-3-11	Rg の設定	176
7-3-12	SSlt の設定	178
7-3-13	SSld の設定	180
7-3-14	TLCI の設定	182
7-4	ダーク補正	184
7-5	本体情報表示	187
7-5-1	法規表示	189
7.	ハードウェア設定画面	190
7-1	タッチパネル調整の調整	192
7-2	ユーザー情報の設定	195
7-3	視野	197
7-4	工場出荷時設定	199
8.	付録	202
8-1	用語集	202

8-2 仕様	204
8-3 法的要求事項	209
9. 別売アクセサリ	210
10. トラブルシューティング	211
11. アフターサービスについて	213

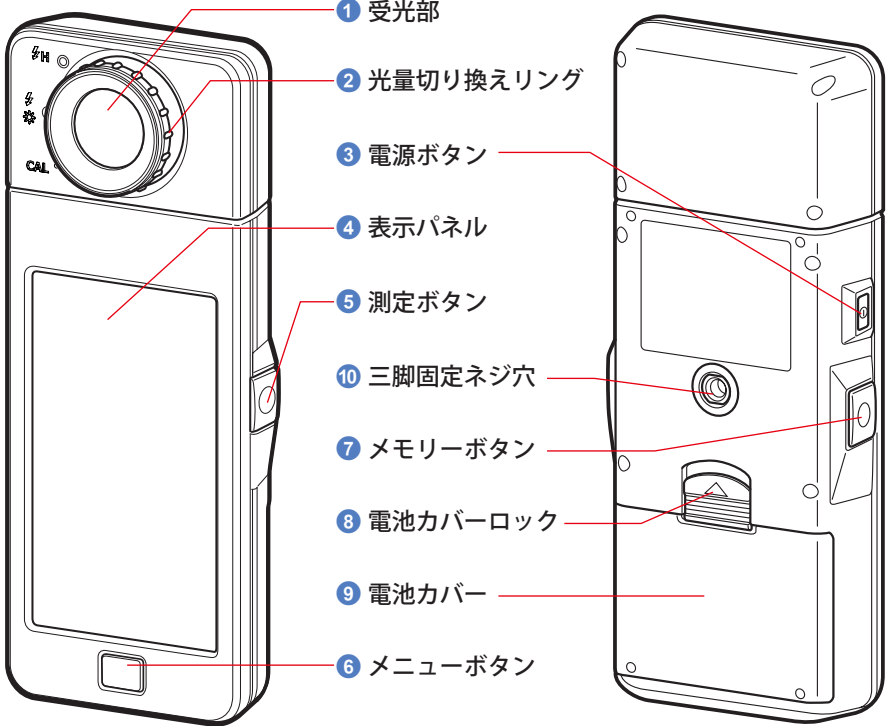
1. 各部の名称と機能

1-1

名称

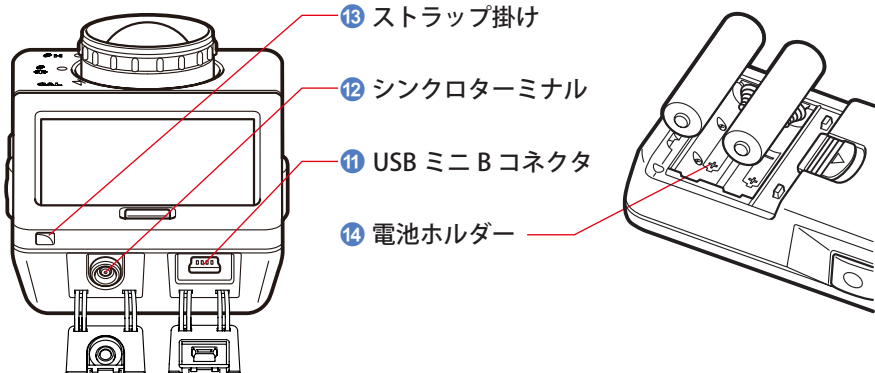
前 面

背 面



底 面

電池ホルダー部



1-2 各部の名称と機能

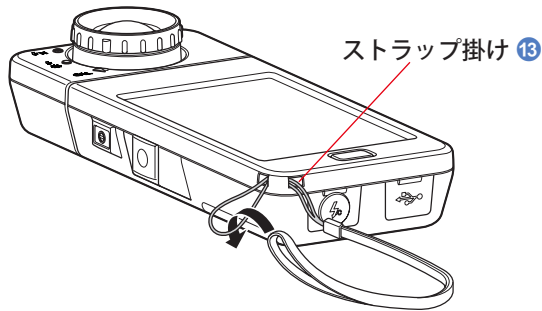
以下に各部の機能を示します。

No.	名称	機能
①	受光部	測定時、照明（光源）に向けます。270 度自由に回転します。
②	光量切り換えリング	ダーク補正やフラッシュ光の測定レンジ切り換えのため、回転させて光量を切り換えます。
③	電源ボタン	電源を ON/OFF します。
④	表示パネル	設定画面や測定画面などが表示されます。タッチパネル機能付きで、画面にタッチすることにより、各種設定・選択・操作を行うことができます。（➡P17）
⑤	測定ボタン	測定を行います。
⑥	メニューボタン	押すと表示モード選択画面に移ります。
⑦	メモリーボタン	測定後に押すと測定データを記憶します。
⑧	電池カバーロック	電池カバーのロック部です。
⑨	電池カバー	電池カバーです。
⑩	三脚固定ネジ穴	三脚固定用のネジ穴です（1/4 インチ、20 ネジ山）。
⑪	USB ミニ B コネクタ	ユーティリティをインストールしたコンピュータと接続する、また USB ケーブルを利用し電源供給するための USB コネクタです。USB 端子：ミニ B コネクタ（5 ピン）
⑫	シンクローターミナル	フラッシュ光接続モードでの測定時、シンクロコード（別売り）を差込みます。
⑬	ストラップ掛け	付属のストラップを掛けることができます。
⑭	電池ホルダー	電池収納部です。電池の極性を間違えずに正しく収納してください。

2. ご使用前の準備

2-1 ストラップの付け方

1. 付属のストラップをストラップ掛け ⑬ 側面の穴から通します。
2. ストラップ先端の輪の中に、ストラップの反対側を通します。



⚠ 警告

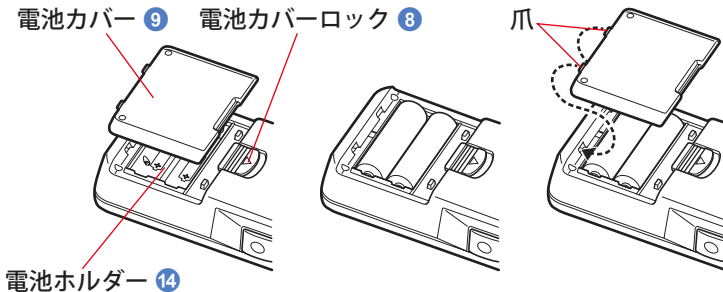
- 乳幼児等が誤ってストラップを首に巻くことのないように手の届かない場所に置いてください。窒息の危険があります。

⚠ 注意

- 乳幼児等が誤ってストラップを掴んで振り回すことのないように手の届かない場所に置いてください。衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- 持ち運びの際に、ストラップが絡まないように注意してください。落下等の衝撃により故障の原因になる恐れがあります。
- ストラップの素材はポリエステル繊維を使用しています。合成繊維による皮膚のかぶれや発赤、かゆみを引き起こされているときは、症状の悪化を防ぐため、ご使用はお控えください。

2-2 電池の入れ方

1. 単三形電池を2本用意します。
2. 電池カバーロック ⑧ を矢印方向にずらした状態で、電池カバー ⑨ を取外します。
3. 電池ホルダー ⑭ の「+」「-」表示に合わせて、電池を入れます。
※図のように、2本とも同じ向きに入れてください。
4. 電池カバー ⑨ の2本の爪を差し込み、電池カバー ⑨ を上から押して取り付けます。



警告


- 電池を火の中に入れる、ショート、分解、加熱は絶対しないでください。電池が破裂し火災、ケガ、周囲を汚染する原因となります。

注意

- マンガンまたはアルカリ電池をお使いください。
- 銘柄の異なる電池を使用しないでください。
また、新しい電池と使用した電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を取り外すときはプラス「+」側から取り外してください。
マイナス「-」端子のスプリングが変形、破損する可能性があります。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出しておいてください。
電池の液漏れが発生し、本機に悪影響を与えることがあります。

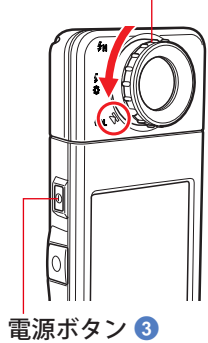
2-3 電源の ON/OFF

電源 ON

1. 光量切り換えリング ② を回してダーク補正位置 CAL () に設定します。
2. 電源ボタン ③ を押します。

本機が ON になり、オープニング画面が表示 (2 秒間) されます。

光量切り換えリング ②



オープニング画面



⚠️ ご注意

- 電池交換後と、電源 OFF から 24 時間経過している場合に、青文字「SEKONIC」ロゴの画面が表示されます。
- ログ画面表示中に青いバーグラフが動いている間は、本体のメモリーチェックを行っています。電源は切らないでください。故障の原因となる恐れがあります。

ロゴ画面



📖 ご参考

- 液晶に何も表示されない場合は、電池がセットされているか、容量が充分か、または電池極性が「+」「-」逆に挿入されていないかをご確認ください。
- オープニング画面はタッチすることで省略することができます。

3. 言語を選択します。(初回電源投入時のみ)

言語選択画面が表示されます。ご使用になる言語を選択してください。

言語選択画面



言語選択確認画面



選択したアイコンは青枠表示されます

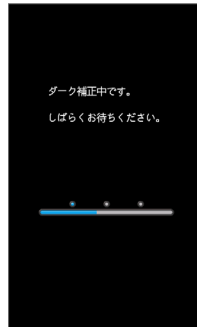
4. [OK] アイコンを押して決定します。

言語はいつでも変更することができます。(▶ P147)

5. ダーク補正が行われます。

オープニング画面(2秒間表示)の後に、ダーク補正を開始します。ただし、内部条件によってはダーク補正をスキップして測定画面が表示される場合もあります。ダーク補正中は「ダーク補正中です。しばらくお待ちください。」とメッセージ表示されます。正常に行われると表示モード選択画面が表示されます。


ダーク補正中画面



ご参考


- ダーク補正は「前回ご使用時から 24 時間以上経過した時」「電池を交換した時」「ご使用後 24 時間以内でも急激な温度変化があった時」に電源を投入すると自動的に行われます。それ以外の場合は電源投入時のダーク補正はスキップされます。


ご注意

- 光量切り換えリング②がダーク補正位置にセットされていないときは、「光量切り換えリングをダーク補正位置にセットしてください。」とメッセージが表示されます。光量切り換えリング②をダーク補正位置 **CAL** () にセットしてダーク補正を行ってください。

ダーク補正位置確認画面



- ダーク補正が正常に行われなかった場合は、「ダーク補正が出来ませんでした。光量切り換えリングの位置を確認してください。」とメッセージが表示されます。光量切り換えリング②をダーク補正位置 **CAL** () にセットしてダーク補正を行ってください。

ダーク補正確認画面



6. 表示モード選択画面 1 ページ目または 2 ページ目で表示するアイコンをタッチします。

画面が切り換わり選択した測定画面が表示されます。

表示モード選択画面
1 ページ

2 ページへ





測定画面



7. 測定ボタン ⑤ を押して測定します。

光量切り換えリング ② を回してレンジを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジ L  () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジ L  () またはレンジ H  () を選択します。(▶P102、▶P103)

ご注意

- ダーク補正位置で測定ボタン ⑤ を押すと「測定が出来ませんでした。光量切り換えリングの位置を確認してください。」とメッセージが表示されます。正しい位置に光量切り換えリング ② を回してレンジを合わせてください。測定画面が表示されます。

ダーク補正位置確認画面



ご参考

- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

電源 OFF

1. 電源ボタン ③ を 1 秒以上押します。

本機が OFF し、表示が消えます。

ご注意

- 電源ボタン ③ の ON/OFF の間隔は 3 秒以上あけてください。

ご参考

- 電源を OFF しても、操作中の設定値・測定値は記憶されており、電源を ON すると再表示されます。

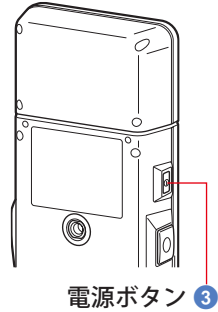
2-4 オートパワーオフ機能

省電力設計のため、使用后（最後のボタン操作後）約5分（初期設定）で自動的にすべての表示が消え電源はOFFになります。



ご参考

- オートパワーオフ機能が働いたときや電源ボタン③をOFFしたときは、測定値・設定値・指示値は記憶されています。電源をONすることで再表示されます。
- オートパワーオフになる時間は初期設定で5分です。より長い時間やオートパワーオフなし、をカスタム設定で変更できます。（⇒P141）
- 電源が切れた状態で電源ボタン③が押され続けたときは、電源はいったんONしますが約1分後に自動的にOFFになります。（輸送中に電源ボタン③が押されたままになっていた場合でも電池の消耗を避けることができます。）



2-5 電池容量の確認

電源を ON すると、液晶表示部に電池容量を示すアイコンが表示されます。



電池容量は十分です。



電池容量に余裕があります。



予備の電池を用意してください。



直ちに電池を交換してください。

電池容量表示部



ご参考

- 電池容量がない状態では、電源を ON した後、液晶表示が現れずに表示が消える場合がありますが、故障ではありません。新しい電池に交換してください。あらかじめ予備の電池を用意しておくことをお勧めします。
- 連続測光した場合、本機の電池寿命は常温で約 8 時間です。(当社試験条件による)

2-6

電池の交換

- 必ず電源を OFF にしてから電池交換を行ってください。電源を ON にしたまま電池交換を行うと、操作中の測定値の記憶がされません。また故障の原因になります。
- 電池交換後または測定中、液晶表示部に異常な表示（設定していない表示等）が現われた場合や、操作ボタンを押しても動作しない場合は、電池を一度取り出し 10 秒以上経過してから入れ直してください。

3. 画面操作

3-1 画面と操作

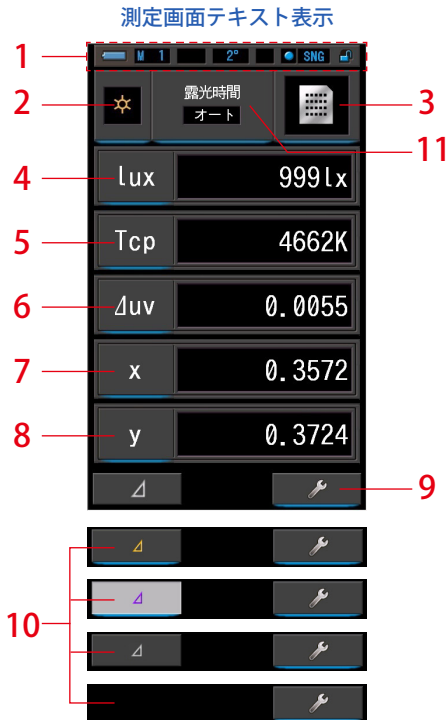
3-1-1 基本画面と操作

画面はタッチパネル方式であり、アイコンを指先でタッチすることにより、目的のメニューや項目を選択することができます。

測定画面

電源を ON するとオープニング画面が表示（2 秒間）されてから、ダーク補正を行います。ダーク補正が完了すると、表示モード選択画面が表示されます。目的の表示モードを選択すると、選択した測定画面が表示されます。測定画面では、測定モードの選択や測定条件の変更ができます。設定を変更するには、青い下線付きのアイコンをタッチします。表示モードを変更するには、表示モードの各説明を参照してください。


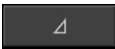


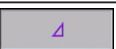
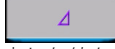

※ 本体のメニューボタン⑥を押すと表示モード選択画面へ移ります。



※ 設定されている測定モードにより表示が変わります。

※ 本表示は説明のため、すべてを表示しています。

項目一覧

No.	名称	説明
1	ステータスバー	設定内容を表示します。(➡P14)
2	[測定モード]アイコン	現在の測定モードを表示します。(➡P23) アイコンをタッチすると測定モード選択画面に移ります。
3	[表示モード]アイコン	現在の表示モードを表示します。(➡P30) アイコンをタッチすると表示モード選択画面に移ります。
4~8	[表示項目]アイコン	アイコンをタッチすると表示項目画面に移ります。(➡P28)
9	[ツールボックス]アイコン	アイコンをタッチするとツールボックス画面に移ります。(➡P104)
10	[デルタ]アイコン (定常光モードのみ)	 差分測定を行えるときに表示されます。
		 基準となるプリセット値がないとき、アイコンは無効となっています。
		 差分測定が行えないときは (△) アイコンは表示されません。
		 をタッチするとモニター機能を行う  白色アイコン表示になります。このデルタアイコン表示中は基準値を表示します。 測定ボタン⑤を押している間、全項目では基準値との差を表示します。(基準値とはプリセットで設定した値となります。) 測定ボタン⑤を放したときは基準値を表示します。  をタッチすると  に戻り最後に測定した値を表示します。モニター機能は電源を OFF すると解除されます。 注意：モニター機能を行っている間はメモリーボタン⑦は無効です。
11	[露光時間]アイコン	露光時間選択画面に移ります。(➡P25)



ご参考

- 表示範囲外や測定範囲外の場合は、[Under] (アンダー)、[Over] (オーバー) が表示されます。
Under：測定範囲より低い（暗すぎるまたは色温度が低すぎる）時、表示します。
Over：測定範囲より高い（明るすぎるまたは色温度が高すぎる）時、表示します。

ステータスバー




※ 本表示は説明のため、すべてを表示しています。

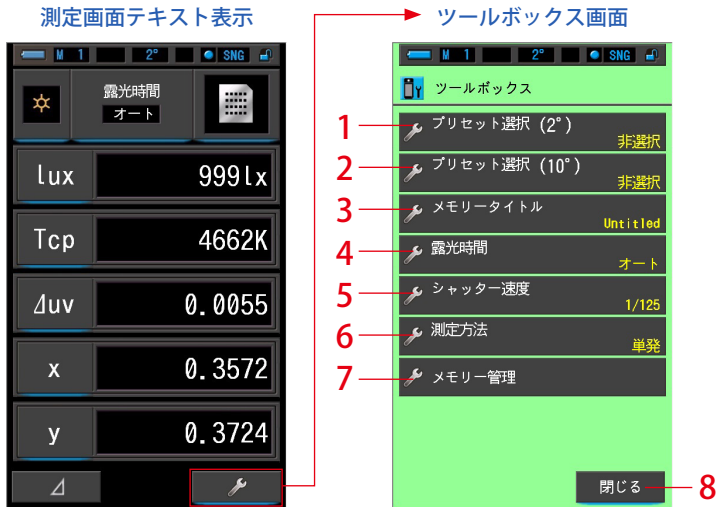
No.	名称	説明	
1	電池容量表示部		電池容量は十分です。
			電池容量に余裕があります。
			予備の電池を用意してください。
			直ちに電池を交換してください。
			USB 給電時に表示します。
2	メモリーカウント		メモリーされている測定データ数を表示します。 マークの右にメモリー総数が測定限界 999 回まで表示されます。
3	プリセット選択		プリセット選択されているとき、プリセット番号を表示します。
4	視野		ハードウェア設定時に設定した視野角度を表示します (2°または 10°)。
			
5	温度変動警告		マークが点灯しているときは、温度 (気温) の基準が変動しており、正確な測定ができない恐れがあります。 ダーク補正を行ってください。
6	光量切り換えリング状態表示部		光量切り換えリング②がダーク補正位置に選択されているときに表示します。
			光量切り換えリング②がレンジ「L」選択されているときに表示します。
			光量切り換えリング②がレンジ「H」選択されているときに表示します。

No.	名称	説明	
7	測定方法選択		ツールボックスでシングル測定を選択した場合に表示されます。
			ツールボックスで連続測定が選択されている場合に表示されます（周囲光のみ）。
8	キーロック状態表示部		画面のロックが解除されている場合に表示されません。
			画面がロックされている場合に表示されます。画面がロックされている場合は、タッチパネル上の操作はできません。

ツールボックス画面

測定画面の [ツールボックス ()] アイコンをタッチすることにより、以下の設定を行うことができます。

※ ツールボックス画面は、説明のためすべてを表示しています。初期値ではありません。



[ツールボックス：項目一覧]

No.	名称	説明
1	プリセット選択 (2°)	プリセット選択画面に移ります。(⇒P105)
2	プリセット選択 (10°)	プリセット選択画面に移ります。(⇒P105)
3	メモリータイトル	メモリータイトル入力画面に移ります。(⇒P109)
4	露光時間	露光時間選択画面に移ります。(⇒P126)
5	シャッター速度	シャッター速度画面に移ります。(⇒P128)
6	測定方法	測定方法画面に移ります。(⇒P130)
7	メモリー管理	メモリー管理画面に移ります。(⇒P113)
8	[閉じる] アイコン	ツールボックス画面を閉じて測定画面に戻ります。

3-1-2 アイコンの操作

タッチ操作

各アイコンをタッチすることで、任意の画面へ切り換えることができます。

(例) 測定画面 (テキストモード)



タッチ可能なアイコン

タッチできるアイコンはアイコンの下にブルーランプが点灯しています。



タッチできるアイコン



タッチできないアイコン

スライド操作

アイコンを指先でタッチすることにより、目的のメニューや項目を選択することができます。

(例) シャッター速度選択画面

スクロール選択

数値や項目などを指先で上下にスクロールさせ、表示内容を変更することができます。

先頭アイコン

選択肢の先頭まで一気に移動できます。

ワンステップアイコン

アイコンをタッチすると選択肢を1つだけ移動します。

スクロールバー

上下にスライドさせて表示内容を変更することができます。

後尾アイコン

選択肢の最終まで一気に移動できます。

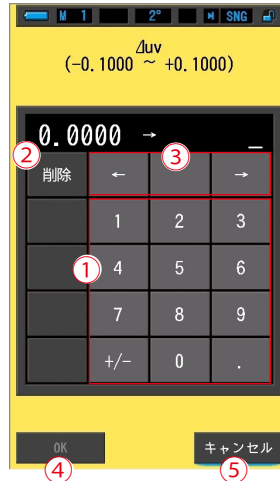
※ 選択されている箇所は背景青色となっています。

3-1-3 数字・文字の入力

数字と文字を入力することができます。

数値入力画面

(例) プリセット編集偏差 Δuv 表示画面

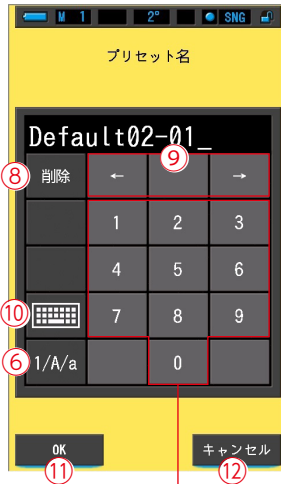


数値入力の方法

No.	キー	説明
①	0-9、+/-、ピリオド	数字やプラスマイナス、ピリオドを入力します。タッチすると上部に入力値が表示されます。
②	削除	カーソルの位置の文字を削除します。
③	← →	入力位置を移動します。
④	OK	入力値を確認して、元の画面に戻ります。
⑤	キャンセル	入力を無効にして、元の画面に戻ります。

文字入力画面

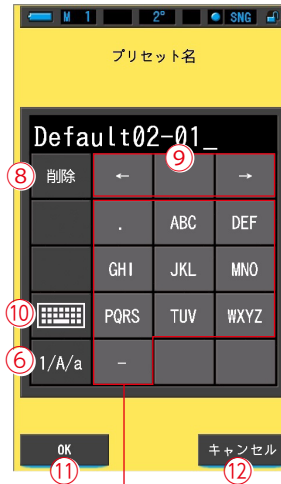
数字入力画面



⑦ (数字)

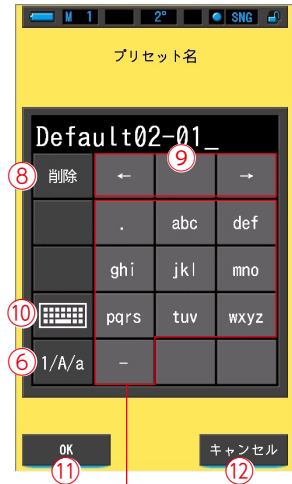
キーボード 大文字入力画面

大文字入力画面



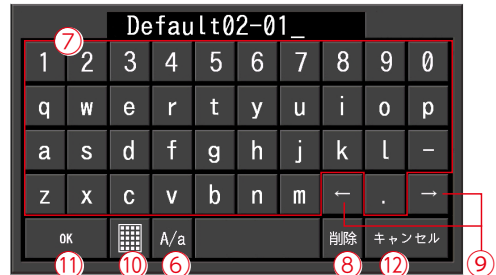
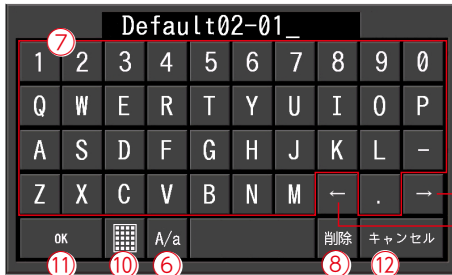
⑦ (大文字)

小文字入力画面



⑦ (小文字)

キーボード 小文字入力画面



文字入力、数字入力の方法

No.	キー	説明
⑥	1/A/a	数字 / 大文字 / 小文字を切り換えます。
⑦	0-9、ABC、abc、ハイフン、ピリオド	タッチすると、上部に入力値が表示されます。アルファベット (ABC) は同じボタンを複数回タッチすることで入力文字を変更できます。
⑧	削除	カーソルの位置の文字を削除します。
⑨	← →	入力位置を移動します。
⑩	キーボード	入力画面をキーパッドとキーボードに切り換えます。
⑪	OK	入力値を確定して、元の画面に戻ります。
⑫	キャンセル	入力を無効にして、元の画面に戻ります。

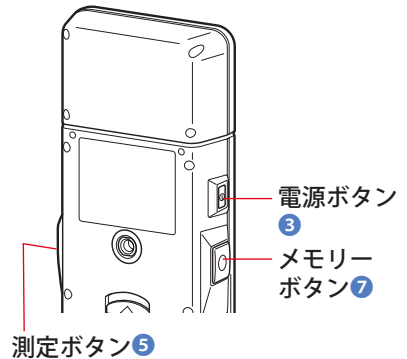
3-1-4 画面のロックと解除

誤操作をふせぎたいときに、画面をロックしておくことができます。


ロック状態では画面のタッチ操作は無効になります。

但し、メモリーボタン⑦、測定ボタン⑤、電源ボタン③は有効です。


また、電源を切ってもこの状態は保持されています。



ロック設定

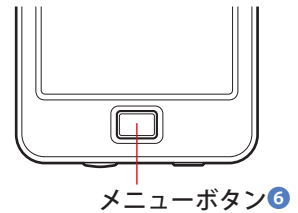
メニューボタン⑥を長押しすると、画面がロックされ、液晶画面の右上に  アイコンが表示されます。

画面ロックが実施中のときは、液晶画面上のアイコンの操作ができなくなります。

ロック中アイコンにタッチしたとき、 アイコンが約1秒間表示されます。

またメニューボタン⑥を押してのメニュー機能への操作もできなくなります。

※ ロック設定の操作は、測定画面で実施可能です。



ロック解除

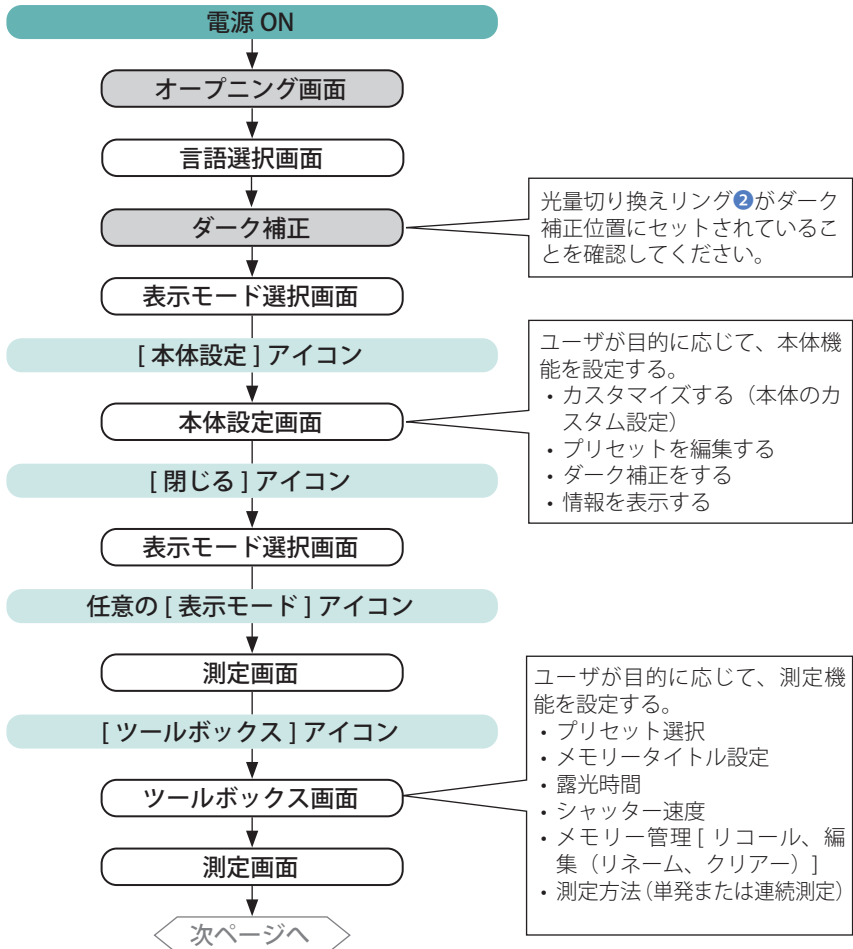
もう一度メニューボタン⑥を長押しすると、画面のロックが解除されます。

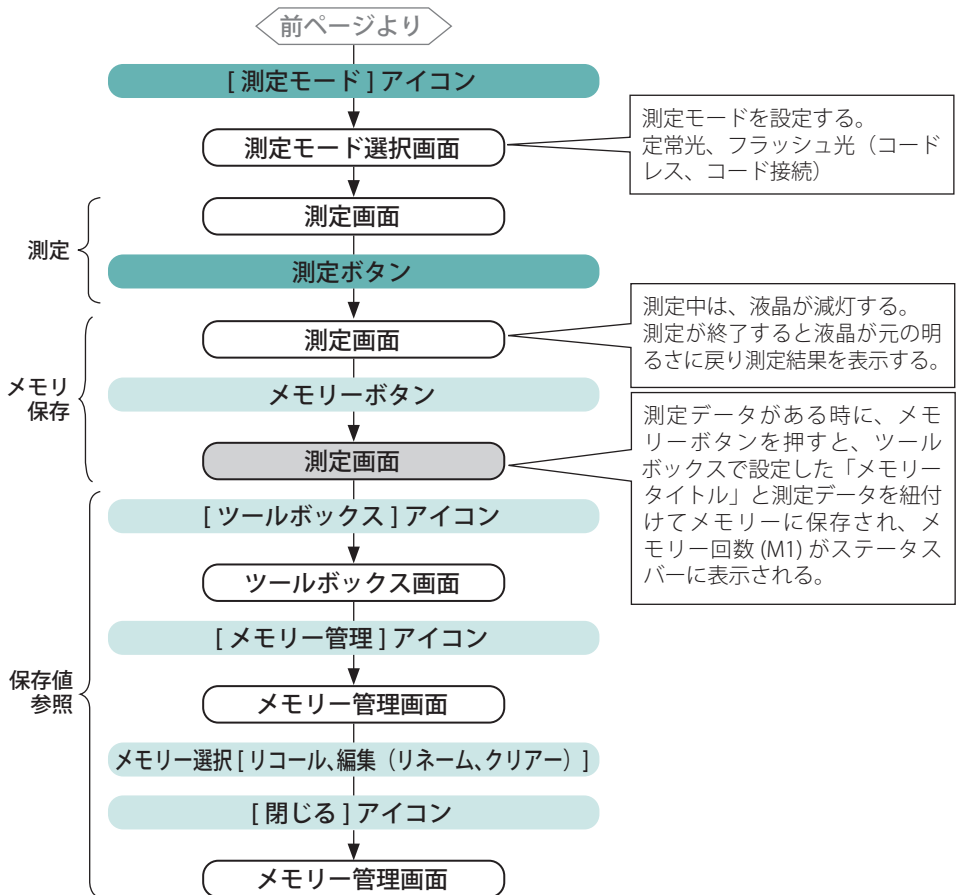


4. 基本操作

4-1 基本的な操作の流れ

基本的な操作と画面は以下の通りです。測定や測定の変更は、測定画面から操作します。





4-2 測定モードの選択

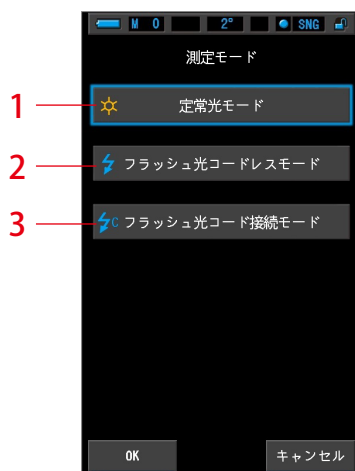
4-2-1 光源に測定モードを合わせる




ご使用となる測定モードを選択します。



- 測定モードの選択を変更すると、表示画面の測定データは消去されます。

測定モード選択画面



No.	測定モード	アイコン	説明
1	定常光モード		太陽光やタングステン光などの連続光を測定するときに選択します。(➡P86)
2	フラッシュ光 コードレスモード		本体とフラッシュをコード接続せずに本体の測定ボタンを押すと、フラッシュの閃光を感知して測定します。測定待機状態は 90 秒維持されます。(➡P90)
3	フラッシュ光 コード接続モード		本体とフラッシュをシンクロコードで接続して本体の測定ボタンを押すと、フラッシュが発光し測定します。(➡P94)

操作

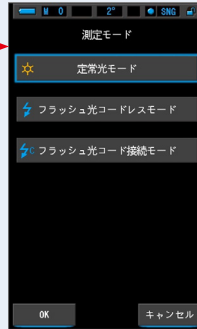
1. 画面左上の [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。

測定画面 (テキストモード)

測定モード選択画面

[測定モード]
アイコン



2. 測定モードでご使用となるアイコンをタッチします。

任意の測定モードを選択します。

3. [OK] アイコンをタッチします。

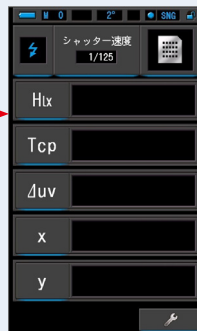
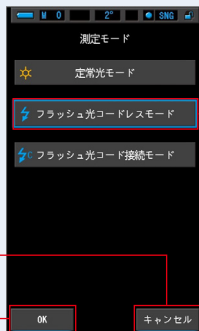
内容が確定され測定画面に切り換わります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面

測定画面

[キャンセル]
アイコン
[OK] アイコン



例) 定常光→コードレス

定常光モードからフラッシュ光コードレスモードに切り換わりました。

 ご参考

- 定常光とは、自然光（太陽光）またはタングステンランプ・蛍光灯のような連続光のことです。
- フラッシュ光とは、フラッシュまたはフラッシュバルブ（閃光電球）のような瞬間光のことです。

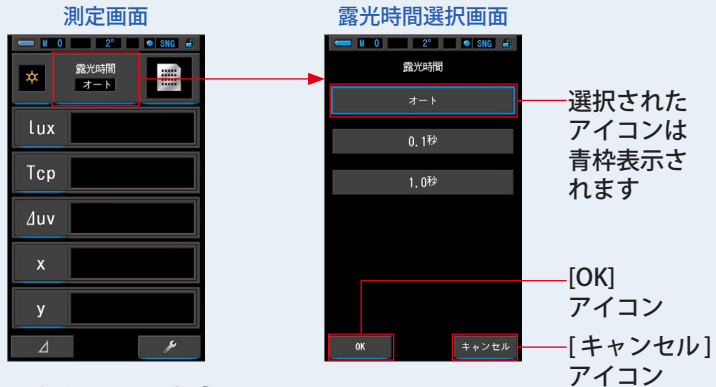
4-2-2 露光時間を選択する（定常光モードのみ）

露光時間を選択します。

操作

1. 測定画面の [露光時間] アイコンをタッチします。

定常光測定時の露光時間をオート、0.1 秒、1 秒、の中から選択します。

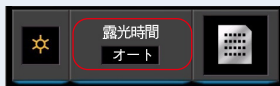


2. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

露光時間が設定されました。



ご参考

- 露光時間オートモードでは、自動的に最適な露光時間を 15 種類（0.1ms ～ 10s）の中から選択します。
2 種類の固定露光時間は、複数測定する場合に測定値を正確に比較したいときに使用します。
低照度では露光時間 1s、高照度では露光時間 0.1s を選択します。

ご注意

- 0.1 秒及び 1.0 秒の固定の露光時間では測定できない照度の範囲があります。その場合、[OVER] または [UNDER] が表示されます。露光時間を「オート」に設定してください。

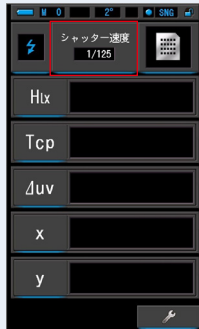
4-2-3 シャッター速度を選択する (フラッシュ光モードのみ)

フラッシュ光を使用する場合は、シャッター速度を選択します。

操作

1. [シャッター速度]アイコンをタッチします。

フラッシュ光コードレスモード測定画面 (テキストモード)



2. ご使用になるシャッター速度を選択します。

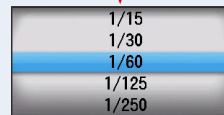
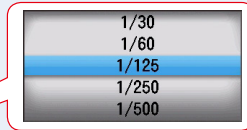
シャッター速度画面



[キャンセル]
アイコン

[OK] アイコン

[シャッター速度 1/125]



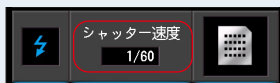
[シャッター速度 1/60]

3. [OK]アイコンをタッチします。

内容が確定され測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

シャッター速度が設定されました。





シャッター速度の選択肢

1ステップ
1s
1/2
1/4
1/8
1/15
1/30
1/60
1/125
1/250
1/500



- シャッター速度の設定を変更すると、測定データは消去されます。

4-3 表示項目の選択

表示項目は複数ある項目の中から任意に選択できます。

操作

1. 測定画面の [表示項目] アイコンをタッチします。

表示項目一覧画面が表示されます。(⇒P35)

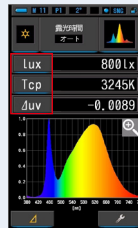
2. 表示する項目を選択します。

選択した項目とその値が表示されます。

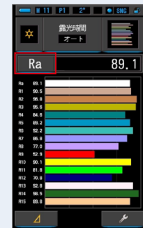
測定画面テキスト表示



測定画面スペクトル表示



測定画面CRI表示



記号とその内容

No.	視野		名称	内容
	2°	10°		
1	Tcp		相関色温度	色温度を表示します。
2	Δuv		偏差	黒体放射軌跡からの偏差を表示します。
3	X	X ₁₀	三刺激値	三刺激値 X、または X ₁₀ を表示します。
4	Y	Y ₁₀		三刺激値 Y、または Y ₁₀ を表示します。
5	Z	Z ₁₀		三刺激値 Z、または Z ₁₀ を表示します。
6	x	x ₁₀	色度座標	CIE1931色度座標x、またはCIE1964色度座標x ₁₀ を表示します。
7	y	y ₁₀		CIE1931色度座標y、またはCIE1964色度座標y ₁₀ を表示します。
8	z	z ₁₀		CIE1931色度座標z、またはCIE1964色度座標z ₁₀ を表示します。
9	u'	u' ₁₀		CIE1976色度座標u'、またはu' ₁₀ を表示します。
10	v'	v' ₁₀		CIE1976色度座標v'、またはv' ₁₀ を表示します。
11	λd	λd ₁₀	主波長	主波長、または補色主波長(測定値がマイナスの場合)を表示します。
12	Pe	Pe ₁₀	刺激純度	刺激純度を表示します。
13	λp		ピーク波長	ピーク波長を表示します。
14	lux	Hlx	照度 / 露光量	照度、または露光量を表示します。本体設定で設定できます。
15	fc	Hfc		

※「照度単位」は本体が各国の法規制によって「fc (fc・s)」を使わないモデル <JT50> の場合、表示しません。なお、() 内は露光量を表す単位です。

視野 No.	2°	10°	名称	内容
	アイコン			
16	Rf		色忠実度指数	TM-30-18 の評価指数を 0 ～ 100 の範囲で表示します。
17	Rg		色域指数	TM-30-18 の評価指数を 0 ～ 200 の範囲で表示します。
18	SSIt		SSI タングステン 評価指数	SSI の評価指数で CIE タングステン (3200K) に対してどれだけ近い特性を持っているかを 0 ～ 100 の範囲で表示します。
19	SSId		SSI デイライト 評価指数	SSI の評価指数で CIE D55 (5500K) に対してどれだけ近い特性を持っているかを 0 ～ 100 の範囲で表示します。
20	SSI1		SSI#1 評価指数	SSI の評価指数で SSI モードで 1 番目に選択されている光源 (黄色のグラフ) に対してどれだけ近い特性を持っているかを 0 ～ 100 の範囲で表示します。
21	SSI2		SSI#2 評価指数	SSI の評価指数で SSI モードで 2 番目に選択されている光源 (赤色のグラフ) に対してどれだけ近い特性を持っているかを 0 ～ 100 の範囲で表示します。
22	TLCI		TLCI 評価指数	TLCI の評価指数を 0 ～ 100 の範囲で表示します。
23	TLMF		TLMF 評価指数	選択したメモリー値に対して、TLMF の評価指数を 0 ～ 100 の範囲で表示します。
24	Ra		平均演色評価数	R1 ～ R8 の平均演色評価数を表示します。
25	R1 ～ R15		特殊演色評価数	R1 ～ R15 までの各演色評価数を表示します。
26	PPFD		光合成有効光量子束密度	光合成有効光量子束密度を表示します。

4-4 表示モードの選択

表示モード選択画面で、目的に応じた表示モードを選択します。
 ※ 本体のメニューボタン⑥を押すと表示モード選択画面に移ります。

表示モード選択画面 (2°視野)
1 ページ



表示モード選択画面 (2°視野)
2 ページ



表示モード選択画面 (10°視野)
1 ページ



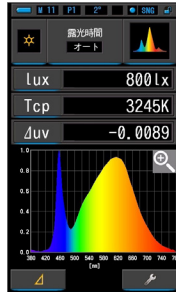
表示モード選択画面 (10°視野)
2 ページ



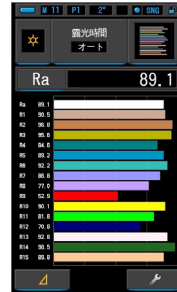
1 テキスト



2 スペクトル



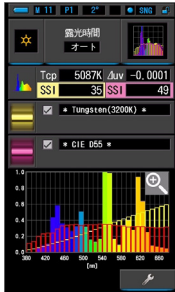
3 CRI



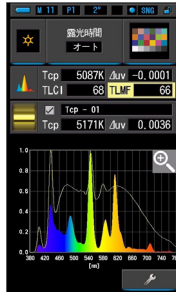
4 TM-30



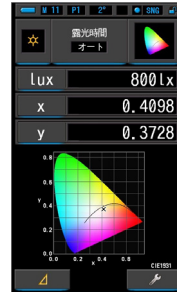
5 SSI



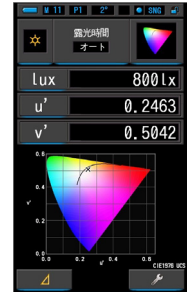
6 TLCI/TLMF



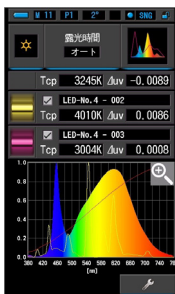
7 CIE1931(CIE1964)



8 CIE1976



9 スペクトル比較



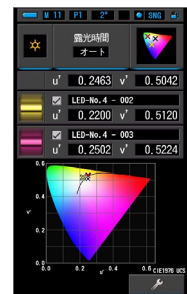
10 CRI比較



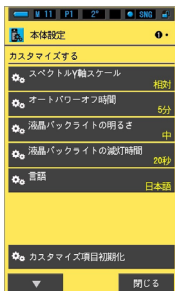
11 CIE1931(CIE1964)比較



12 CIE1976 比較



13 本体設定



表示モードアイコン一覧

No.	アイコン	名称	説明
1	 テキスト	[テキスト]アイコン	各測定値から5項目を選択して数値で表示します。(➡P35)
2	 スペクトル	[スペクトル]アイコン	3項目の測定値(選択可能)とスペクトル(分光分布)グラフを表示します。(➡P38)
3	 CRI	[CRI]アイコン	選択した平均演色評価数(Ra)または個々の演色評価数(R1~R15)を表示します。また各演色評価数もグラフで表示します。(➡P41)
4	 TM-30	[TM-30]アイコン	4項目の測定値(Rf、Rg、Tcp、Δuv)と、カラーベクトルグラフィックを表示します。(➡P44)
5	 SSI	[SSI]アイコン	現在の測定値と2点までの参照光源(色温度とΔuv)を比較し、SSI評価指数とSSIスペクトルグラフで表示します。(➡P46)
6	 TLCI TLMF	[TLCI/TLMF]アイコン	測定値とメモリーした値(色温度、Δuv)、TLCIとTLMFの測定値をスペクトルグラフと一緒に表示します。(➡P57)
7	 CIE1931 CIE1964	[CIE1931 (CIE1964)] アイコン	設定した結果をCIE1931色度図(10°視野時はCIE1964色度図)と共に表示します。(➡P62)
8	 CIE1976	[CIE1976]アイコン	測定した結果をCIE1976色度図と共に表示します。(➡P64)
9	 スペクトル 比較	[スペクトル比較] アイコン	現在の測定値と、メモリーした値2点までをスペクトルグラフ上に表示し比較します。(➡P71)
10	 CRI比較	[CRI比較]アイコン	現在の測定値と、メモリーした値の色温度および平均演色評価数(Ra)を表示します。 また個々の演色評価数(R1~R15)もグラフで表示し比較します(➡P71)
11	 CIE1931 比較 CIE1964 比較	[CIE1931 (CIE1964)比較] アイコン	設定した結果と保持しているメモリー測定値(最大2種類)をCIE1931色度図(10°視野時はCIE1964色度図)と共に、x、y座標を表示します。(➡P75)

No.	アイコン	名称	説明
12		[CIE1976 比較] アイコン	測定した結果と保持しているメモリー測定値（最大2種類）をCIE1976色度図と共に、u'、v'座標を表示します。（⇒P79）
13		[本体設定] アイコン	本体設定画面を表示します。（⇒P83）

※ 1～12までは、測定画面となります。

操作

1. 測定画面の[表示モード]アイコンをタッチ、または本体のメニューボタン⑥を押します。

表示モード選択画面が表示されます。（⇒P30）

表示モード No.1～12までの表示は測定用です。

表示モード No.13は本体設定用です。

2. 表示するアイコンをタッチします。

画面が切り換わり、選択した測定画面が表示されます。

表示モード選択画面（2°視野）
1 ページ

測定画面テキスト表示

[テキスト]
アイコンを
タッチする




3. 測定画面の[露光時間]アイコンまたは[シャッター速度]アイコンをタッチします。

定常光を測定する場合、露光時間をオート、0.1秒、1秒、の中から選択します。（⇒P25）

フラッシュ光を測定する場合、ご使用となるシャッター速度を選択します。（⇒P26）

4. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

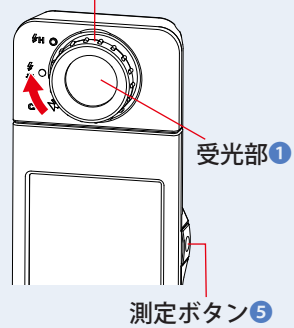
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(⇒P102、⇒P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②

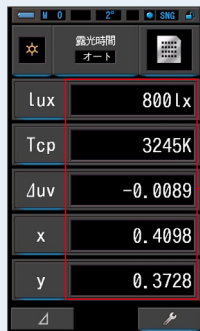


ご参考

- 光源の色温度を正しく測定する場合、受光部①を光源に正対させて測定してください。
- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

5. 測定結果を測定画面（テキストモード）で表示します。

測定画面テキスト表示



測定結果

6. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。(⇒P108)

4-4-1 テキストで表示する [テキスト]画面

5 項目の測定値（選択可能）を数値で表示します。



操作

1. 表示モード選択画面の[テキスト]アイコンをタッチします。

テキスト画面が表示されます。(⇒P30)

2. [測定モード]アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒P23)

3. 測定画面の[表示項目]アイコンをタッチします。

表示項目選択画面が表示されます。

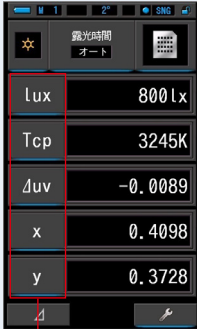
選択されたアイコンは、青枠表示されます。

4. ご使用になる表示項目を選択し、[OK] アイコンをタッチします。

選択されたアイコンは、青枠表示されます。

[OK] アイコンをタッチすると、内容が確定され、テキスト画面に戻ります。[キャンセル] アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

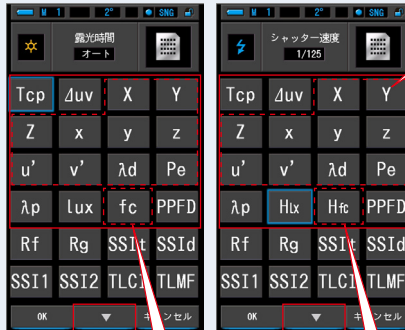
テキスト画面



[表示項目] 表示
変更を行うアイコン
をタッチする

表示項目選択画面

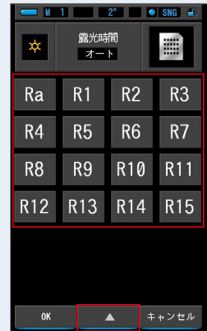
定常光モードのとき フラッシュ光モードのとき
1 ページ 1 ページ



10° 視野の場合

	X_{10}	Y_{10}	
Z_{10}	X_{10}	Y_{10}	Z_{10}
u'_{10}	v'_{10}	λd_{10}	Pe_{10}

定常光、フラッシュ光モードのとき
2 ページ



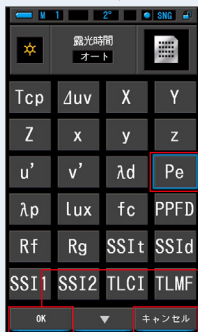
露光量の場合
fc

露光量の場合
Hfc

2 ページへ

1 ページへ

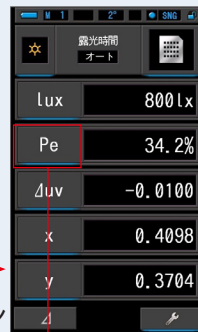
表示する項目アイコンを選択します



選択されたアイコンは青枠表示
されます

[OK] アイコン

[キャンセル] アイコン



表示項目が変更されました


※「照度単位」は本体が各国の法規制によって「fc(fc・s)」を使わないモデル<JT50>の場合、表示しません。なお、()内は露光量を表す単位です。


5. 測定画面の [露光時間] アイコンまたは [シャッター速度] アイコンをタッチします。

定常光を測定する場合、露光時間をオート、0.1 秒、1 秒、の中から選択します。(➡P25)
フラッシュ光を測定する場合、ご使用となるシャッター速度を選択します。(➡P26)

6. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

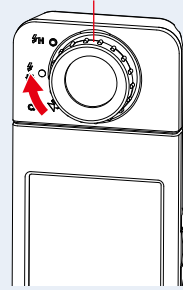
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(➡P102、➡P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤



ご参考

- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

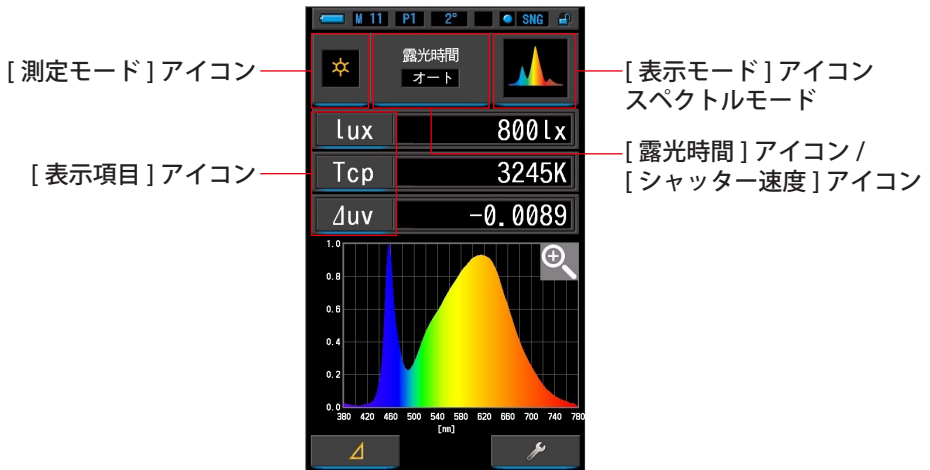
7. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。(➡P108)

4-4-2 スペクトルで表示する [スペクトル] 画面

3 項目の測定値（選択可能）とスペクトル（分光分布）グラフを表示します。

スペクトル画面





操作

1. 表示モード選択画面の [スペクトル] アイコンをタッチします。
スペクトル（分光分布）グラフ画面が表示されます。（⇒P30）
2. [測定モード] アイコンをタッチします。
測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。（⇒P23）
3. [表示項目] アイコンをタッチします。
表示項目選択画面が表示されます。（⇒P35）
[表示項目] アイコンをタッチして、項目を選択します。
4. 測定画面の [露光時間] アイコンまたは [シャッター速度] アイコンをタッチします。
定常光を測定する場合、露光時間をオート、0.1 秒、1 秒、の中から選択します。（⇒P25）
フラッシュ光を測定する場合、ご使用となるシャッター速度を選択します。（⇒P26）

5. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

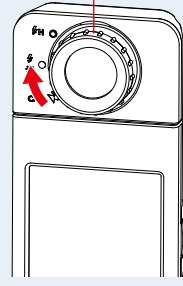
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(→ P102、 → P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤



ご参考

- 低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

6. 画面内の [虫メガネ (+)] アイコンをタッチします。

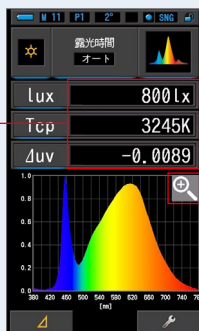
スペクトル (分光分布) グラフを拡大表示します。

拡大グラフは画面全体 (横向き) に表示されます。

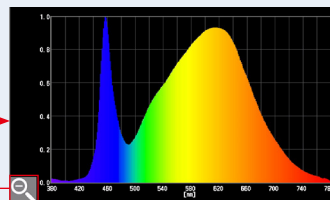
スペクトル (分光分布) グラフ (拡大) の [虫メガネ (-)] アイコンをタッチすると、スペクトル画面に戻ります。

スペクトル画面

測定内容が表示されました



スペクトル (分光分布) グラフ 拡大表示




ご注意

- グラフ (拡大) の表示をしている場合は、測定できません。

**ご参考**

- 本体設定の1ページ目：項目 [スペクトルY軸スケール] アイコンで、Y軸の最大表示値が選択できます。(➡P138)

7. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタンを押してください。(➡P108)

4-4-3 演色評価数で表示する [CRI] 画面

選択した平均演色評価数 (Ra) または個々の演色評価数 (R1 ~ R15) を表示します。
また各演色評価数もグラフで表示します。



操作

1. 表示モード選択画面の [CRI] アイコンをタッチします。

CRI 画面が表示されます。(➡P30)

2. [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(➡P23)


3. 測定画面の [露光時間] アイコンまたは [シャッター速度] アイコンをタッチします。

定常光を測定する場合、露光時間をオート、0.1 秒、1 秒、の中から選択します。(➡P25)

フラッシュ光を測定する場合、ご使用となるシャッター速度を選択します。(➡P26)

4. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

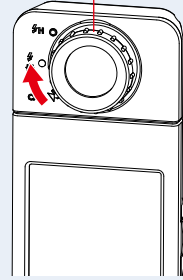
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(→ P102、 → P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤



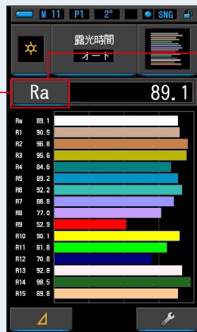
ご参考

- グラフ表示エリア Ra、R1 ~ R15 は常時表示されています。
- 低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。
- Ra は R1 から R8 の平均値であり、R9 から R15 は含みません。

5. [表示項目] アイコンをタッチします。

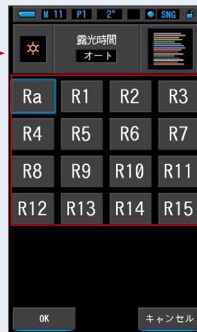
表示項目が表示されます。

CRI 画面



[表示項目]
アイコン

表示項目



6. 表示する項目アイコンをタッチします。

グラフの上部に表示したい項目を選択します。

選択されたアイコンは、青枠表示されます。

7. [OK] アイコンをタッチします。

[OK] アイコンで、CRI 画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、表示項目は変更せずに、CRI 画面に戻ります。



4-4-4 TM-30 の評価指数で表示する [TM-30] 画面

4 項目の測定値 (Rf、Rg、Tcp、 Δuv) と、カラーベクトルグラフィックを表示します。
(\rightarrow P202)

最新のファームウェアの C-7000 では TM-30-18 が表示されます。



操作

1. 表示モード選択画面の [TM-30] アイコンをタッチします。

TM-30 画面が表示されます。(\rightarrow P30)

2. [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(\rightarrow P23)


3. 測定画面の [露光時間] アイコンまたは [シャッター速度] アイコンをタッチします。

定常光を測定する場合、露光時間をオート、0.1 秒、1 秒、の中から選択します。(\rightarrow P25)

フラッシュ光を測定する場合、ご使用となるシャッター速度を選択します。(\rightarrow P26)

4. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

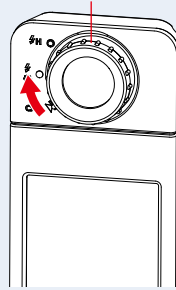
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(→ P102、 → P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤



ご参考

- 低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

5. 現在の測定値とカラーベクトルグラフィックで表示されます。

測定値の表示項目は Rf、Rg、Tcp、 Δuv です。

カラーベクトルグラフィックは色相と彩度のずれ量を色相毎に 16 分割したデータで視覚的に分かりやすく表示したものです。

測定値は赤の実線で表示されます。

基準光源は黒の円で表示され、測定値との差を矢印で表示します。

白色の円は Rg80、90、110、120 に相当する円となります。

1 ~ 16 の数字は色相環を 22.5° 毎に 16 分割したデータの番号で、1 の赤 (相当) から 16 の赤紫 (相当) まで割り振ってます。

TM-30 画面



カラーベクトル
グラフィック表示

6. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。(→ P108)

4-4-5 SSI の評価指数で表示する [SSI] 画面

現在の測定値と2点までの参照光源（色温度と Δuv ）を比較し、SSI 評価指数と SSI スペクトルグラフで表示します。参照光源は、基準光源の選択、色温度の入力、メモリー値の3種類から選択可能です。（➡P203）



操作

1. 表示モード選択画面の [SSI] アイコンをタッチします。

SSI 画面が表示されます。（➡P30）

2. [測定モード]アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。（➡P23）


3. 測定画面の [露光時間]アイコンまたは [シャッター速度]アイコンをタッチします。

定常光を測定する場合、露光時間をオート、0.1 秒、1 秒、の中から選択します。（➡P25）

フラッシュ光を測定する場合、ご使用となるシャッター速度を選択します。（➡P26）

4. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンズを合わせてください。

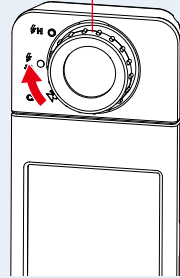
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(→ P102、 → P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤



ご参考

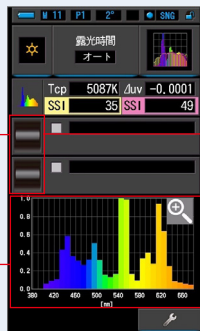
- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

5. 現在の測定値は数値とグラフで表示されます。

6. [SSI 参照光源の選択] アイコンをタッチします。

[SSI 参照光源の選択] 画面が表示されます。

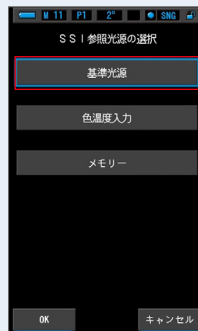
SSI 画面



[SSI 参照光源の
選択] アイコン

現在の測定値 (SSI)
グラフ表示

SSI 参照光源の選択画面



選択されたア
イコンは青枠
表示されます

7. [SSI 参照光源の選択] には、3 種類の方法があります。

「SSI 基準光源選択」「SSI 色温度入力」「SSI メモリー選択」の3種類から比較したい項目を選択します。

SSI 基準光源選択画面



SSI 色温度入力画面



SSI メモリー選択画面



【基準光源の選択】

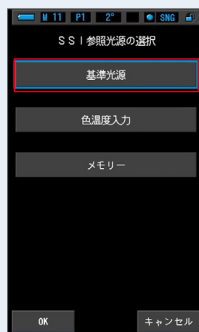
参照光源として基準光源から選択することができます。

SSI の基準光源である「タングステン光 3200K」、補助イルミネント「CIE D55」があり、その他に標準イルミネントとして「CIE A(2856K)」と「CIE D65」、補助イルミネントとして「CIE D50」と「CIE D75」が登録されています。

1. SSI 参照光源の選択画面の「基準光源」をタッチします。

SSI 基準光源選択画面が表示されます。

SSI 参照光源の選択画面



SSI 基準光源選択画面



基準光源エリア

2. 比較する基準光源を選択します。

選択する基準光源を青色背景位置に合わせます。

SSI 基準光源選択画面



3. [OK] アイコンをタッチします。

設定を確定して SSI 画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

4. 選択された基準光源が SSI 画面の参照光源表示エリアに表示されます。

参照光源は、2つまで設定することができます。

参照光源表示エリア



5. 参照光源に対する現在の測定値の SSI 値を表示します。

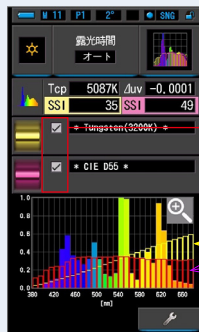
現在の測定値表示



6. スペクトルグラフ上に黄・赤のグラフで表示します。

[グラフ表示 ON/OFF] チェックボックスで、グラフの表示 / 非表示の切り換えができます。
※表示のときに☑します。表示させないときは□にします。

SSI 画面



[グラフ表示 ON/OFF] チェックボックス

黄・赤の曲線

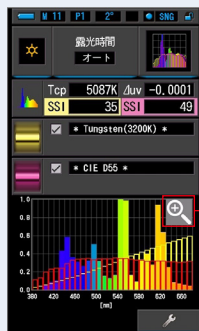
7. [虫メガネ (+)] アイコンをタッチします。

SSI グラフを拡大表示します。

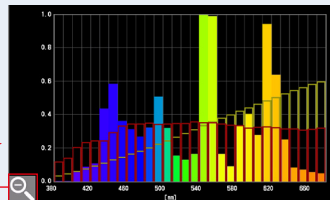
拡大グラフは画面全体（横向き）に表示されます。

SSI グラフ（拡大）の[虫メガネ (-)] アイコンをタッチすると、SSI 比較画面に戻ります。

SSI 画面



SSI グラフ拡大表示



ご注意

- グラフ（拡大）の表示をしている場合は、測定できません。

8. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。(➡P108)

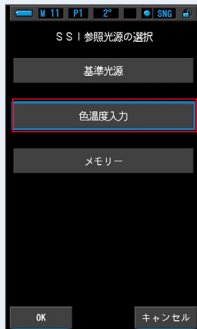
【色温度入力】

2500K～7500Kの範囲を100Kステップで入力することができます。

1. SSI参照光源の選択画面の「色温度入力」画面をタッチします。

SSI色温度入力画面が表示されます。

SSI参照光源の選択画面



SSI色温度入力画面



2. 比較したい色温度の数値を入力します。

色温度表示部に、入力した数値が表示されます。

SSI色温度入力画面



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

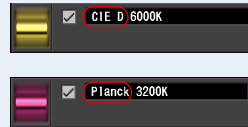
設定を確定して SSI 画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。



- 選択された色温度により、光源の種類が変更されます。
2,500K ~ 4,900K の範囲は黒体放射での色温度となります。
5,000K ~ 7,500K の範囲は昼光イルミネラントでの色温度となります。

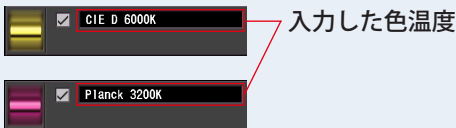
参照光源表示例



4. SSI 画面に、入力した色温度が表示されます。

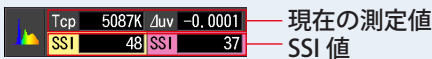
参照光源は、2つまで設定することができます。

参照光源表示エリア



5. 現在の測定値と参照光源に対する SSI 値を表示します。

現在の測定値表示



6. スペクトルグラフ上に黄・赤のグラフで表示します。

[グラフ表示 ON/OFF] チェックボックスで、グラフの表示 / 非表示の切り換えができます。
※表示のときにします。表示させないときはにします。

SSI 画面



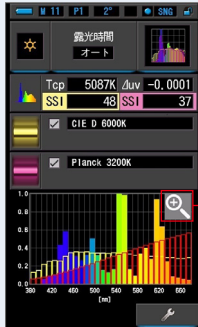
7. [虫メガネ (+)]アイコンをタッチします。

SSI グラフを拡大表示します。

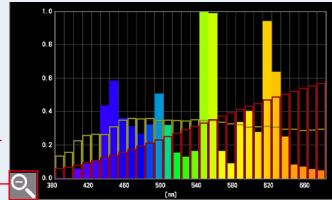
拡大グラフは画面全体（横向き）に表示されます。

SSI グラフ（拡大）の[虫メガネ (-)]アイコンをタッチすると、SSI 比較画面に戻ります。

SSI 画面



SSI グラフ拡大表示



- グラフ（拡大）の表示をしている場合は、測定できません。

8. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。(➡P108)

【メモリー光源の選択】

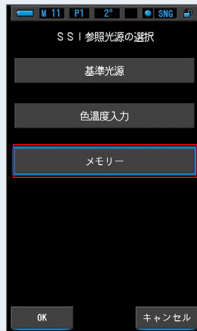
メモリーした測定値から参照光源を選択できます。

基準としたい光源をあらかじめメモリーしておく、メモリーされた光源に対して現在の測定値の質の違いを確認することができます。

1. SSI 参照光源の選択画面の「メモリー」をタッチします。

SSI メモリー選択画面が表示されます。

SSI 参照光源の選択画面



SSI メモリー選択画面



メモリー選択
エリア

2. 比較するメモリーデータを選択します。

タイトルを選択すると、タイトルに紐付いているメモリーが表示されます。

比較するメモリーを選択してください。

選択するタイトルとメモリーを青色背景位置に合わせます。

SSI メモリー選択画面



タイトルエリア

メモリーエリア
タイトルで紐付いた
データを表示します

[キャンセル] アイコン

[OK] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

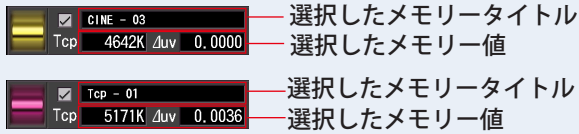
設定を確定して SSI 画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

4. SSI 画面に、選択されたメモリー値を表示します。

参照光源は、2 つまで設定することができます。

参照光源表示エリア



5. 現在の測定値と参照光源に対する SSI 値を表示します。

現在の測定値表示



6. スペクトルグラフ上に黄・赤のグラフで表示します。

[グラフ表示 ON/OFF] チェックボックスで、グラフの表示 / 非表示の切り換えができます。

※表示のときに☑します。表示させないときは☐にします。

SSI 画面



7. [虫メガネ (+)] アイコンをタッチします。

SSI グラフを拡大表示します。

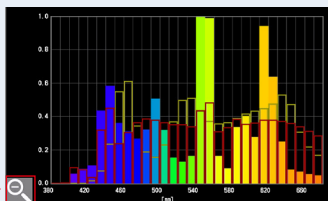
拡大グラフは画面全体（横向き）に表示されます。

SSI グラフ（拡大）の [虫メガネ (-)] アイコンをタッチすると、SSI 比較画面に戻ります。

SSI 画面



SSI グラフ拡大表示



ご注意

- グラフ（拡大）の表示をしている場合は、測定できません。

8. 測定内容をメモリーします。

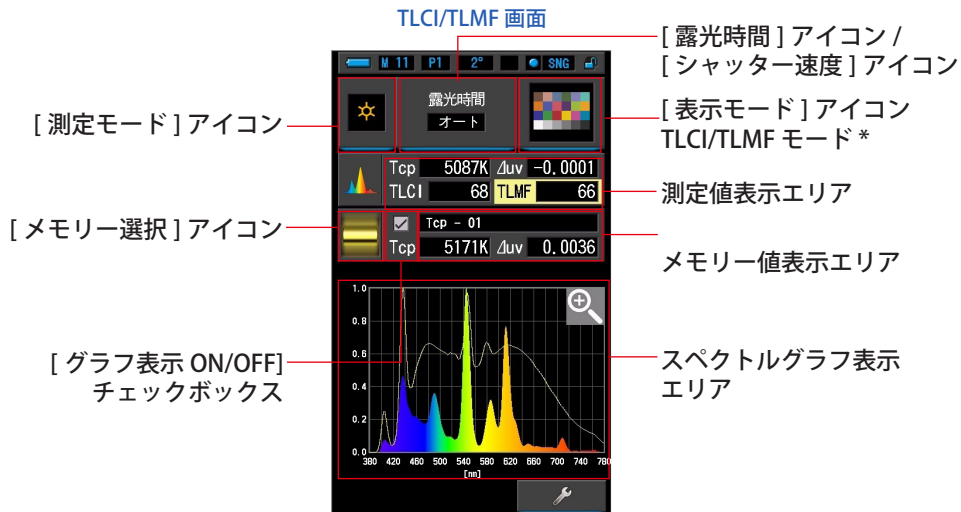
測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。（➡P108）

4-4-6 TLCI/TLMF の評価指数で表示する [TLCI/TLMF] 画面

測定値とメモリーした値（色温度および Δuv ）、TLCI と TLMF の測定値をスペクトルグラフと一緒に表示します。

TLCI は現在の測定値に対して表示される評価指数です。

TLMF は基準の光源（メモリーした値）との比較を指数で表示します。（▶P203）



* X-Rite 社のカラーチェッカーが TLCI/TLMF モードのアイコンに使われています。

操作

1. 表示モード選択画面の [TLCI/TLMF] アイコンをタッチします。

TLCI/TLMF 画面が表示されます。（▶P30）

2. [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。（▶P23）


3. 測定画面の [露光時間] アイコンまたは [シャッター速度] アイコンをタッチします。

定常光を測定する場合、露光時間をオート、0.1 秒、1 秒、の中から選択します。（▶P25）

フラッシュ光を測定する場合、ご使用となるシャッター速度を選択します。（▶P26）

4. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンズを合わせてください。

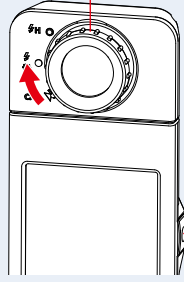
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(→ P102、 → P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤



ご参考

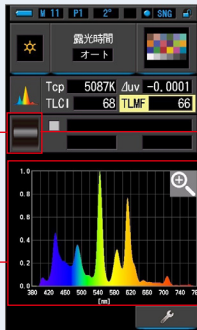
- 低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

5. 現在の測定値と、スペクトルグラフで表示されます。

6. [メモリー選択]アイコンをタッチします。

[TLCI/TLMF メモリー選択] 画面が表示されます。

TLCI/TLMF 画面



[メモリー選択]
アイコン

現在の測定値スペクトルグラフ表示

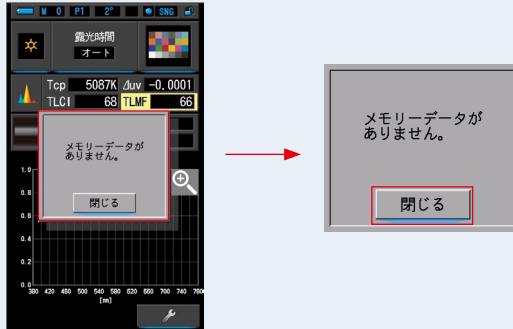
TLCI/TLMF メモリー選択画面



メモリー選択
エリア

メモリーに登録されていないときは、ポップアップ画面にメッセージが表示されます。

メモリー選択ポップアップ画面



「メモリーデータがありません。」メッセージを確認後、[閉じる]アイコンをタッチしてください。TLCI/TLMF画面に戻ります。

データをメモリーした後、再度選択してください。

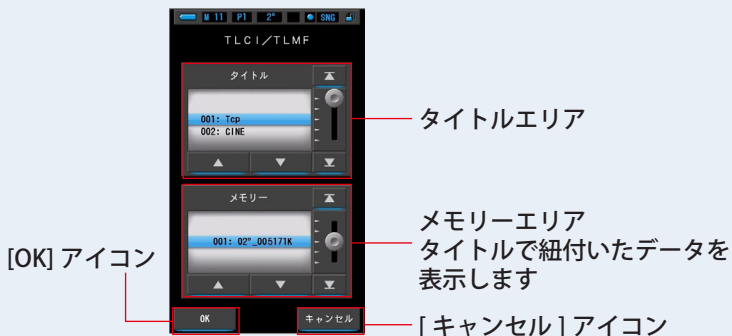
7. TLCI/TLMF メモリー値を選択します。

タイトルを選択すると、タイトルに紐付いているメモリーが表示されます。

表示するメモリーを選択してください。

選択するタイトルとメモリーを青色背景位置に合わせます。

TLCI/TLMF メモリー選択画面



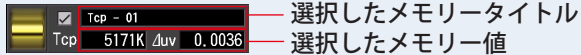
8. [OK] アイコンをタッチします。

設定を確定して TLCI/TLMF 画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

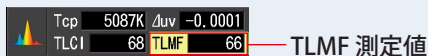
9. TLCI/TLMF 画面に、選択されたメモリー値を表示します。

メモリー表示



10. 選択したメモリー値に対する TLMF 値を表示します。

現在の測定値表示

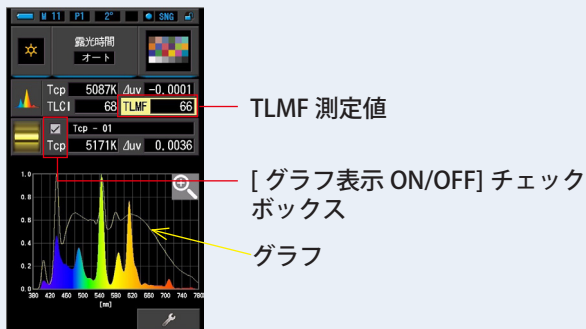


11. スペクトルグラフ上にメモリー値をグラフ表示します（黄線）。

[グラフ表示 ON/OFF] チェックボックスで、グラフの表示 / 非表示の切り換えができます。

※表示のときに☑します。表示させないときは□にします。

TLCI/TLMF 画面

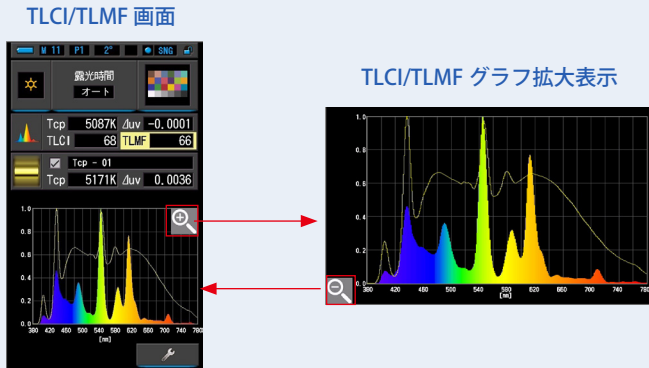


12. [虫メガネ (+)] アイコンをタッチします。

TLCI/TLMF グラフを拡大表示します。

拡大グラフは画面全体（横向き）に表示されます。

TLCI/TLMF グラフ（拡大）の [虫メガネ (-)] アイコンをタッチすると、TLCI/TLMF 画面に戻ります。



ご注意

- グラフ（拡大）の表示をしている場合は、測定できません。

13. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。（➡P108）

4-4-7 CIE1931 (CIE1964) で表示する [CIE1931 (CIE1964)] 画面

測定した結果をテキスト形式と共に CIE1931 (CIE1964) 色度図に座標位置を表示します。

ハードウェア設定の視野が 2° に設定されているときは CIE1931 色度図が表示されます。

CIE1964 色度図は視野が 10° に設定されたときに表示されます。






操作

1. 表示モード選択画面の [CIE1931 (CIE1964)] アイコンをタッチします。
CIE1931 (CIE1964) 画面が表示されます。(⇒P30)
2. [測定モード] アイコンをタッチします。
測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒P23)
3. 測定画面の [露光時間] アイコンまたは [シャッター速度] アイコンをタッチします。
定常光を測定する場合、露光時間をオート、0.1 秒、1 秒、の中から選択します。(⇒P25)
フラッシュ光を測定する場合、ご使用となるシャッター速度を選択します。(⇒P26)

4. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

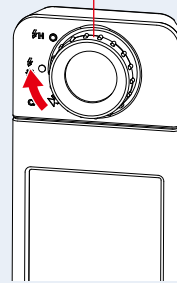
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(⇒P102、⇒P103)

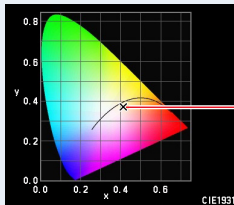
測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤

5. 測定値は黒い×印で示しています。



測定値



ご参考

- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

6. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。(⇒P108)

4-4-8

CIE1976 で表示する [CIE1976] 画面

測定した結果をテキスト形式と共に CIE1976 色度図に座標位置を表示します。
 (⇒ P203)

CIE1976 画面



操作

1. 表示モード選択画面の [CIE1976] アイコンをタッチします。

CIE1976 画面が表示されます。(⇒ P30)

2. [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒ P23)


3. 測定画面の [露光時間] アイコンまたは [シャッター速度] アイコンをタッチします。

定常光を測定する場合、露光時間をオート、0.1 秒、1 秒、の中から選択します。(⇒ P25)

フラッシュ光を測定する場合、ご使用となるシャッター速度を選択します。(⇒ P26)

4. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

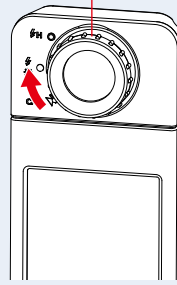
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(→P102、→P103)

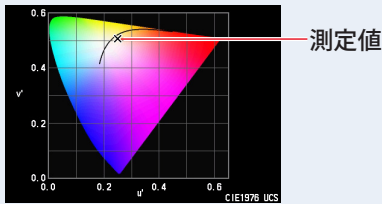
測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤

5. 測定値は黒い×印で示しています。



ご参考

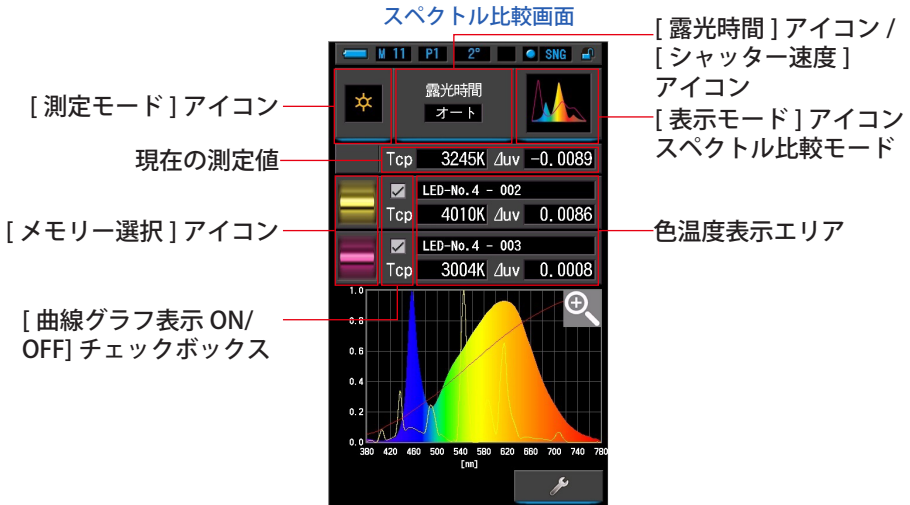
- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

6. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください (→P108)

4-4-9 スペクトル比較で表示する [スペクトル比較] 画面

スペクトル比較は現在の測定値とあらかじめメモリーした値を2つまで表示・比較します。




操作

- 表示モード選択画面の[スペクトル比較]アイコンをタッチします。
スペクトル比較画面が表示されます。(⇒P30)
- [測定モード]アイコンをタッチします。
測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒P23)
- 測定画面の[露光時間]アイコンまたは[シャッター速度]アイコンをタッチします。
定常光を測定する場合、露光時間をオート、0.1秒、1秒、の中から選択します。(⇒P25)
フラッシュ光を測定する場合、ご使用となるシャッター速度を選択します。(⇒P26)

4. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

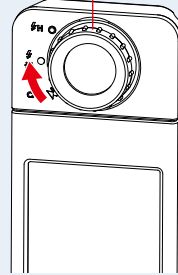
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(→ P102、 → P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤



ご参考

- 低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

5. 現在の測定値は測定値表示分の一番上と虹色のスペクトルグラフで表示されます。

測定されている値はグラフで表示されます。

6. [メモリー選択] アイコンをタッチします。

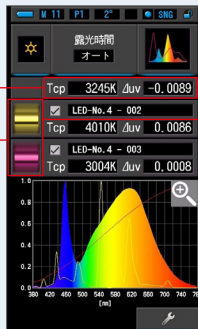
[スペクトル比較メモリー] 画面が表示されます。

スペクトル比較画面

スペクトル比較メモリー画面

現在の測定値

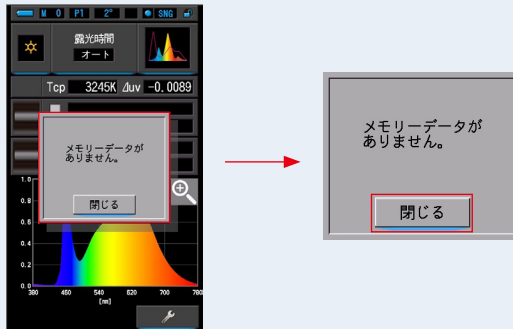
[メモリー選択] アイコン



メモリー選択
エリア

メモリーにデータが登録されていないときは、ポップアップ画面にメッセージが表示されます。

メモリー選択ポップアップ画面



「メモリーデータがありません。」メッセージを確認後、[閉じる]アイコンをタッチしてください。スペクトル比較画面に戻ります。

データをメモリーした後、再度選択してください。

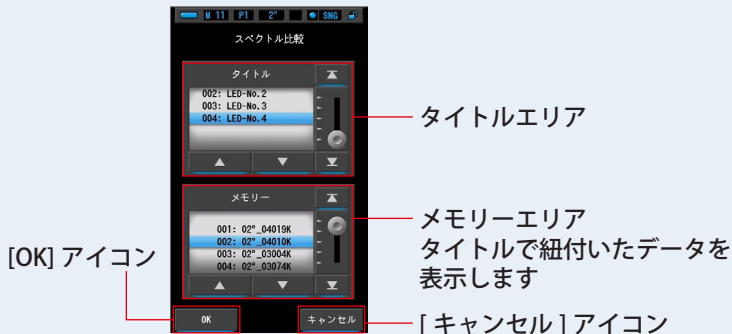
7. スペクトル比較するメモリーデータを選択します。

タイトルを選択すると、タイトルに紐付いているメモリーが表示されます。

比較するメモリーを選択してください。

選択するタイトルとメモリーを青色背景位置に合わせます。

スペクトル比較メモリーリコール画面



8. [OK] アイコンをタッチします。

設定を確定してスペクトル比較画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

9. スペクトル比較画面に、選択されたメモリのタイトルと測定値を表示します。

メモリのタイトル表示

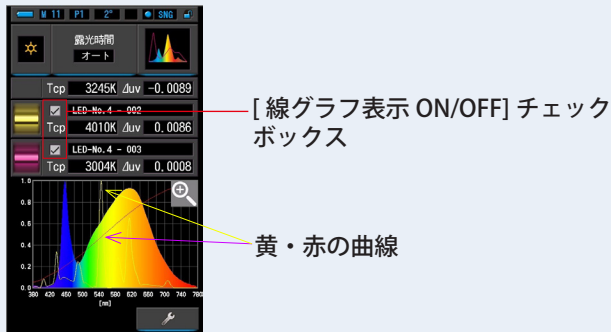


10. スペクトルグラフ上に黄・赤の曲線で表示します。

[線グラフ表示 ON/OFF] チェックボックスで、線グラフの表示/非表示の切り換えができます。

※表示のときに☑します。表示させないときは□にします。

スペクトル比較画面



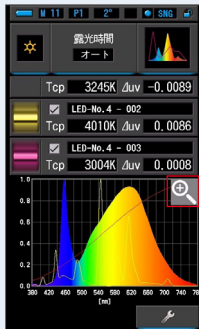
11. [虫メガネ (+)] アイコンをタッチします。

スペクトル比較 (分光分布) グラフを拡大表示します。

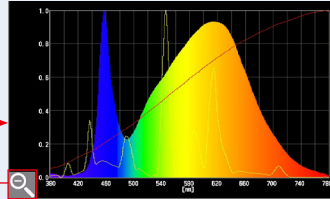
拡大グラフは画面全体 (横向き) に表示されます。

スペクトル比較 (分光分布) グラフ (拡大) の [虫メガネ (-)] アイコンをタッチすると、スペクトル比較画面に戻ります。

スペクトル比較画面




スペクトル比較 (分光分布) グラフ
拡大表示




⚠️ ご注意

- グラフ (拡大) の表示をしている場合は、測定できません。

📖 ご参考

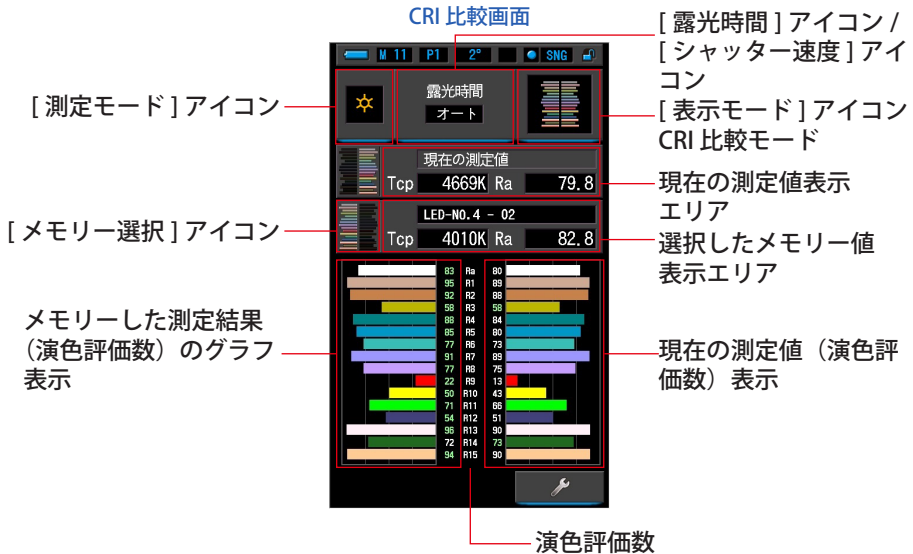
- 本体設定の 1 ページ目: 項目 [スペクトル Y 軸スケール] アイコンで、Y 軸の最大表示値を選択できます。(➡P138)
- スペクトル比較ではプリセット選択中であってもモニターモード設定ボタン [] は非表示となります。

12. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン  を押してください。(➡P108)

4-4-10 演色評価比較で表示する [CRI 比較] 画面

現在の測定値と、メモリーした値の色温度および平均演色評価数 (Ra) を表示します。また個々の演色評価数 (R1~R15) もグラフで表示し比較します。



操作

1. 表示モード選択画面の [CRI 比較] アイコンをタッチします。

CRI 比較画面が表示されます。(→P30)

2. [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(→P23)


3. 測定画面の [露光時間] アイコンまたは [シャッター速度] アイコンをタッチします。

定常光を測定する場合、露光時間をオート、0.1 秒、1 秒、の中から選択します。(→P25)

フラッシュ光を測定する場合、ご使用となるシャッター速度を選択します。(→P26)

4. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

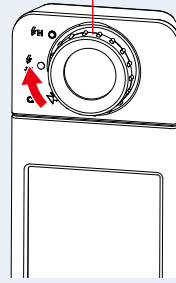
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(→ P102、 → P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤



- グラフ表示エリア Ra、R1 ~ R15 は常時表示されています。
- 低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。
- Ra は R1 から R8 の平均値であり、R9 から R15 は含みません。

5. 現在の測定値は画面右側にグラフで表示されます。

6. [メモリー選択] アイコンをタッチします。

[CRI 比較メモリー選択] 画面が表示されます。

CRI 比較画面

CRI 比較メモリー画面

現在の測定値

[メモリー選択] アイコン

現在の測定値 (演色評価数) 表示

メモリー選択エリア

メモリーにデータが登録されていないときは、ポップアップ画面にメッセージが表示されます。

メモリー選択ポップアップ画面



「メモリーデータがありません。」メッセージを確認後、[閉じる]アイコンをタッチしてください。CRI 比較画面に戻ります。

データをメモリー後、再度選択してください。

7. 比較するメモリー値を選択します。

タイトルを選択すると、タイトルに紐付いているメモリーが表示されます。

比較するメモリーを選択してください。

選択するタイトルとメモリーを青色背景位置に合わせます。

CRI 比較メモリー画面



8. [OK] アイコンをタッチします。

設定を確定して CRI 比較画面に戻ります。

[キャンセル]アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

9. CRI 比較画面に、選択されたメモリーのタイトルと測定値を表示します。

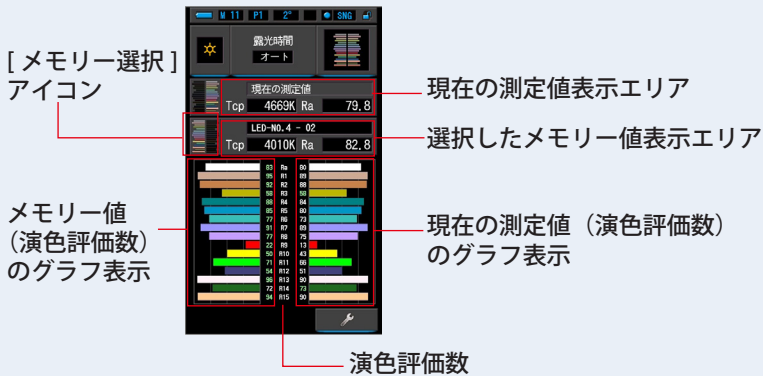
メモリー表示



10. CRI 比較画面に選択したメモリー値とグラフを表示します。

現在の測定値は画面右側に表示され、メモリー値は画面左側に表示されます。

CRI 比較画面



11. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン⑦を押してください。(➡P108)

4-4-11 CIE1931 (CIE1964) 比較で表示する [CIE1931 (CIE1964) 比較] 画面

測定した結果をテキスト形式と共に CIE1931 (CIE1964) 色度図に座標位置を表示します。測定結果と最大で 2 つのメモリーデータと比較できます。

ハードウェア設定の視野が 2° に設定されているときは CIE1931 色度図が表示されます。

CIE1964 色度図は視野が 10° に設定されたときに表示されます。



操作

1. 表示モード選択画面の [CIE1931 (CIE1964) 比較] アイコンをタッチします。

CIE1931 (CIE1964) 比較画面が表示されます。(⇒P30)

2. [測定モード] アイコンをタッチします。

測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒P23)


3. 測定画面の [露光時間] アイコンまたは [シャッター速度] アイコンをタッチします。

定常光を測定する場合、露光時間をオート、0.1 秒、1 秒、の中から選択します。(⇒P25)

フラッシュ光を測定する場合、ご使用となるシャッター速度を選択します。(⇒P26)

4. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンズを合わせてください。

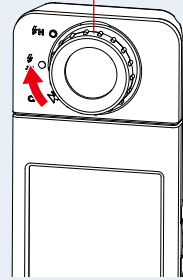
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(→ P102、 → P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤

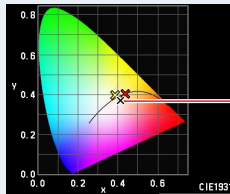


ご参考

- 低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

5. 現在の測定値は黒い×印で表示されます。

測定されている値は黒色×印で表示されます。



測定値

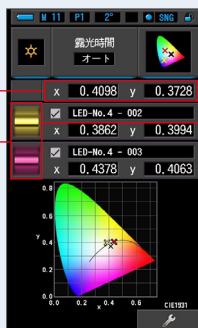
6. [メモリー選択] アイコンをタッチします。

[CIE1931 (CIE1964) 比較] 画面が表示されます。

CIE1931 (CIE1964) 比較画面 CIE1931 (CIE1964) 比較メモリー画面

現在の測定値

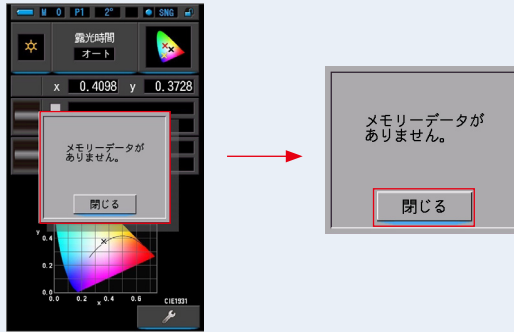
[メモリー選択] アイコン



メモリー選択
エリア

メモリーにデータが登録されていないときは、ポップアップ画面にメッセージが表示されます。

メモリー選択ポップアップ画面



「メモリーデータがありません。」メッセージを確認後、[閉じる]アイコンをタッチしてください。CIE1931 (CIE1964) 比較画面に戻ります。

データをメモリーした後、再度選択してください。

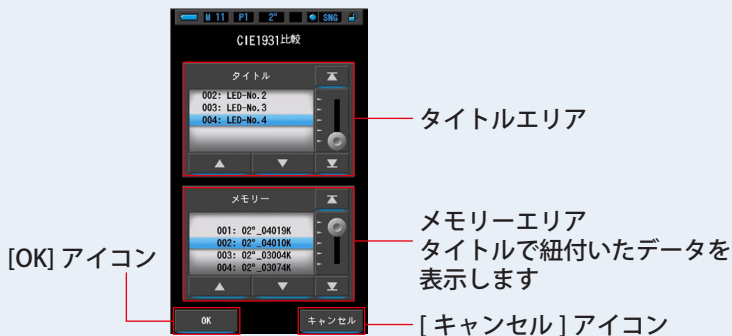
7. CIE1931 (CIE1964) 比較するメモリーデータを選択します。

タイトルを選択すると、タイトルに紐付いているメモリーが表示されます。

比較するメモリーを選択してください。

選択するタイトルとメモリーを青色背景位置に合わせます。

CIE1931 (CIE1964) 比較タイトル/メモリー画面



8. [OK] アイコンをタッチします。

設定を確定して CIE1931 (CIE1964) 比較画面に戻ります。

[キャンセル]アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

9. CIE1931 (CIE1964) 比較画面に、選択されたメモリのタイトルと測定値を表示します。

メモリのタイトル表示



—メモリタイトル

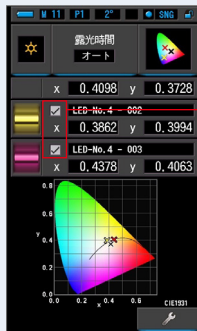
—メモリーされている測定値

10. 選択した値を CIE1931 (CIE1964) 比較画面に表示します。

[×印表示 ON/OFF] チェックボックスで、×印表示 / 非表示の切り換えができます。

※表示のときにします。表示させないときはにします。

CIE1931 (CIE1964) 比較画面




— [×印表示 ON/OFF]
チェックボックス

11. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン **7** を押してください。(➡P108)

ご参考

- CIE1931 (CIE1964) 比較ではプリセット選択中であってもモニターモード設定ボタン [] は非表示となります。

4-4-12 CIE1976 比較で表示する [CIE1976 比較] 画面

測定した結果をテキスト形式と共に CIE1976 色度図に座標位置を表示します。測定結果と最大 2 つのメモリーデータを比較できます。






操作

1. 表示モード選択画面の [CIE1976 比較] アイコンをタッチします。
CIE1976 比較画面が表示されます。(⇒P30)
2. [測定モード] アイコンをタッチします。
測定モード選択画面が表示されます。ご使用となる測定モードを選択します。(⇒P23)
3. 測定画面の [露光時間] アイコンまたは [シャッター速度] アイコンをタッチします。
定常光を測定する場合、露光時間をオート、0.1 秒、1 秒、の中から選択します。(⇒P25)
フラッシュ光を測定する場合、ご使用となるシャッター速度を選択します。(⇒P26)

4. 測定ボタン⑤を押して測定します。

光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

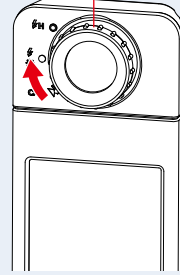
定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択します。

(→ P102、→ P103)

測定内容が表示されます。

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤

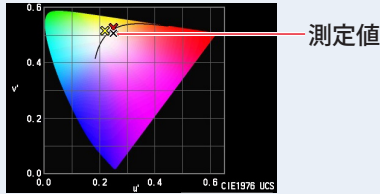


ご参考

- 低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

5. 現在の測定値は黒い×印で表示されます。

測定されている値は黒色×印で表示されます。



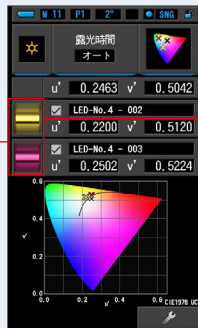
6. [メモリー選択]アイコンをタッチします。

[CIE1976 比較]画面が表示されます。

CIE1976 比較画面

CIE1976 比較メモリー画面

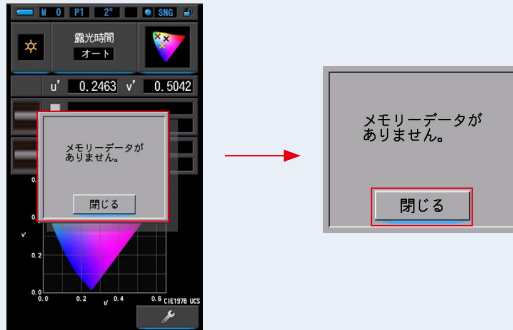
[メモリー選択]アイコン



メモリー選択エリア

メモリーにデータが登録されていないときは、ポップアップ画面にメッセージが表示されます。

メモリー選択ポップアップ画面



「メモリーデータがありません。」メッセージを確認後、[閉じる]アイコンをタッチしてください。CIE1976 比較画面に戻ります。

データをメモリーした後、再度選択してください。

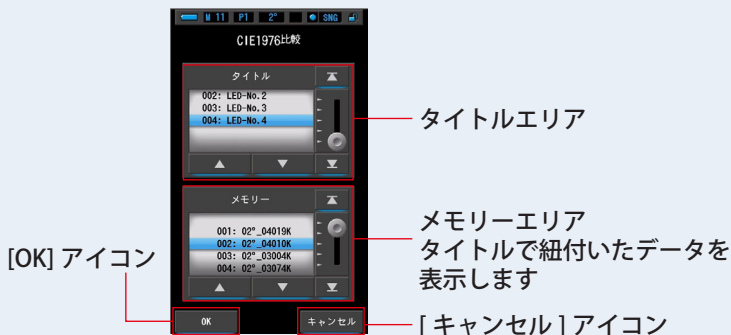
7. CIE1976 比較するメモリーデータを選択します。

タイトルを選択すると、タイトルに紐付いているメモリーが表示されます。

比較するメモリーを選択してください。

選択するタイトルとメモリーを青色背景位置に合わせます。

CIE1976 比較タイトル/メモリー画面



8. [OK] アイコンをタッチします。

設定を確定して CIE1976 比較画面に戻ります。

[キャンセル] アイコンをタッチすると、設定をキャンセルします。

9. CIE1976 比較画面に、選択されたメモリーのタイトルと測定値を表示します。

メモリーのタイトル表示




10. 選択した値を CIE1976 比較画面のグラフに表示します。

[×印表示 ON/OFF] チェックボックスで、×印表示 / 非表示の切り換えができます。
※表示のときに します。表示させないときは にします。

CIE1976 比較画面




11. 測定内容をメモリーします。

測定値を記録したいときは、メモリーボタン  を押してください。(➡P108)



ご参考

- CIE1976 比較ではプリセット選択中であってもモニターモード設定ボタン [] は非表示となります。

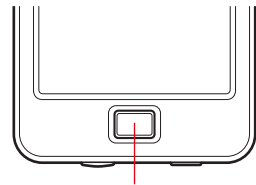
4-4-13 本体設定を表示する [本体設定]画面

本体の設定内容を表示します。ご使用方法に合わせて内容を変更することもできます。本体設定の設定方法や仕様の詳細については、「7-1-1 項目一覧」を参照してください。(➡P135)



ご参考

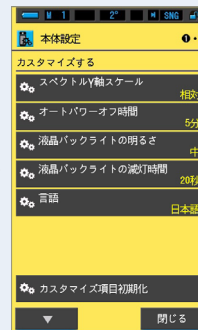
- 測定画面を表示中でも、本体のメニューボタン⑥を押すと、操作中の設定を中断して表示モード選択画面に移ります。



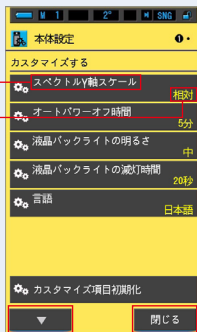
メニューボタン⑥

操作

1. 表示モード選択画面2ページ目の[本体設定]アイコンをタッチします。
本体設定画面が表示されます。

表示モード選択画面
1 ページ表示モード選択画面
2 ページ本体設定画面
1 ページ

2. 本体設定は項目（白文字）と設定内容（黄文字）が表示されています。
各項目にタッチすると設定を変更できます。

本体設定画面
1 ページ

2 ページへ

本体設定画面
2 ページ

1 ページへ

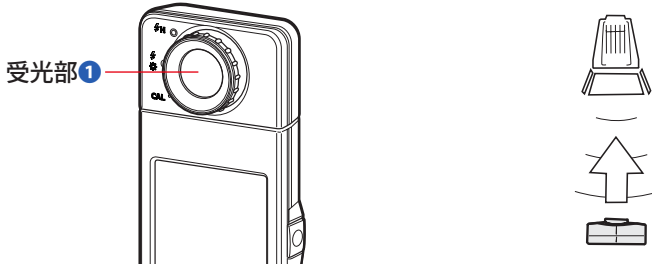
[閉じる]アイコン

[閉じる]アイコンをタッチすると、表示モード選択画面に戻ります。本体設定の設定方法や仕様の詳細については、「7-1-1 項目一覧」を参照してください。(▶P135)

5. 光源を測定する [測定画面]

5-1 測定方法

光源の色温度を正しく測る場合は、受光部①を光源に向けて測定してください。



⚠️ ご注意

- 正しい測定値を得るために、光源と本体の距離を光源の灯体発光部の口径の約 10 倍くらいにして測定してください。
- 光源の色を正しく測定するために、色のついた物体からの反射光や他の光源が受光部①に入らないように注意してください。
- 精度に影響を与える恐れがありますので、受光部①の白色板には傷や汚れを付けないように扱ってください。受光部①が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）は絶対に使用しないでください。
- フラッシュ光等の強い光に敏感な方（光線過敏）で、光が原因で体に異常を感じる体質の人がいます。症状悪化の原因となることがありますので、測定時に周囲に人がいる場合にはご注意ください。

5-2 定常光モードでの測定

自然光（太陽光）やLED・タングステンランプ・蛍光灯のような連続光は、定常光モードで測定を行います。

警告

- 測定時に、太陽やその他の強い光線を直視しないようにご注意ください。目に重傷を負ったり失明に至る場合もあります。

操作

- 測定画面で[測定モード]アイコンの[定常光モード]アイコンをタッチします。

測定モードを選択します。(▶P23)



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

- [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

3. 測定画面で[露光時間]アイコンをタッチします。

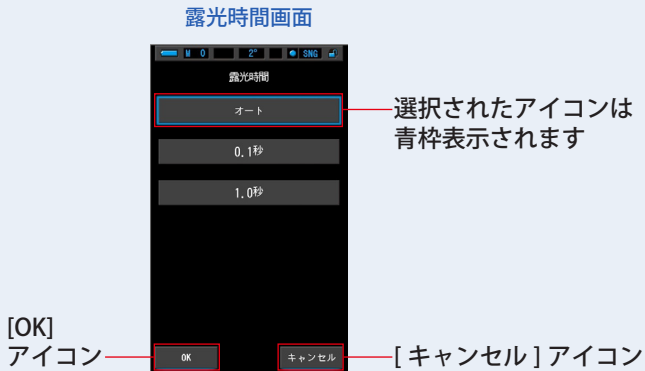
露光時間を選択します。(→P25)

測定画面の[露光時間]アイコンをタッチして選択します。



4. 露光時間を選択します。

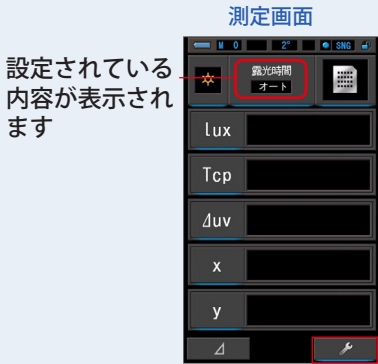
オート、0.1秒、1秒アイコンのいずれかをタッチします。



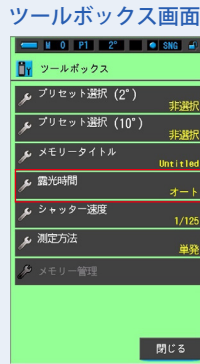
5. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。



設定されている
内容が表示され
ます





[ツールボックス] アイコン

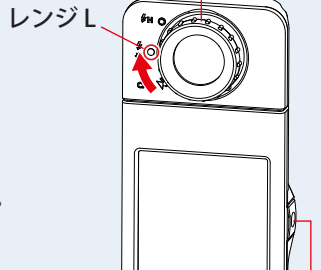


- ツールボックスの「露光時間」からでも設定できます。(▶P126)

6. レンジを確認します。

測定画面に戻ったら、必ずレンジL ( ) を
選択してください。

光量切り換えリング②



7. 測定ボタン⑤を押します。

測定が開始され、指示値が表示されます。
ボタンを押している間は連続的に測定が行われます。
ボタンを放すと測定を終了し、放した時点の指示値
が表示されます。

測定ボタン⑤



- デフォルト測定では単発測定が可能です。ツールボックス画面で連続測定を選択出来ます。(▶P130)
- 本機の測定範囲を超えた測定を行った場合は、測定範囲外であることを示す、[Over] (または [Under]) が表示されます。
この場合は明るさ、または色温度を調整してください。
- 低照度 (約 30 lx 以下) の測定を行う際は、測定時間が長くなります。
測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。
故障ではありません。

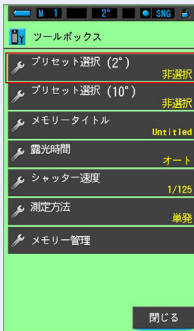
定常光モードでの測定が完了しました。



ご参考

- 必要があれば、ツールボックスのプリセットの選択より、あらかじめ設定してあるプリセットを呼び出して設定することができます。(▶P150)

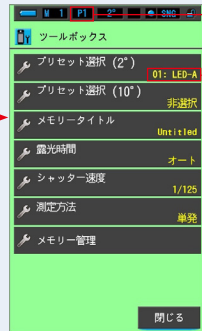
ツールボックス画面



プリセット選択画面



ツールボックス画面



選択した箇所は青色
背景表示されます

設定されている内容が
表示されます

設定されたプリセット
番号が表示されます

プリセット登録していないときは、ツールボックスの[プリセット選択]アイコンをタッチしても、選択できません。必要がなければ省略できます。



ご注意

- プリセット選択画面を表示させるには、あらかじめ本体設定のプリセット編集にて「プリセット選択リスト表示」を「表示」にしておく必要があります。「表示」と設定されているリストがない場合、プリセット選択のボタンは有効になりません。

5-3 フラッシュ光コードレスモードでの測定

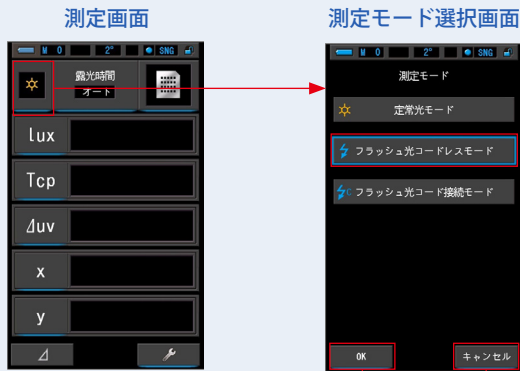
一般的にシンクロコードを使用せずにフラッシュ光を測定したい場合に使用します。

この測定モードは、本機を測定待機状態（90 秒間）にセットし、この間にフラッシュを発光させて測定します。

操作

1. 測定画面で[測定モード]アイコンの[フラッシュ光コードレスモード]アイコンをタッチします。

測定モードを選択します。(▶P23)



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

2. [OK] アイコンをタッチします。

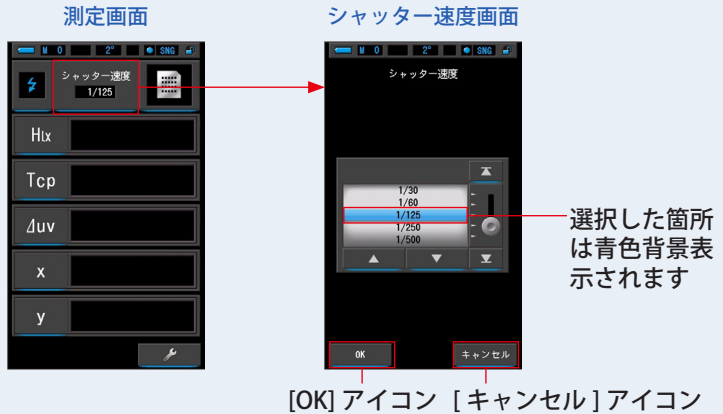
内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

3. 測定画面の [シャッター速度] アイコンをタッチします。

測定に使用するシャッター速度を設定します。(➡P26)

スライド操作で、設定したいシャッター速度を青色背景位置に合わせます。





ご注意

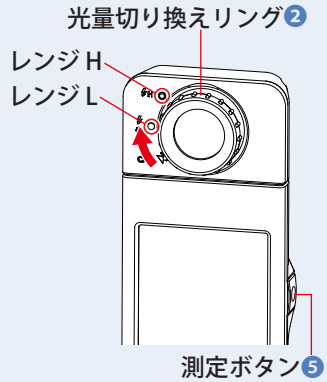
- シャッター速度は、ご使用となる機器の同調範囲内で設定してください。

ご参考



- ツールボックスの「シャッター速度」からでも設定できます。(➡P128)

4. レンジを確認します。

測定画面に戻ったら、光量によってレンジL () またはレンジH () を選択してください。



ご参考

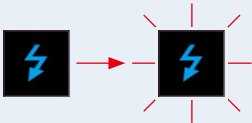
- レンジL () : フラッシュ光量が小さい (~ 640 lx·s) ときに選択します。測光時、光量がオーバーのときは [Over] が表示されます。このときは、レンジをLからHに切り換えて使用します。
- レンジH () : フラッシュ光量が大きい (580 lx·s ~) ときに選択します。測光時、光量がアンダーのときは [Under] が表示されます。このときは、レンジをHからLに切り換えて使用します。

5. 測定ボタン⑤を押します。

測光待機状態になります。

アイコン点滅中にフラッシュ光を手動で発光させます。

測定中は、[測定モード]アイコンが90秒間点滅します。



測定待機中は測定に影響するため、LCDバックライトが暗くなります。故障ではありません。

フラッシュ光が発光されると、3秒間測定値を表示し、測定待機状態に戻ります。

待機状態を解除したい場合は、画面にタッチまたはメニューボタン⑥を押してください。

ご参考



- フラッシュ光を発光する前にアイコンの点滅が終了したときや、もう一度測定し直したいときは、測定ボタン⑤を押してください。

フラッシュ光コードレスモードでの測定が完了しました。


注意

- フラッシュ発光部に皮膚や物を密着させての発光はしないでください。フラッシュ連続発光後、フラッシュ発光部に触らないでください。(火傷の恐れがあります。)
- フラッシュを人や動物の目に近づけて発光しないでください。(一時的に視力に影響を与える恐れがあります。)
- フラッシュが突然発光する場合があります。火傷や視力への影響につながる恐れがありますので、取扱いについてはご注意ください。

ご注意

- フラッシュ光コードレスモードでは、測定待機中に液晶画面のバックライトは減灯し、測定後3秒間だけ液晶バックライトが点灯します。待機状態を解除したい場合は、画面にタッチまたはメニューボタンを押してください。
- 下記の場合は、「5-4 フラッシュ光コード接続モードでの測定」で測定してください。(▶P94)
 - ・ フラッシュを発光させても周囲光に比べてフラッシュの光量が少ない場合は、光を感じない時があります。
 - ・ ラピッドスタート型蛍光灯や特殊な照明下では、まれにこれらの光をフラッシュ光として判別し、測定してしまうことがあります。
 - ・ 測定待機中にフラッシュを発光させなくても、受光部に急激な光の変化が起きると測定してしまうことがあります。
 - ・ フラッシュバルブ(閃光電球)は発光波形がなだらかなため、コードレス測定では光を感じません。

ご参考

- フラッシュ光コードレスモードを使用する場合、三脚固定ネジを利用して本体を三脚またはスタンドに固定し、測定を行うと便利です。
- 本機の測定範囲を超えた測定を行った場合は、測定範囲外であることを示す、[Over] (または [Under]) が表示されます。この場合は明るさ、または色温度を調整するか、レンジを切り換えてください。(▶P103)

5-4 フラッシュ光コード接続モードでの測定

フラッシュとの同調を確実にやりたい場合やフラッシュバルブ（閃光電球）で発光する場合に使用します。

この測定モードは、フラッシュと本機をシンクロコード（別売り）で接続して測定を行います。

⚠ 注意

- 雨中、水しぶきがかかる場所や製品の水没、または水気のあるところ、濡れた手で扱うことはしないでください。「フラッシュ光コード接続モード」では感電の危険があります。また、製品が故障する原因となる場合があります。
- 高電圧を使用したフラッシュを使用する際の測定を行うとき、シンクロターミナル⑫の接触状態によって感電の危険があります。測定に使用する際のフラッシュの取扱いにも十分ご注意ください。

操作

1. 測定画面で[測定モード]アイコンの[フラッシュ光コード接続モード]アイコンをタッチします。

測定モードを選択します。（▶P23）



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

2. [OK] アイコンをタッチします。

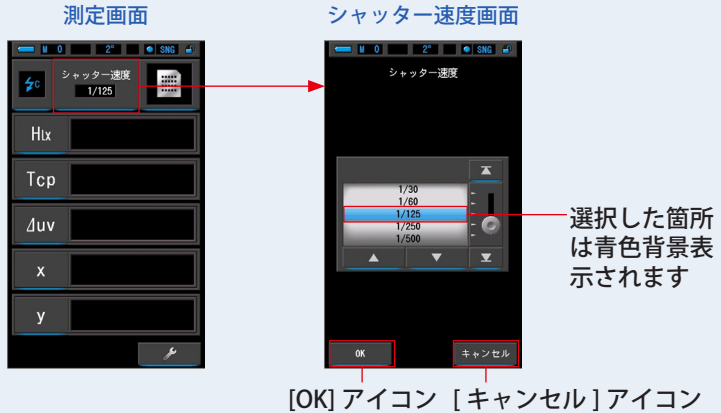
内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

3. 測定画面の [シャッター速度] アイコンをタッチします。

測定に使用するシャッター速度を設定します。(➡P26)

スライド操作で、設定したいシャッター速度を青色背景位置に合わせます。



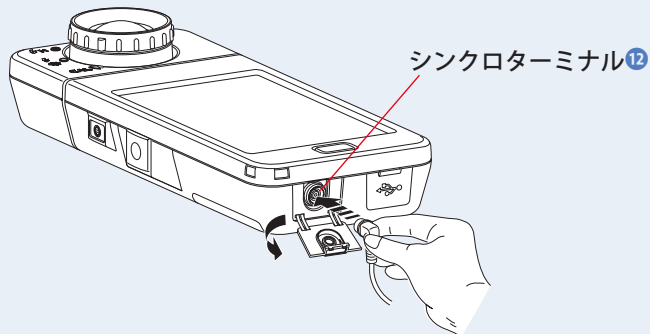
⚠️ ご注意

- シャッター速度は、ご使用となる機器の同調範囲内で設定してください。

📖 ご参考

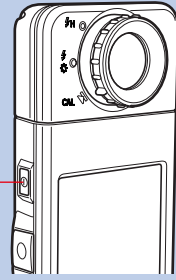
- ツールボックスの「シャッター速度」からでも設定できます。(➡P128)

4. フラッシュのシンクロコード (別売り) を本機のシンクロターミナル ⑫ に接続します。



⚠ 注意

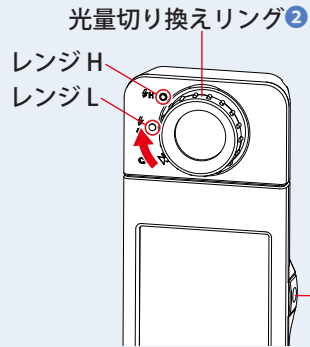
- シンクロターミナル⑫にシンクロコードを接続したときや本機の電源ボタン③を操作した場合、フラッシュによっては発光してしまう場合があります。火傷や視力への影響につながる恐れがありますので、取扱いについてはご注意ください。



電源ボタン③

5. レンジを確認します。

測定画面に戻ったら、光量によってレンジL ⚡ () またはレンジH ⚡H () を選択してください。



測定ボタン⑤

📖 ご参考

- レンジL ⚡ () : フラッシュ光量が小さい (~ 640 lx·s) のときに選択します。測光時、光量がオーバーのときは [Over] が表示されます。このときは、レンジをLからHに切り換えて使用します。
- レンジH ⚡H () : フラッシュ光量大きい (580 lx·s ~) のときに選択します。測光時、光量がアンダーのときは [Under] が表示されます。このときは、レンジをHからLに切り換えて使用します。

6. 測定ボタン⑤を押します。

測定が開始され、フラッシュが発光して指示値が表示されます。

測定中は測定に影響するため、LCDバックライトが暗くなります。故障ではありません。

フラッシュ光コード接続モードでの測定が完了しました。

注意

- シンクロターミナル⑫にシンクロコードを接続したときや本機の電源ボタン⑤を操作した場合、フラッシュによっては発光してしまう場合があります。火傷や視力への影響につながる恐れがありますので、取扱いについてはご注意ください。
- フラッシュ発光部に皮膚や物を密着させての発光はしないでください。フラッシュ連続発光後、フラッシュ発光部に触らないでください。(火傷の恐れがあります。)
- フラッシュを人や動物の目に近づけて発光しないでください。(一時的に視力に影響を与える恐れがあります。)
- フラッシュが突然発光する場合があります。火傷や視力への影響につながる恐れがありますので、取扱いについてはご注意ください。



ご注意

- 極端にトリガ電圧が低いフラッシュ等では、発光しない場合があります。この場合は「5-3 フラッシュ光コードレスモードでの測定」で測定してください。(➡P90)
- フラッシュバルブ(閃光電球)を発光させて測定するときは、同調範囲を確認してシャッター速度を設定してください。

ご参考

- 本機の測定範囲を超えた測定を行った場合は、測定範囲外であることを示す、[Over] (または [Under]) が表示されます。(➡P102)
この場合は明るさ、または色温度を調整するか、レンジを切り換えてください。(➡P103)

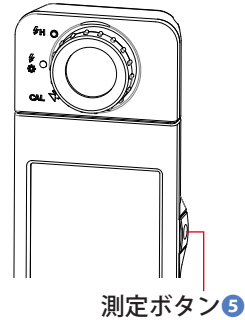
5-5 モニター機能（定常光モードのみ）

スペクトル比較、CIE1931/1964比較、CIE1976比較モード以外の表示モードにおいて、[差分測定]アイコン（）をタッチすると、[差分測定]アイコンが（）に変わります。

この表示になっているときは、測定ボタン⑤を押している間、プリセットされている基準値と現在測定中の値の差が表示されます。

基準値とは、差分測定アイコンを押したときの測定値となります。

測定ボタン⑤を放したときは基準値が表示されます。

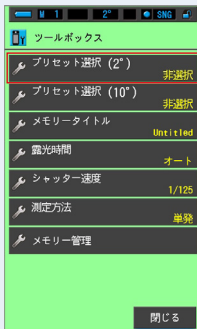


操作

1. ツールボックスの[プリセット選択 2° / プリセット選択 10°]アイコンをタッチします。

[プリセット選択 2° / プリセット選択 10°]のプリセット選択画面が表示されます。

ツールボックス画面



プリセット選択 (2°) 画面



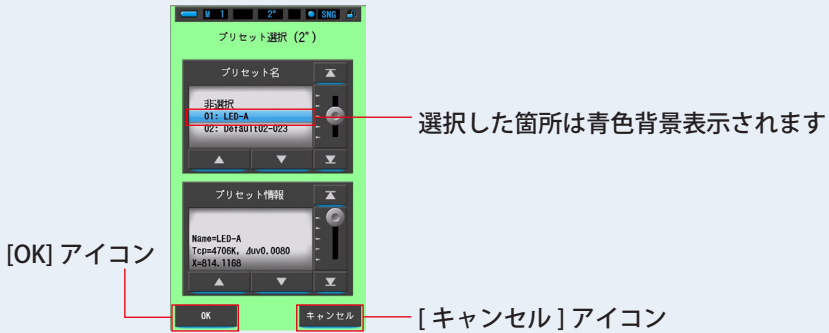
⚠️ ご注意

- プリセット選択画面を表示させるには、あらかじめ本体設定のプリセット編集にて「プリセット選択リスト表示」を「表示」にしておく必要があります。「表示」と設定されているリストがない場合、プリセット選択のボタンは有効になりません。

2. 設定したいプリセット No. (1~5) を青色背景位置に合わせます。

あらかじめ設定してあるプリセット No. を選択します。

プリセット選択画面



ご注意

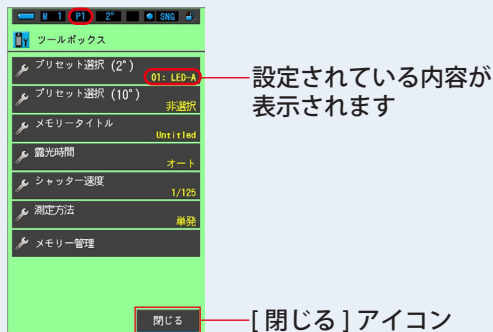
- 測定の際にプリセット値を使用しない場合は、プリセット No. を非選択にしてください。

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、ツールボックス画面に戻ります。

内容を変更せず、ツールボックス画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

ツールボックス画面



4. [閉じる]アイコンをタッチします。

測定画面に戻ります。

ステータスバーに設定が反映されます。





プリセットが設定されました。

5. [差分測定] () アイコンをタッチします。

[差分測定] () アイコンに換わります。



6. 測定ボタン を押します。


[差分測定] () アイコンを表示中は測定ボタン  を押している間、基準値との差を表示します。



7. 差分測定を終了します。



測定ボタン⑤を放すと、基準値を表示します。

8. [差分測定] () アイコンをタッチします。

[差分測定] () アイコンに換わり、現在の測定値を表示します。



ご参考

- プリセットを選択していない場合の [差分測定] アイコン () をタッチしても、差分測定はできません。
- [差分測定] アイコン () は電源を OFF すると解除されます。
- [差分測定] アイコンを表示中はメモリーボタン⑦は無効です。


5-6 [Over]、[Under] 表示のときは

[Over] または [Under] が表示しているときは、光源の測定値が測定範囲外です。

5-6-1 [Over]、[Under] の表示


[Over] が表示された場合：

フラッシュ光測定時に指示値が本機の測定範囲の上限を超えた場合は、[Over] が表示されます。

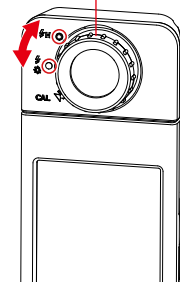
光量切り換えリング②を回して、レンジをH  に合わせても [Over] が表示される場合は、測定範囲外です。この場合はフラッシュの光量を調節（光量を小さく）して再測定してください。

[Under] が表示された場合：

定常光およびフラッシュ光測定時に指示値が本機の測定範囲の下限を超えた場合は、[Under] が表示されます。

定常光測定の場合は、光源に近づいて再測定してください。フラッシュ光測定時の場合は、光量切り換えリング②を回して、レンジをL  に合わせても [Under] が表示される場合は、測定範囲外です。この場合はフラッシュの光量を調節（光量を大きく）して再測定してください。または光源に近づいて再測定してください。

光量切り換えリング②








測定ボタン⑤

ご参考

- 低照度（約 30 lx 以下）の測定を行う際は、測定時間が長くなります。測定中は測定に影響するため LCD バックライトが暗くなります。故障ではありません。

5-6-2 レンジを切り換える

フラッシュ光の強さ、定常光の輝線の強さに応じて、レンジを切り換えて使用します。

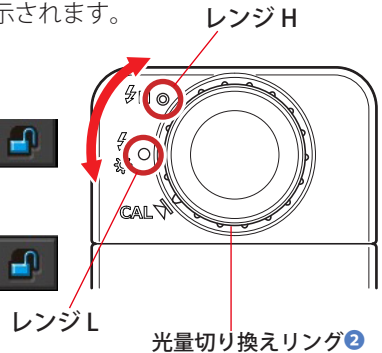
光量切り換えリング (ステータスバー表示)			内容
ダーク補正位置		CAL	測光時には、使用しません。 ダーク補正を行うときに選択します。
レンジL			定常光測定の場合は、必ずレンジLを選択します。フラッシュ光測定の場合は、光量が小さい(～640 lx・s)ときに選択します。 定常光を測定する基準の選択です。
レンジH			フラッシュ光測定の場合に、光量が大きい(580 lx・s～)ときに選択します。 定常光測定では使用しません。

光量切り換えリング②を回して目的のレンジを選択します。
設定されたレンジが液晶画面のステータスバーに表示されます。

レンジLの場合




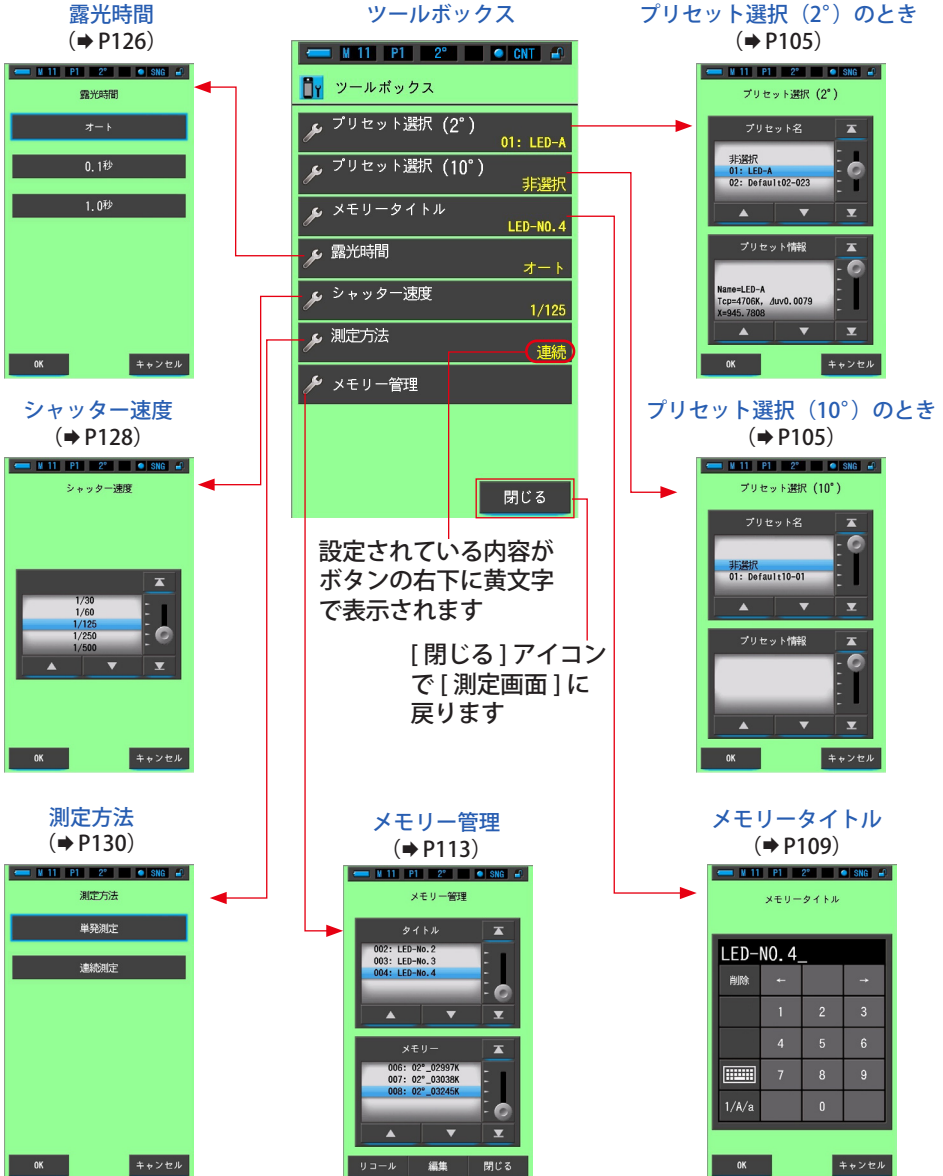
レンジHの場合



6. 測定のツール [ツールボックス]画面

ツールボックスの画面切り換え

測定画面の[ツールボックス ()]アイコンをタッチすると、ツールボックス画面へ切り換わります。(⇒P16) ツールボックスからの画面切り換えは以下の通りです。



6-1 プリセットの選択 [プリセット選択]画面

ツールボックスのプリセットの選択より、あらかじめ設定してあるプリセットを呼び出して設定することができます。

プリセット選択 (2°) または、プリセット選択 (10°) のプリセット項目を選択します。プリセット選択項目は、「本体設定」・「プリセット編集」にて“プリセット選択リスト表示”が表示と設定された項目のみをドラムに表示します。

プリセット選択 (2°) 画面



「本体設定」の「プリセット編集」であらかじめ「表示」に設定されているプリセットがリスト表示されます

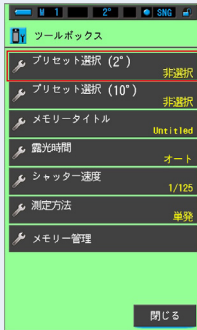
選択されているプリセットの補正量が表示されます

操作

1. ツールボックスの[プリセット選択 2° / プリセット選択 10°]アイコンをタッチします。

[プリセット選択 2° / プリセット選択 10°]のプリセット選択画面が表示されます。

ツールボックス画面



プリセット選択 (2°) 画面



選択した箇所は青色背景表示されます

! ご注意

- プリセット選択画面を表示させるには、あらかじめ本体設定のプリセット編集にて「プリセット選択リスト表示」を「表示」にしておく必要があります。(⇒P156)
「表示」と設定されているリストがない場合、プリセット選択のボタンは有効になりません。

2. 設定したいプリセット No. (01~05) を青色背景位置に合わせます。

あらかじめ登録してあるプリセットを選択できます。

プリセット選択画面



選択した箇所は青色背景表示されます

[OK] アイコン

[キャンセル] アイコン



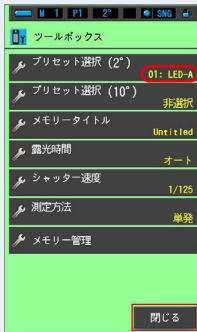
- 測定の際にプリセット値を使用しない場合は、プリセット No. を非選択にしてください。

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

ツールボックス画面



設定されている内容が表示されます

[閉じる] アイコン

4. [閉じる] アイコンをタッチします。

測定画面に戻ります。

ステータスバーに設定が反映されます。

ステータスバー



プリセットが設定されました。

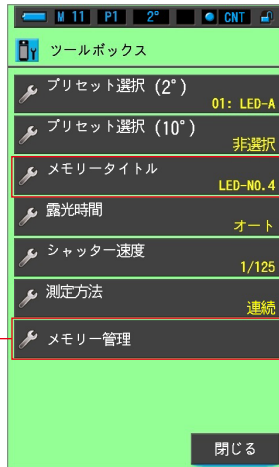
6-2 メモリー機能

メモリー機能は光源の測定データの一つまたはグループで保存し、いつでもリコールすることができます。999個の測定値が保存可能です。また、メモリータイトルに名前を付けたり、保存後にメモリータイトルの名前を変更をしたり、保存された値をクリアできます。

メモリー管理画面



ツールボックス画面



メモリータイトル画面



リコール (テキスト) 画面



メモリー編集画面



メモリータイトル名を変更できます

メモリー値を削除します

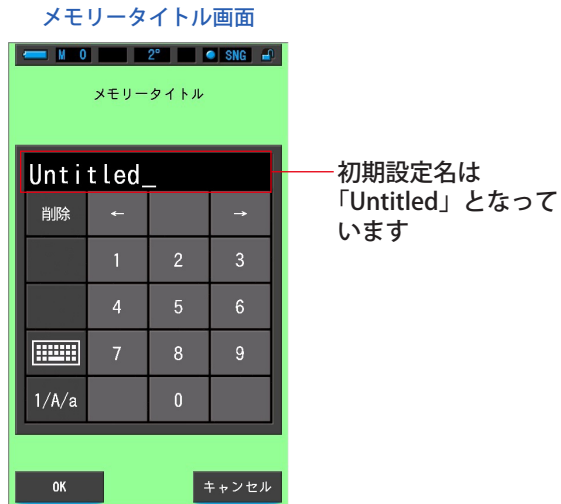
6-2-1

メモリーした測定値にタイトルを付ける
[メモリータイトル]画面

あらかじめメモリータイトルをつけておくと、メモリーした測定値にタイトル（テキスト）をつけることができます。光源名や日時などを入れるとメモリーした値の管理に便利です。

この機能をご使用になるには、下記の順序で操作が必要です：

- メモリータイトルを入力する
- 光源を測定する
- メモリーボタン⑦を押す



ご参考

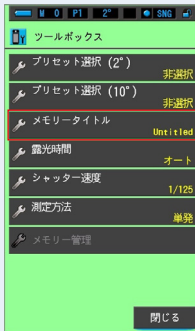
- タイトルに入力可能な文字数は、英数字で最大 16 文字です。
- 一つのメモリータイトルに対し、複数のメモリー値を保存することができます。
- 登録可能な件数は、最大 999 件です。

操作

1. ツールボックスの[メモリータイトル]アイコンをタッチして選択します。

メモリータイトル画面が表示されます。

ツールボックス画面



メモリータイトル画面



入力選択

2. メモリータイトルを入力します。(⇒ P18)

タイトルを決めて入力することができます。

メモリータイトル画面



[OK] アイコン

[キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

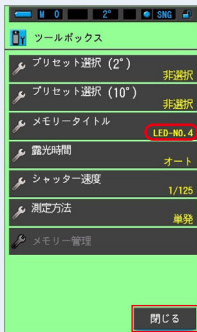
内容が確定され、ツールボックス画面に戻ります。

内容を変更せず、ツールボックス画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

4. [閉じる]アイコンをタッチします。

測定画面に戻ります。

ツールボックス画面



[閉じる]アイコン

メモリータイトルが入力されました。






- メモリータイトルは、メモリーする前に入力する必要があります。
- メモリータイトルは、メモリーした後もメモリー管理画面で変更することができます。(⇒ P118)

5. 光源を測定します。

測定ボタン⑤を押し、測定を行います。

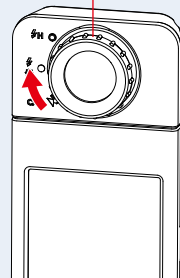
光量切り換えリング②を回してレンジを合わせてください。

定常光測定の場合は、必ずレンジL () を選択します。

フラッシュ光測定の場合は、光量によってレンジL () またはレンジH  を選択します。

(⇒ P102、⇒ P103)

光量切り換えリング②



測定ボタン⑤

測定画面



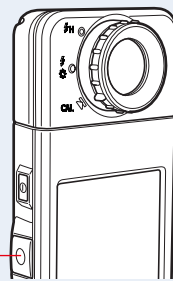
測定



6. メモリーボタン⑦を押すと、入力したメモリータイトルに紐づいて測定値がメモリーされます。

ステータスバーに反映されます。

ステータスバー

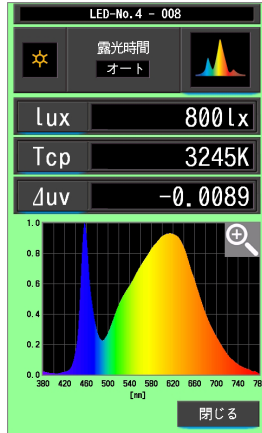


メモリーボタン⑦

6-2-2 測定結果を呼び出す [メモリーリコール] 画面

メモリーされた測定値はメモリー管理アイコンをタッチすることで呼び出すことができます。メモリー管理画面のリコールで呼び出されたメモリー値は、任意の表示モードで再表示させることができます。

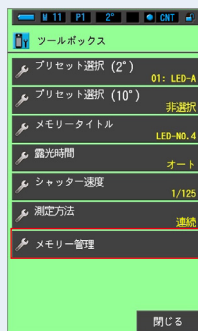
例) メモリーリコールスペクトルモード画面



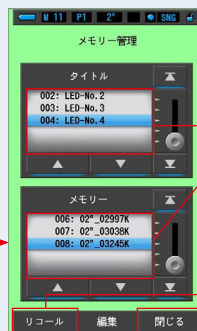
操作

1. ツールボックスの [メモリー管理] アイコンをタッチします。
メモリー管理画面が表示されます。
2. 呼び出す「タイトル」と「メモリー」を背景青色位置に合わせます。
呼び出すメモリーを設定できます。

ツールボックス画面



メモリー管理画面



選択した箇所は背景青色表示されます

[リコール] アイコン
[閉じる] アイコン

3. [リコール]アイコンをタッチします。

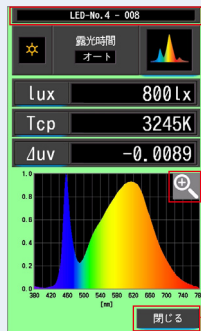
内容が確定され、表示されていたメモリーリコールモードで測定画面に移ります。
内容を変更せず、ツールボックス画面に戻る場合は、[閉じる]アイコンをタッチします。

4. メモリー内容を確認します。

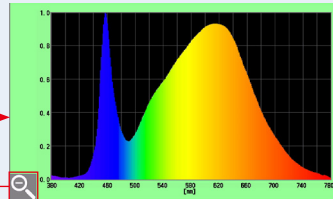
メモリーリコールは、測定したときの表示モードで表示します。
メモリーリコールモードを表示中は、背景が緑色で表示されます。
メモリーリコール画面を表示中はステータスバーとメモリータイトルが2秒ごとに表示が切り換わります。

例)

メモリーリコール
スペクトルモード画面



スペクトル (分光分布) グラフ
拡大表示



[閉じる]アイコン

ご注意

- [スペクトル比較]でメモリーした場合は、現在の測定値のみがメモリーされるため、メモリーリコールでは[スペクトル比較]画面は表示できません。[スペクトル]画面で表示します。
- メモリーリコールでは、測定できません。

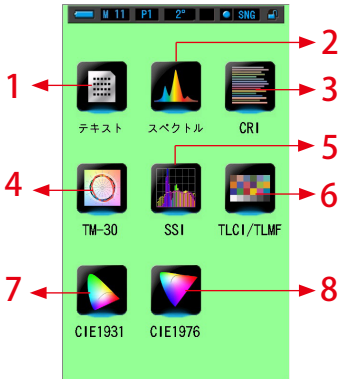
5. [閉じる]アイコンをタッチします。

メモリー管理画面に戻ります。メモリー管理画面の「閉じる」アイコンをタッチするとツールボックス画面に戻ります。

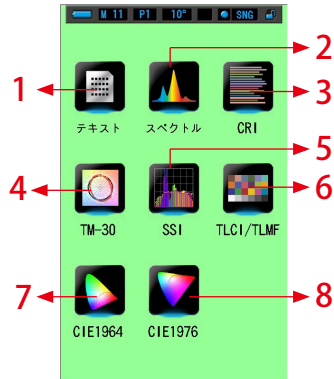
メモリーリコールの表示モードを変更する

メモリーリコールモードで[表示モード]アイコンをタッチすると、メモリーリコール可能なアイコンが表示されます。各アイコンにタッチすると、指定した表示モード(メモリーリコールモード)で表示します。メモリーリコール画面を表示中はステータスバーとメモリータイトルが2秒ごとに表示が切り替わります。

メモリーリコールモード
表示モード選択画面(2°視野)



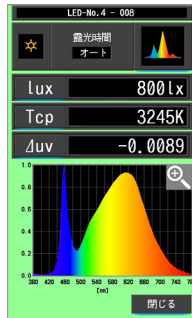
メモリーリコールモード
表示モード選択画面(10°視野)



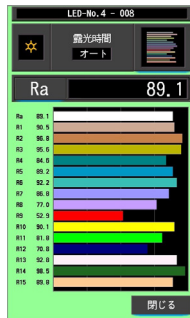
1 メモリーリコール
テキスト画面



2 メモリーリコール
スペクトル画面



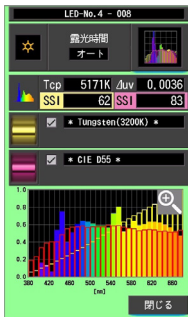
3 メモリーリコール
CRI画面



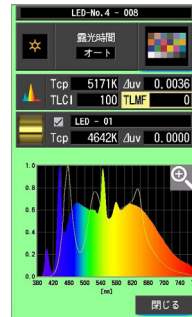
4 メモリーリコール
TM-30画面



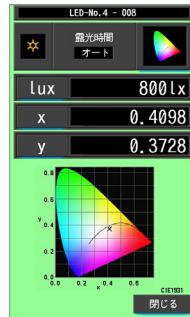
5 メモリーリコール
SSI画面



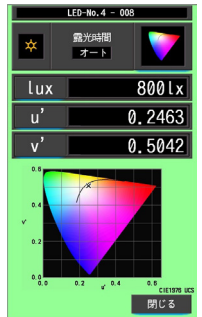
6 メモリーリコール
TLCI/TLMF画面



7 メモリーリコール
CIE1931 (CIE1964)画面



8 メモリーリコール
CIE1976画面



No.	表示モード アイコン	名称	説明
1	 テキスト	メモリーリコールモード [テキスト]アイコン	選択した5項目を数値で表示します。 (➡P35)
2	 スペクトル	メモリーリコールモード [スペクトル]アイコン	測定値とスペクトル(分光分布)グラフを表示します。(➡P38)
3	 CRI	メモリーリコールモード [CRI]アイコン	選択した平均演色評価数(Ra)、特殊演色評価数(R1~R15)を表示します。また各演色評価数を棒グラフで表示します。(➡P41)
4	 TM-30	メモリーリコールモード [TM-30]アイコン	4項目の測定値(Rf、Rg、Tcp、 Δuv)とカラーベクトルグラフィックを表示します。 (➡P44)
5	 SSI	メモリーリコールモード [SSI]アイコン	現在の測定値と2点までの参照光源(色温度と Δuv)を比較し、SSI評価指数とSSIスペクトルグラフで表示します。(➡P46)
6	 TLCI/TLMF	メモリーリコールモード [TLCI/TLMF]アイコン	測定値とメモリーした値(色温度、 Δuv)、TLCIとTLMFの測定値をスペクトルグラフと一緒に表示します。(➡P57)
7	 CIE1931 CIE1964	メモリーリコールモード [CIE1931(CIE1964)]アイコン	選択したメモリーの測定結果をCIE1931色度図(10°視野時はCIE1964色度図)で表示します。(➡P62)
8	 CIE1976	メモリーリコールモード [CIE1976]アイコン	選択したメモリーの測定結果をCIE1976色度図で表示します。 (➡P64)



ご参考

- メモリーリコールモードでの表示内容は各測定モードで現在設定されている項目が表示されます。

操作

1. メモリーリコールモードの[表示モード]アイコンをタッチします。

メモリーリコールモードの表示モードが表示されます。メモリーリコール画面を表示中はステータスバーとメモリータイトルが2秒ごとに表示が切り換わります。



2. 表示したい[表示モード]アイコンをタッチします。

各表示モード画面に切り換わります。

リコールモードテキスト画面



3. [閉じる]アイコンをタッチします。

メモリー管理画面に戻ります。メモリー管理画面の「閉じる」アイコンをタッチするとツールボックス画面に戻ります。

6-2-3 メモリータイトルを変更する [メモリーリネーム]画面

メモリーされた測定値のタイトルを変更できます。

メモリーリネーム画面

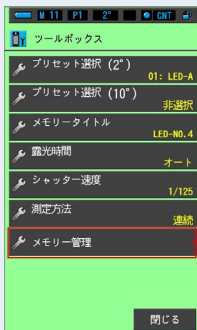


操作

1. ツールボックスの [メモリー管理] アイコンをタッチします。

メモリー管理画面が表示されます。

ツールボックス画面



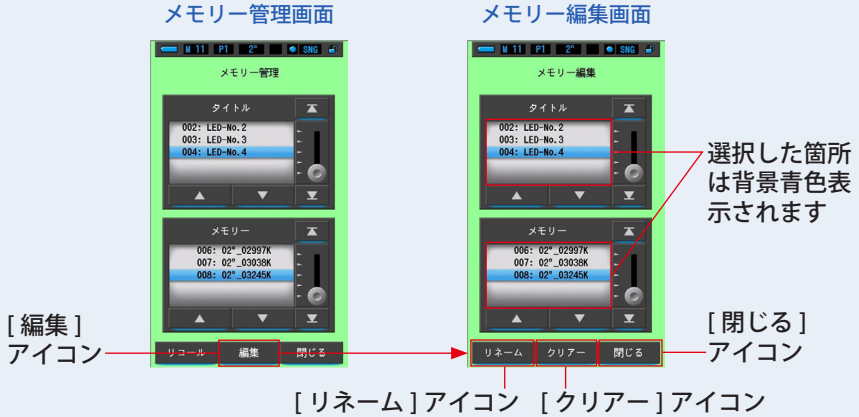
メモリー管理画面



[編集]
アイコン

2. [編集]アイコンをタッチします。

メモリー編集画面が表示されます。



3. 変更する「タイトル」と「メモリー」を背景青色位置に合わせます。

呼び出すメモリーを設定できます。

4. [リネーム]アイコンをタッチします。

メモリーリネーム画面が表示されます。



5. 変更するメモリータイトルを入力します。(⇒P18)

タイトルを決めて入力することができます。

メモリーリネーム画面



[OK]

アイコン



[キャンセル]アイコン

6. [OK] アイコンをタッチします。

タイトルが確定され、メモリー編集画面に戻ります。

タイトルを変更せずメモリー編集画面に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。メモリー編集画面に戻ります。

7. [閉じる] アイコンをタッチします。

メモリー管理画面に戻ります。メモリー管理画面の「閉じる」アイコンをタッチするとツールボックス画面に戻ります。

メモリー編集画面



メモリー管理画面



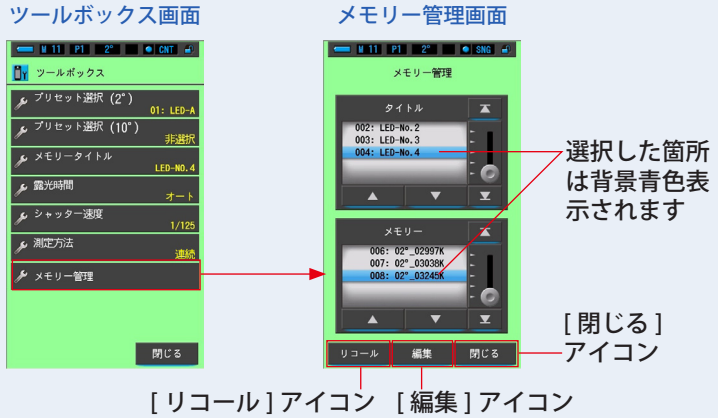
6-2-4 保存した測定結果を削除する [メモリークリアー]画面

メモリーされた測定値を、個別削除、またはメモリータイトルごとには削除ができます。メモリークリアーには、タイトルとメモリー内容（メモリー番号と測定値）が、登録された順序で表示されます。



操作

1. ツールボックスの[メモリー管理]アイコンをタッチして選択します。
メモリー管理画面が表示されます。



2. [編集]アイコンをタッチします。
メモリー編集画面が表示されます。



3. 変更する「タイトル」と「メモリー」を青色背景位置に合わせます。

4. [クリアー]アイコンをタッチします。

メモリークリアー画面が表示されます。

メモリー編集画面



メモリークリアー画面



[閉じる]アイコン

[クリアー]アイコン [タイトル]アイコン [メモリー]アイコン

【個別消去の場合】

1. 削除する「タイトル」に紐付いている「メモリー」を背景青色位置に合わせます。

削除する「タイトル」に紐付いている「メモリー」を選択します。

2. [メモリー]アイコンをタッチします。

メモリーを削除します。タイトルに紐付いている[メモリー]を削除します。

メモリークリアー確認画面に「選択されたメモリーデータを削除します。よろしいですか。」とメッセージが表示されます。

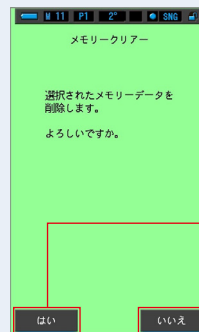
メモリークリアー画面



選択した箇所
は背景青色表
示されます

[メモリー]
アイコン

メモリークリアー確認画面



[はい]
アイコン
[いいえ]
アイコン

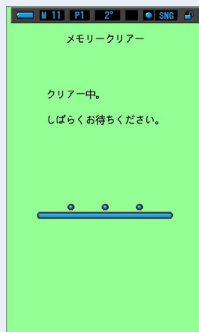
3. [はい] アイコンをタッチします。

「クリアー中。しばらくお待ちください。」とメッセージが表示されます。削除終了後は、メモリークリアー画面に戻ります。

プログレスバーが起動している間は、削除中です。削除するメモリー数によっては時間がかかる場合もあります。他の作業はしないでください。手順1～3を繰り返して、追加のメモリーを削除することができます。

削除を実施しない場合は、[いいえ] アイコンをタッチします。メモリークリアー画面に戻ります。

メモリークリアー中画面



メモリークリアー画面



メモリー数が
変更されます

[閉じる]
アイコン

選択されたメモリーが削除され、
番号をひとつ詰めて表示されます

4. [閉じる] アイコンをタッチします。

ツールボックス画面に戻ります。

他のメモリーの削除をしない場合は、[閉じる] アイコンをタッチします。ツールボックス画面に戻ります。

【メモリータイトルごと削除の場合】

1. 削除する「タイトル」を背景青色位置に合わせます。

削除する「タイトル」を選択します。

2. タイトルを削除するとき、[タイトル]アイコンをタッチします。

タイトルを削除します。選択したタイトルに紐付いているメモリーも全て削除します。

メモリークリアー確認画面に「選択されたメモリータイトルを削除します。よろしいですか。」とメッセージが表示されます。

メモリークリアー画面

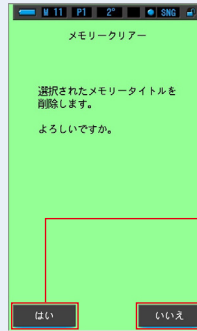


選択した箇所は
背景青色表示さ
れます

選択したタイト
ルに紐付いてい
るメモリーが表
示されます

[タイトル]アイコン

メモリークリアー確認画面



[はい]
アイコン

[いいえ]
アイコン

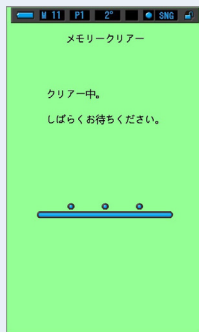
3. [はい]アイコンをタッチします。

「クリアー中。しばらくお待ちください。」とメッセージが表示されます。削除終了後は、メモリークリアー画面に戻ります。

プログレスバーが起動している間は、削除中です。削除するメモリー数によっては時間がかかる場合もあります。他の作業はしないでください。

削除を実施しない場合は、[いいえ]アイコンをタッチします。メモリークリアー画面に戻ります。

メモリークリアー中画面



メモリークリアー画面



メモリー数が
変更されます

選択したメモ
リーとその紐
付けデータが
削除される
と、タイトル
001内を表示
します

[閉じる]
アイコン

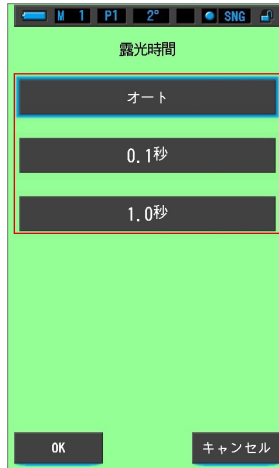
4. [閉じる]アイコンをタッチします。

ツールボックス画面に戻ります。

6-3 露光時間の切り替え [露光時間] 画面

定常光測定時の露光時間をオート、0.1秒、1秒、の中から選択します。露光時間オートモードでは、自動的に最適な露光時間を15種類（0.1ms～10s）の中から選択します。2種類の固定露光時間は、複数測定する場合に測定値を正確に比較したい時に使用します。低照度では露光時間1s、高照度では露光時間0.1sを選択します。

露光時間画面



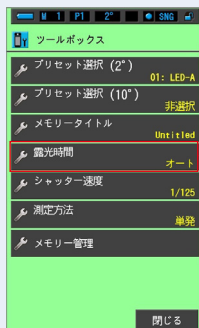
いずれかのアイコンを選択します

操作

1. ツールボックスの [露光時間] アイコンをタッチします。

露光時間が表示されます。

ツールボックス画面

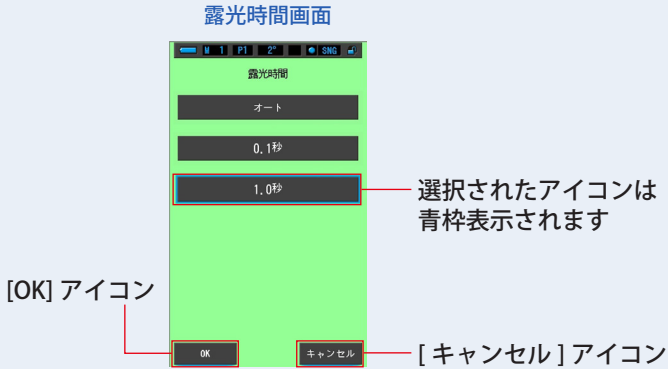


露光時間画面



2. 露光時間の「時間」アイコンをタッチします。

オート、0.1秒、1.0秒、から選択します。



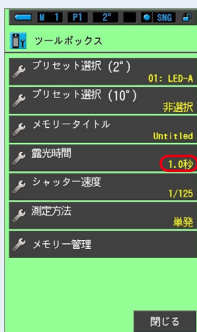
3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、ツールボックス画面に戻ります。

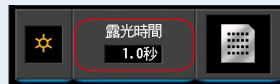
内容を変更せず、ツールボックス画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

ツールボックス画面に設定が反映されます。

ツールボックス画面



測定画面の露光時間にも反映されます



設定されている内容が表示されます

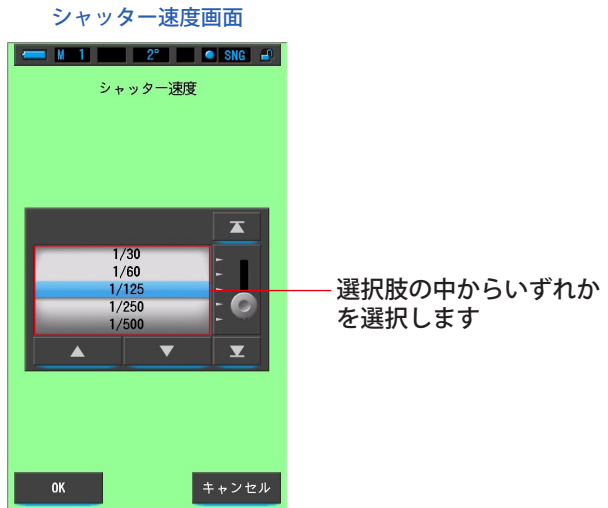
マニュアルレンジ露光の1.0秒に設定されました。

ご注意

- 0.1秒及び1.0秒の固定の露光時間では測定できない照度の範囲があります。その場合、[OVER] または [UNDER] が表示されます。露光時間を「オート」に設定してください。

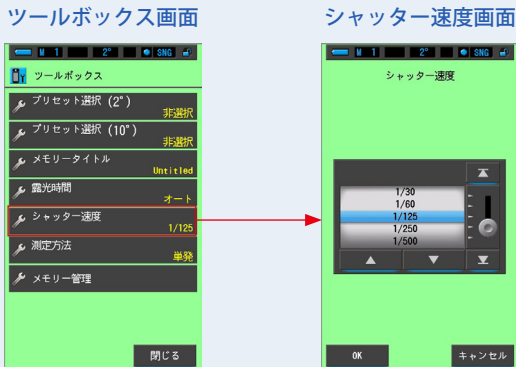
6-4 シャッター速度を選択する [シャッター速度]画面

シャッター速度を選択します。



操作

1. ツールボックスの [シャッター速度] アイコンをタッチします。
シャッター速度が表示されます。



2. ご使用になるシャッター速度を選択します。

シャッター速度の選択肢 (⇒ P26)

シャッター速度画面

[シャッター速度 1/125]

[キャンセル] アイコン

[OK] アイコン

[シャッター速度 1/60]

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

シャッター速度が設定されました。

ツールボックス画面

測定画面のシャッター速度にも反映されます

設定されている内容が表示されます

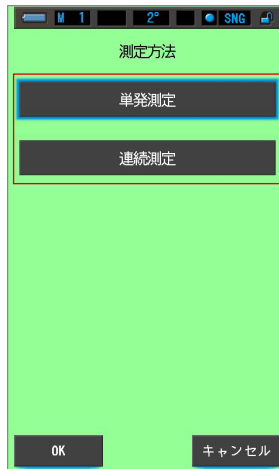
6-5 測定方法を選択する [測定方法]画面

測定方法は単発測定と連続測定の2種類があります。

単発測定は測定ボタン⑤を押したときの測定値を表示します。

連続測定は測定ボタン⑤を押すと測定を開始し、もう一度測定ボタン⑤を押すと測定を終了する方法で、その間連続で測定します。

測定方法画面



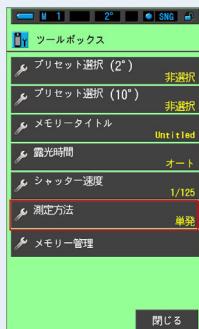
いずれかのアイコンを選択します

操作

1. ツールボックスの [測定方法] アイコンをタッチします。

測定方法画面が表示されます。

ツールボックス画面

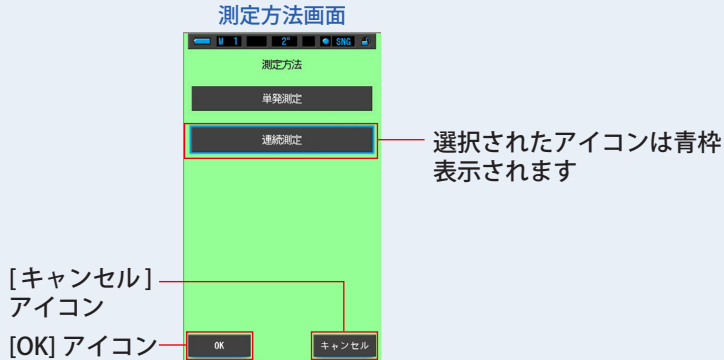


測定方法画面



2. ご使用になる測定方法を選択します。

測定方法には単発測定（SNG）または連続測定（CNT）があります。

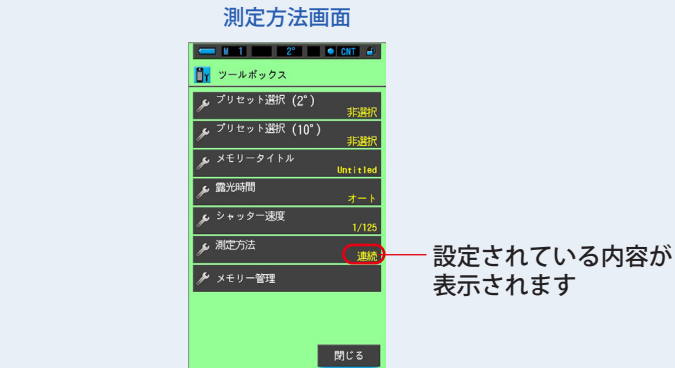


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、測定画面に戻ります。

内容を変更せず、測定画面に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

測定方法が設定されました。



ご参考

【単発測定】

- 測定ボタン⑤を操作したときの測定値が表示されます。
- 複数の光源を測定、メモリーするときなどにご使用ください。

【連続測定】

- 測定ボタン⑤を操作すると測定を開始し、再度測定ボタンを操作すると、最後の測定値が表示されます。
- 一つの光源を測定して、光源の変化や照明の配光ムラを測定するときにご使用ください。

【単発測定 (SNG)】

1. 単発測定を選択した場合、ステータスバーに「SNG」と表示されます。

ステータスバー



2. 単発測定は測定ボタン⑤を押したときの測定値を表示します。



ご参考

【連続測定 (CNT)】

1. 連続測定を選択した場合、ステータスバーに「CNT」と表示されます。

ステータスバー



2. 連続測定は測定ボタン⑤を押すと測定を開始します。
もう一度測定ボタン⑤を押すと測定を終了し、最後に測定した値が表示されます。終了するまでの間は連続で測定を繰り返します。



ご注意

- 光源の色を正しく測定するために、色のついた物体からの反射光や他の光源が受光部①に入らないように注意してください。
- 測定の際は本機を測定面に対して平行にしてください。
- 連続測定中、自動電源 OFF 機能は無効になります。



ご参考

7. 本体の設定 [本体設定]画面

7-1 本体設定の項目

本体設定では、機能や表示の内容をあらかじめ設定または編集することができます。

表示モード選択画面
1 ページ

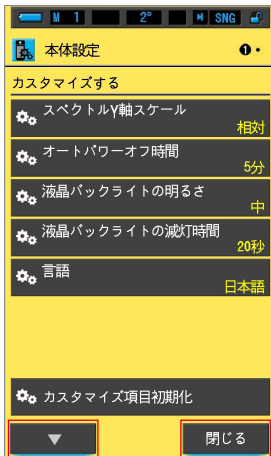


表示モード選択画面
2 ページ



[本体設定]
アイコン

本体設定
1 ページ画面



2 ページへ

本体設定
2 ページ画面



1 ページへ

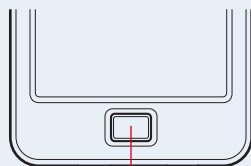
[閉じる]アイコン

操作

1. 表示モードの[本体設定]アイコンをタッチして選択します。
本体設定が表示されます。
2. [▲][▼]ワンステップアイコンをタッチして、目的のページを表示します。
3. 目的の各設定名をタッチします。
各設定画面が表示されます。
[閉じる]アイコンをタッチすると、表示モード選択画面に戻ります。

ご参考

- 測定画面を表示中でも、本体のメニューボタン⑥を押すと、操作中の設定を中断して表示モード選択画面に移ります。



メニューボタン⑥

7-1-1 項目一覧

本体設定画面の項目は以下の通りです。

項目名称	説明
カスタマイズする	
スペクトルY軸スケール	相対、オート、分光放射照度より選択できます。(➡P138)
オートパワーオフ時間	何も操作されなかったときに、自動電源 OFF 機能が働くまでの時間を 5 分、10 分、20 分、なし、から選択できます。なしに設定した場合は、電源は自動的に切れません。(➡P141)
液晶バックライトの明るさ	液晶バックライトの明るさを暗、中、明から選択できます。(➡P143)
液晶バックライトの減灯時間	電力の消費を抑えるために操作をしなくなってからバックライトを減灯するまでの時間を 5 秒、10 秒、20 秒、40 秒、60 秒、減灯しない、から選択できます。(➡P145)
言語	タッチパネルに表示する言語の種類を English、日本語、中国語から選択できます。(➡P147)
カスタマイズ項目初期化	本体設定の「カスタマイズする」の内容 (1～5 の項目) を工場出荷時の状態に初期化 (リセット) します。(➡P149)
プリセットを編集する	
プリセット編集	視野 2° と 10° それぞれのプリセットの編集をすることができます。(➡P150)
ダーク補正をする	
ダーク補正	ダーク補正画面を表示し、ダーク補正を開始します。(➡P184)
情報を表示する	
本体情報	本体の情報表示画面を表示します。(➡P187)
法規	認証表示画面を表示します。(➡P189)

7-2 カスタマイズする

カスタマイズする（本体設定の1ページ）では、各項目の表示内容をご使用になる機材や目的に合わせて設定することができます。

各項目において現在設定されている内容が黄文字で表示されます。



操作

1. 表示モード選択画面の[本体設定]アイコンをタッチして選択します。
本体設定が表示されます。
2. [▲][▼]ワンステップアイコンをタッチして、目的のページを表示します。
3. 目的の各項目をタッチします。
各項目画面が表示されます。
[閉じる]アイコンをタッチすると、表示モード選択画面に戻ります。

7-2-1 各項目の仕様

「カスタマイズする」の各項目の仕様は以下の通りです。

No.	本体設定名称	項目						出荷時
1	スペクトルY軸スケール	相対	オート	分光放射照度 1.0 $\mu\text{W} \sim 100 \text{W}\cdot\text{m}^{-2}\cdot\text{nm}^{-1}$				相対
2	オートパワーオフ時間	5分	10分	20分	なし	—	—	5分
3	液晶バックライトの明るさ	暗	中	明	—	—	—	中
4	液晶バックライトの減灯時間	5秒	10秒	20秒	40秒	60秒	減灯しない	20秒
5	言語	English	日本語	中文(簡体字)	—	—	—	初期設定で選択
6	カスタマイズ項目初期化	[OK] アイコンをタッチすると本体設定の内容を初期状態にする						—

7-2-2 スペクトルY軸スケールの選択

スペクトルY軸の最大表示値を相対、オート、分光放射照度から選択できます。

スペクトルY軸スケール画面

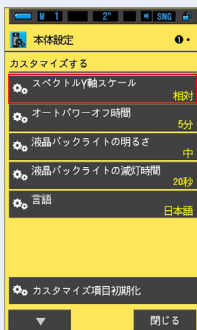


操作

1. 本体設定の1ページ目：項目 [スペクトルY軸スケール] アイコンをタッチします。

スペクトルY軸スケールの最大表示値が表示されます。

本体設定画面



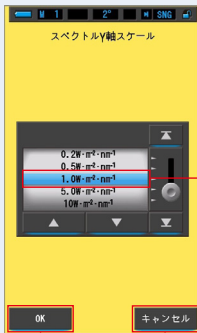
スペクトルY軸スケール画面



2. ご使用となるスペクトルY軸スケールを選択します。

相対、オート、分光放射照度から選択します。

スペクトルY軸スケール画面



選択した箇所は背景青色表示されます

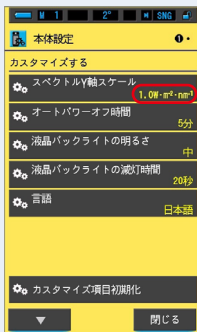
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面



設定されている内容が表示されます

スペクトルY軸スケールが設定されました。

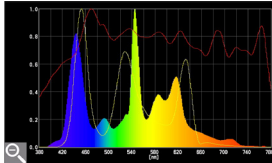


相対……………光源のスペクトル波形を比べるため、光源の明るさにかかわらず測定値とメモリー値（最大2つまで）のそれぞれの明るさの最大値を1.0とみなし比較します。

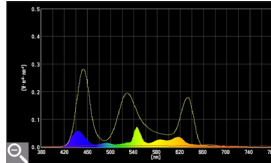
オート……………適切なY軸の値が自動的に選ばれ分光放射照度が比較できます。

分光放射照度……1.0 μ ~ 100 $\text{W}\cdot\text{m}^{-2}\cdot\text{nm}^{-1}$ までY軸の値を指定することができます。

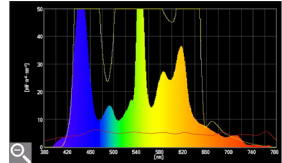
相対



オート



分光放射照度



7-2-3 オートパワーオフ時間の選択

何も操作されなかったときに、自動電源 OFF 機能が働くまでの時間を 5 分、10 分、20 分、なし、から選択できます。なし設定した場合は、電源は自動的に切れません。

オートパワーオフ時間画面

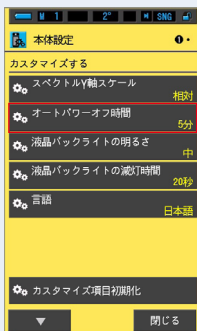


操作

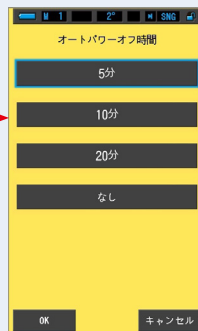
1. 本体設定の 1 ページ目: 項目 [オートパワーオフ時間] アイコンをタッチします。

オートパワーオフ時間が表示されます。

本体設定画面



オートパワーオフ時間画面



2. オートパワーオフ時間の [時間] アイコンをタッチします。

5分、10分、20分、なし、から選択します。

オートパワーオフ時間画面



選択されたアイコンは青枠表示されます

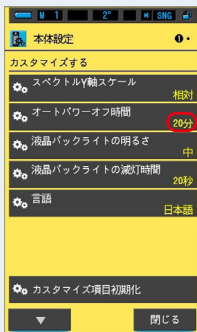
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面



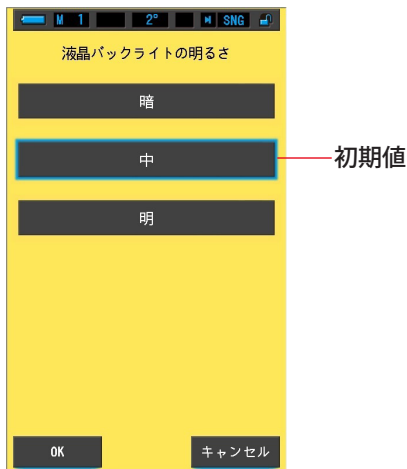
設定されている内容が表示されます

オートパワーオフ時間が設定されました。

7-2-4 液晶バックライト明るさの選択

タッチパネルのバックライトの明るさを暗、中、明から選択でき余分な電力を節約したり、周囲の光の状況下での視認性を調整したりします。

液晶バックライトの明るさ画面

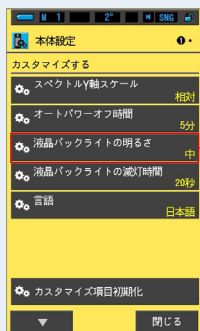


操作

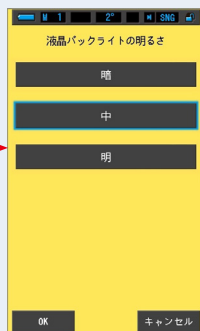
1. 本体設定の1ページ目：項目 [液晶バックライトの明るさ] アイコンをタッチします。

液晶バックライトの明るさが表示されます。

本体設定画面



液晶バックライトの明るさ画面



2. 液晶バックライトの明るさの[明るさ]アイコンをタッチします。

暗、中、明、から選択します。

液晶バックライトの明るさ画面



選択されたアイコンは青枠表示されます

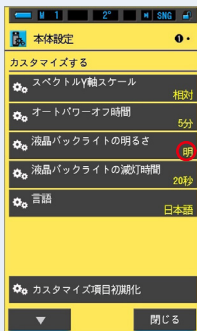
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面



設定されている内容が表示されます

バックライトの明るさが設定されました。

7-2-5 液晶バックライト減灯時間の選択

電力の消費を抑えるために操作をしなくなってからバックライトを減灯するまでの時間を 5 秒、10 秒、20 秒、40 秒、60 秒、減灯しない、から選択できます。

液晶バックライトの減灯時間画面

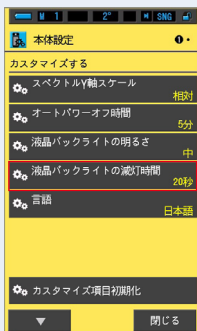


操作

1. 本体設定の 1 ページ目：項目 [液晶バックライトの減灯時間] アイコンをタッチします。

液晶バックライトの減灯時間が表示されます。

本体設定画面



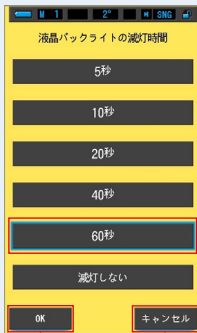
液晶バックライトの減灯時間画面



2. 液晶バックライトの減灯時間の [時間] アイコンをタッチします。

5 秒、10 秒、20 秒、40 秒、60 秒、減灯しない、から選択します。

液晶バックライトの減灯時間画面



選択されたアイコンは青枠表示されます

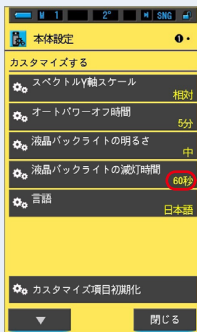
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

本体設定画面



設定されている内容が表示されます

液晶バックライトの減灯時間が設定されました。

7-2-6

言語の選択

本体に表示する言語の種類を English、日本語、中国語から選択できます。



操作

1. 本体設定の1ページ目：項目[言語]アイコンをタッチします。

言語が表示されます。

※初回電源投入時に設定した言語を変更できます。



2. [言語]をタッチします。

English、日本語、中国語から選択します。

言語画面



選択されたアイコンは青枠表示されます

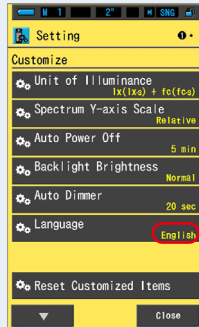
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、本体設定に戻ります。

内容を変更せず、本体設定に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

本体設定画面



設定されている内容が表示されます

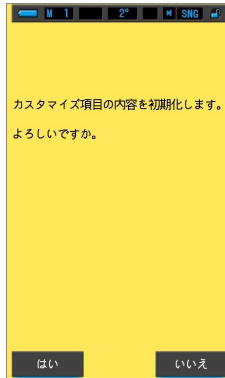
言語が設定されました。

7-2-7

カスタマイズ項目初期化

本体設定の「カスタマイズする」の項目のみ、工場出荷時の状態に初期化（リセット）します。

カスタマイズ項目初期化画面



操作

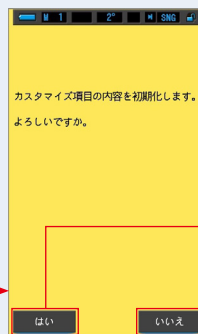
1. 本体設定の1ページ目:項目[カスタマイズ項目初期化]アイコンをタッチします。

「カスタマイズ項目とプリセット編集の内容を初期化します。よろしいですか。」と表示されます。

本体設定画面



カスタマイズ項目初期化画面



「はい」
アイコン
「いいえ」
アイコン

2. 「はい」アイコンをタッチします。

カスタム設定が初期化されます。初期化終了後は、本体設定に戻ります。

初期化を行わず、本体設定に戻る場合は、「いいえ」アイコンをタッチします。

7-3 プリセットの編集

[プリセット編集 (2°)] または [プリセット編集 (10°)] を選択してください。
 プリセット番号を選択すると、選択した番号に設定されているプリセット情報を表示します。

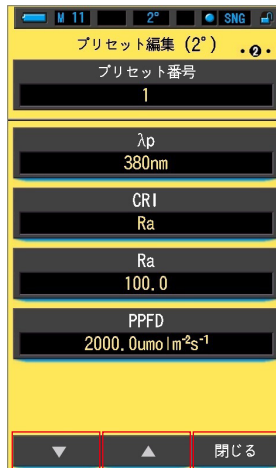
プリセットで設定された値は、モニター機能使用時の基準値となります。
 本装置内に保持されているメモリーがある場合は、そのメモリーの内容を一括してプリセット設定することもできます。

プリセット編集 (2°) 1 ページ画面 プリセット編集 (2°) 2 ページ画面 プリセット編集 (2°) 3 ページ画面
 メモリーありのとき

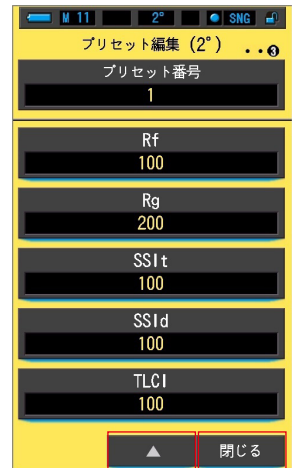


2 ページへ

[メモリー] アイコン



3 ページへ 1 ページへ



2 ページへ

[閉じる] アイコン

※ メモリー登録を設定していない場合は
 [メモリー] アイコンは有効になりません。

ご参考

- プリセットの登録は、視野 2° および 10° それぞれに最大 5 件までできます。

操作

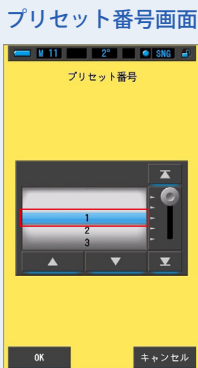
1. 本体設定の2ページ目:項目[プリセット編集 (2°)]または[プリセット編集 (10°)]アイコンをタッチします。

本体設定のプリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) 画面が表示されます。



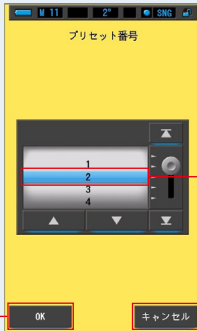
2. プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の1ページ目の[プリセット番号]アイコンをタッチします。

プリセット番号が表示されます。



3. プリセット番号（1～5）を選択します。青色背景位置に合わせます。

プリセット番号画面



選択した箇所は背景青色表示されます

[OK] アイコン

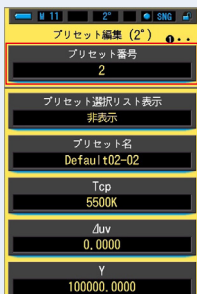
[キャンセル] アイコン

4. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集（2°）またはプリセット編集（10°）の1ページに戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集（2°）またはプリセット編集（10°）の1ページに戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

プリセット編集（2°）1ページ画面 メモリーありのとき



2 ページへ

[閉じる] アイコン

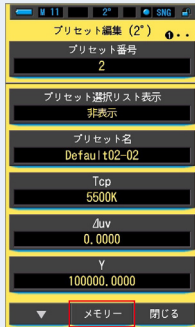
[メモリー] アイコン

【メモリーからの設定の場合】

1. [メモリー]アイコンをタッチします。

保存したメモリー内容の表示を変更できます。
表示したいタイトルまたはメモリーを選択してください。

プリセット編集 (2°) 1 ページ画面
メモリーありのとき



[メモリー]アイコン

プリセット編集 (2°) 画面



選択した箇所
は背景青色表
示されます

[OK]アイコン

[キャンセル]アイコン

2. 設定するメモリーを選択します。

メモリーされた内容から設定します。

プリセット編集 (2°) 画面



選択した箇所は背景青色表示されます

[OK]アイコン

[キャンセル]アイコン

3. [OK]アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の1ページに戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の1ページに戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

プリセット編集 (2°) 1ページ画面
メモリーありのとき



2 ページへ [閉じる] アイコン

4. [閉じる]アイコンをタッチします。

本体設定の2ページ目に戻ります。

【各種項目の設定】

1. 各設定項目を編集します。

プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) で各設定項目の編集ができます。

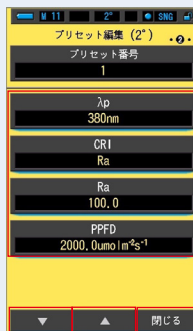
プリセット編集 (2°)
1ページ画面
メモリーありのとき



2 ページへ [メモリー] アイコン

[閉じる] アイコン

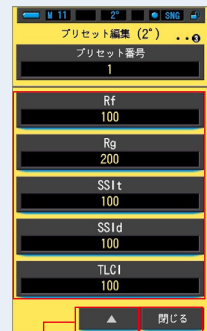
プリセット編集 (2°)
2ページ画面



3 ページへ
1 ページへ

[閉じる] アイコン

プリセット編集 (2°)
3ページ画面



2 ページへ [閉じる] アイコン

各設定項目の編集については、以下の説明ページを参照してください。

- プリセット選択リスト表示 (➡P156)
- プリセット名 (➡P158)
- Tcp (色温度) (➡P160)
- Δuv (偏差) (➡P162)
- Y (三刺激値) (➡P164)
- λp (ピーク波長) (➡P166)
- CRI (➡P168)
- Ra (演色評価数) (➡P170)
- PPF (光合成有効光子束密度) (➡P172)
- Rf (色忠実度指数) (➡P174)
- Rg (色域指数) (➡P176)
- SSI_t (SSI タングステン評価指数) (➡P178)
- SSI_d (SSI デイライト評価指数) (➡P180)
- TLCI (TLCI 評価指数) (➡P182)

2. [閉じる] アイコンをタッチします。

本体設定画面に戻ります。

7-3-1

プリセット選択のリスト表示

ツールボックスのプリセット選択リストへの表示・非表示を切り替えます。

プリセット選択リスト表示画面



操作

1. プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の1 ページ目の [プリセット選択リスト表示] アイコンをタッチします。

表示 / 非表示を選択できます。

プリセット編集 (2°) 1 ページ画面
メモリーありのときプリセット選択
リスト表示画面

2. 設定するリスト表示を選択します。

選択されたアイコンは青枠表示されます。

プリセット選択リスト表示画面



選択されたアイコンは青枠表示されます

[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の1ページ目に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の1ページ目に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集 (2°) 1 ページ画面 メモリーありのとき



リスト表示が設定されました。

7-3-2 プリセット名の設定

プリセット名を編集します。



ご参考

- プリセット名の入力は、英数字で最大 16 文字です。

操作

1. プリセット編集 (2°) または (10°) の 1 ページ目の [プリセット名] アイコンをタッチします。

プリセット名画面が表示されます。

プリセット編集 (2°) 1 ページ画面
メモリーありのとき



プリセット名画面



2. プリセット名を入力します。(⇒P19)

プリセット名画面



入力されました

キーボード 大文字入力画面



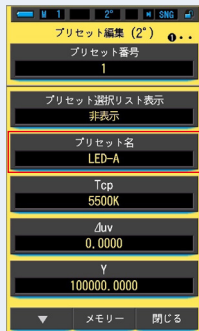
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定(登録/編集)され、プリセット編集(2°)またはプリセット編集(10°)の1ページ目に戻ります。

内容を変更(登録/編集)せず、プリセット編集(2°)またはプリセット編集(10°)の1ページ目に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

プリセット編集(2°) 1ページ画面 メモリーありのとき



プリセット名が編集されました。

7-3-3 Tcp の設定

プリセットの Tcp 色温度を設定します。



操作

1. プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の 1 ページ目の [Tcp] アイコンをタッチします。

Tcp 画面が表示されます。

プリセット編集 (2°) 1 ページ画面
メモリーありのとき



2. Tcp の数値を 1563~100000K 範囲内で設定します。(⇒P18)

入力された値が設定範囲内であれば [OK] アイコンが表示されます。

設定範囲外の場合は、再度値を入力し直してください。

Tcp 画面 (設定範囲内のとき) Tcp 画面 (設定範囲外のとき)



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の1ページ目に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の1ページ目に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集 (2°) 1 ページ画面
メモリーありのとき



Tcp (色温度) が編集されました。

7-3-4

△uv の設定

プリセットの△uv（偏差）を設定します。

△uv 画面



操作

1. プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の1ページ目の [△uv] アイコンをタッチします。

△uv 画面が表示されます。

プリセット編集 (2°) 1 ページ画面
メモリーありのとき



△uv 画面



2. Δuv 値を $-0.1000 \sim +0.1000$ 範囲内で設定します。(⇒ P18)

入力された値が設定範囲内であれば [OK] アイコンが表示されます。

設定範囲外の場合は、再度値を入力し直してください。

Δuv 画面 (設定範囲内のとき)

Δuv 画面 (設定範囲外のとき)

入力されま
した



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

範囲外



[キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の1ページ目に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の1ページ目に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集 (2°) 1ページ画面
メモリーありのとき



Δuv (偏差) が編集されました。

7-3-5 三刺激値 Y の設定

プリセットの三刺激値 Y を（照度（lx））を目安に設定します。

Y 画面



操作

1. プリセット編集 (2°) または (10°) の 1 ページ目の [Y] アイコンをタッチします。

Y 画面が表示されます。

プリセット編集 (2°) 1 ページ画面
メモリーありのとき



Y 画面



2. Y 値を 1.0000~200000.0000 範囲内で設定します。(⇒P18)

入力された値が設定範囲内であれば [OK] アイコンが表示されます。

設定範囲外の場合は、再度値を入力してください。

Y 画面 (設定範囲内のとき)

Y 画面 (設定範囲外のとき)

入力されま
した



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

範囲外



[キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の1ページ目に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の1ページ目に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集 (2°) 1 ページ画面
メモリーありのとき



三刺激値 Y が編集されました。

7-3-6

ピーク波長 λ_p の設定

プリセットのピーク波長 λ_p を設定します。

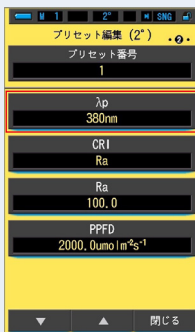
 λ_p 画面

操作

1. プリセット編集 (2°) または (10°) の 2 ページ目の [λ_p] アイコンをタッチします。

λ_p 画面が表示されます。

プリセット編集 (2°) 2 ページ画面

 λ_p 画面

2. ピーク波長 λ_p を 380~780 nm 範囲内で設定します。(⇒P18)

入力された値が設定範囲内であれば [OK] アイコンが表示されます。

設定範囲外の場合は、再度値を入力してください。

λ_p 画面 (設定範囲内のとき) λ_p 画面 (設定範囲外の場合)

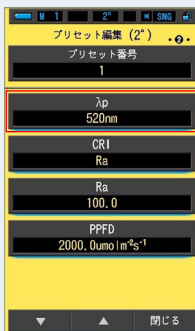


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の2ページ目に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の2ページ目に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

プリセット編集 (2°) 2ページ画面



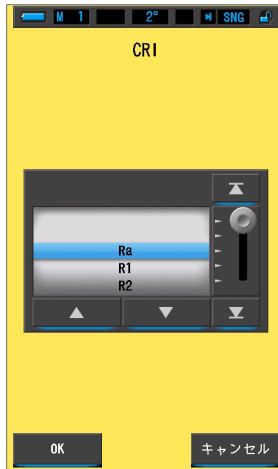
ピーク波長 λ_p が編集されました。

7-3-7

CRI の設定

プリセットのCRI (Ra、R1~R15) を選択します。

CRI 選択画面

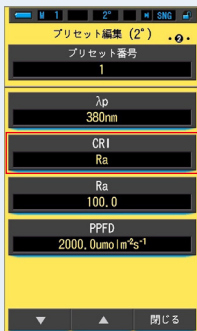


操作

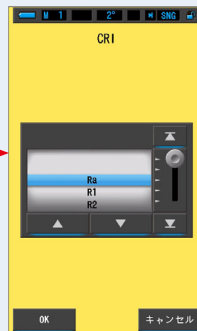
1. プリセット編集 (2°) または (10°) の 2 ページ目の [CRI] アイコンをタッチします。

CRI 選択画面が表示されます。

プリセット編集 (2°) 2 ページ画面



CRI 選択画面



2. CRI を選択します。

Ra、R1~R15 を選択します。青色背景位置に合わせます。

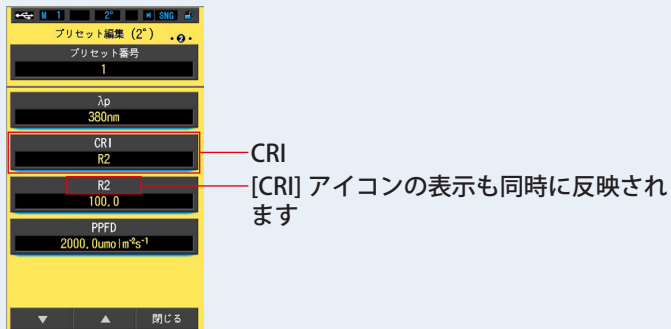


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の2ページ目に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の2ページ目に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集 (2°) 2 ページ画面



CRI が編集されました。

7-3-8

Ra の設定

プリセットの Ra (CRI) を設定します。

Ra 画面

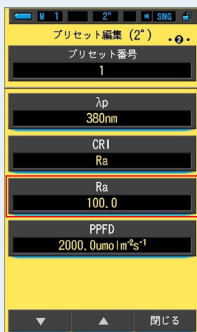


操作

1. プリセット編集 (2°) または (10°) の 2 ページ目の [Ra] アイコンをタッチします。

Ra 画面が表示されます。

プリセット編集 (2°) 2 ページ画面



Ra 画面



2. Ra 値を -100.0~+100.0 範囲内で設定します。(⇒ P18)

入力された値が設定範囲内であれば [OK] アイコンが表示されます。
設定範囲外の場合は、再度値を入力してください。

Ra 画面 (設定範囲内のとき)

入力されま
した



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

Ra 画面 (設定範囲外の場合)

範囲外



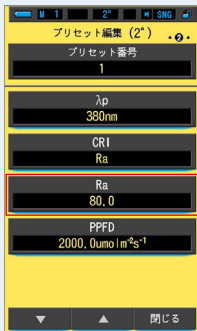
[キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の2ページ目に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の2ページ目に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集 (2°) 2 ページ画面



Ra (CRI) 値が編集されました。

7-3-9

PPFD の設定

プリセットの PPFD（光合成有効光量子束密度）を設定します。

PPFD 画面

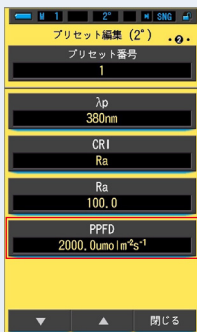


操作

1. プリセット編集（2°）または（10°）の2ページ目 [PPFD] アイコンをタッチします。

PPFD 画面が表示されます。

プリセット編集（2°）2 ページ画面



PPFD 画面



2. PPF 値を $0.0 \sim 9999.9 \mu\text{mol m}^{-2}\text{s}^{-1}$ 範囲内で設定します。(⇒ P18)

入力された値が設定範囲内で有れば「OK」ボタンが表示されます。

設定範囲外のときは、再度値を入力してください。

PPFD 画面 (設定範囲内のとき) PPF 画面 (設定範囲外のとき)

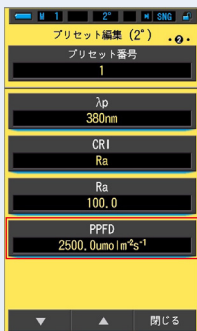


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の 2 ページ目に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の 2 ページ目に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集 (2°) 2 ページ画面



PPFD (光合成有効光量子束密度) が編集されました。

7-3-10

Rf の設定

プリセットの Rf (色忠実度指数) を設定します。

Rf 画面

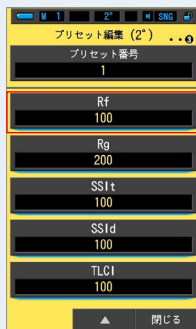


操作

1. プリセット編集 (2°) または (10°) の3ページ目 [Rf] アイコンをタッチします。

Rf 画面が表示されます。

プリセット編集 (2°) 3 ページ画面



Rf 画面



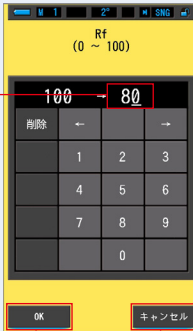
2. Rf 値を 0 ～ 100 範囲内で設定します。(⇒ P18)

入力された値が設定範囲内で有れば「OK」ボタンが表示されます。
設定範囲外のときは、再度値を入力してください。

Rf 画面 (設定範囲内のとき)

Rf 画面 (設定範囲外のとき)

入力されま
した



[OK] アイコン [キャンセル] アイコン



範囲外

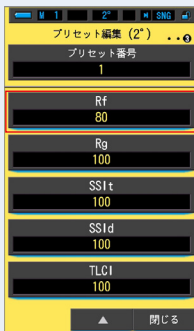
[キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の3ページ目に
戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の3ページ目に戻
る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集 (2°) 3 ページ画面



Rf (色忠実度指数) が編集されました。

7-3-11

Rg の設定

プリセットの Rg (色域指数) を設定します。

Rg 設定画面

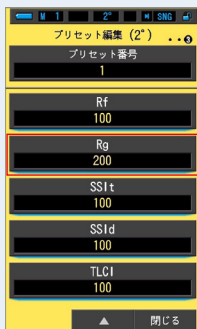


操作

1. プリセット編集 (2°) または (10°) の 3 ページ目 [Rg] アイコンをタッチします。

Rg 画面が表示されます。

プリセット編集 (2°) 3 ページ画面



Rg 画面



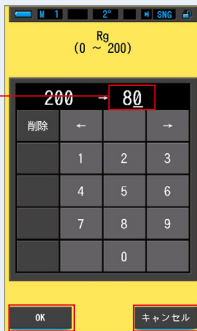
2. Rg 値を 0 ～ 200 範囲内で設定します。(⇒P18)

入力された値が設定範囲内で有れば「OK」ボタンが表示されます。
設定範囲外の場合は、再度値を入力してください。

Rg 画面 (設定範囲内のとき)

Rg 画面 (設定範囲外の場合)

入力されま
した



[OK] アイコン

[キャンセル] アイコン

範囲外



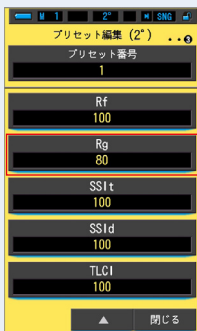
[キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の3ページ目に
戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の3ページ目に
戻るとは、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集 (2°) 3 ページ画面



Rg (色域指数) が編集されました。

7-3-12 SSIt の設定

プリセットの SSIt (SSI タングステン評価指数) を設定します。

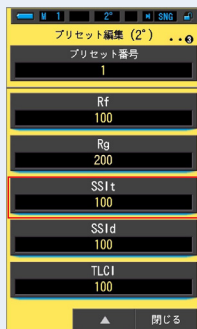


操作

1. プリセット編集 (2°) または (10°) の 3 ページ目 [SSIt] アイコンをタッチします。

SSIt 画面が表示されます。

プリセット編集 (2°) 3 ページ画面



SSIt 画面



2. SSIt 値を 0 ～ 100 範囲内で設定します。(⇒P18)

入力された値が設定範囲内で有れば「OK」ボタンが表示されます。
設定範囲外の場合は、再度値を入力してください。

SSIt 画面 (設定範囲内のとき) SSIt 画面 (設定範囲外のとき)

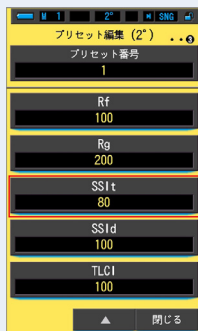


3. [OK]アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の3ページ目に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集 (2°) またはプリセット編集 (10°) の3ページ目に戻る場合は、[キャンセル]アイコンをタッチします。

プリセット編集 (2°) 3 ページ画面



SSIt (SSI タングステン評価指数) が編集されました。

7-3-13 SSId の設定

プリセットの SSId (SSI デイライト評価指数) を設定します。

SSId 画面



操作

1. プリセット編集 (2°) または (10°) の 3 ページ目 [SSId] アイコンをタッチします。

SSId 画面が表示されます。

プリセット編集 (2°) 3 ページ画面



SSId 画面



2. SSId 値を 0 ～ 100 範囲内で設定します。(⇒P18)

入力された値が設定範囲内で有れば「OK」ボタンが表示されます。
設定範囲外の場合は、再度値を入力してください。

SSId 画面（設定範囲内のとき） SSId 画面（設定範囲外のとき）

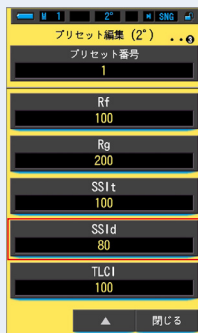


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集（2°）またはプリセット編集（10°）の3ページ目に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集（2°）またはプリセット編集（10°）の3ページ目に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集（2°）3ページ画面



SSId（SSI デイライト評価指数）が編集されました。

7-3-14 TLCI の設定

プリセットの TLCI (TLCI 評価指数) を設定します。

TLCI 設定画面

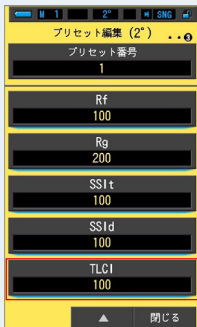


操作

1. プリセット編集 (2°) または (10°) の 3 ページ目 [TLCI] アイコンをタッチします。

TLCI 画面が表示されます。

プリセット編集 (2°) 3 ページ画面



TLCI 画面



2. TLCI 値を 0 ～ 100 範囲内で設定します。(⇒ P18)

入力された値が設定範囲内で有れば「OK」ボタンが表示されます。
設定範囲外の場合は、再度値を入力してください。

TLCI 画面（設定範囲内のとき） TLCI 画面（設定範囲外のとき）

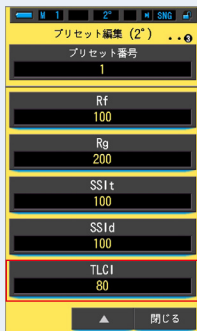


3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、プリセット編集（2°）またはプリセット編集（10°）の3ページ目に戻ります。

内容を変更せず、プリセット編集（2°）またはプリセット編集（10°）の3ページ目に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

プリセット編集（2°）3ページ画面

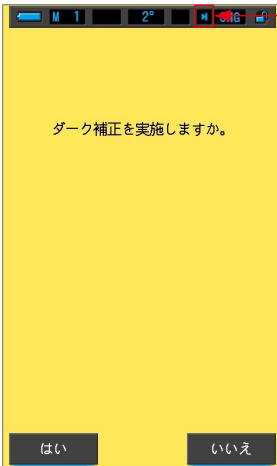


TLCI（TLCI 評価指数）が編集されました。

7-4 ダーク補正

ダーク補正は「前回で使用時から 24 時間以上経過した時」「電池を交換した時」「ご使用後 24 時間以内でも急激な温度変化があった時」に電源を投入すると自動的に行われます。それ以外の場合は電源投入時のダーク補正はスキップされます。測定値に影響がある可能性がある場合は手動でダーク補正を行います。

ダーク補正実施確認画面



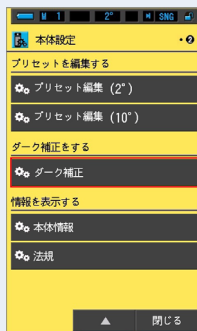
光量フィルター表示内容表

光量フィルター表示		内容
		ダーク補正では使用しません。測定する際に、光源に合わせて使用します。
		ダーク補正位置です。この位置に設定してダーク補正を実施してください。

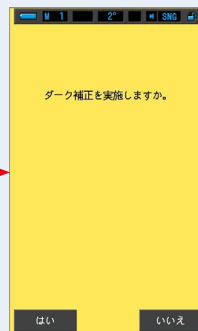
操作

1. 本体設定の 2 ページ目：項目 [ダーク補正] アイコンをタッチします。
「ダーク補正を実施しますか。」とメッセージが表示されます。

本体設定画面



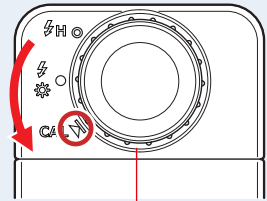
ダーク補正実施確認画面



2. 光量切り換えリング②を回してダーク補正位置 CAL () に設定します。

ステータスバーにダーク表示されます。

位置を確認してください。



光量切り換えリング②

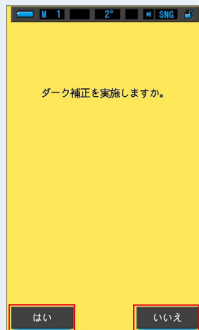
3. [はい]アイコンをタッチします。

ダーク補正が開始され、ダーク補正中画面が表示されます。

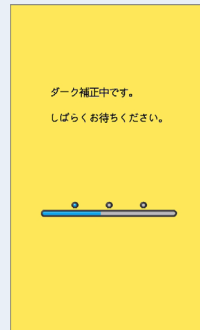
ダーク補正が終了すると、本体設定に戻ります。

ダーク補正をせず、本体設定に戻る場合は、[いいえ]アイコンをタッチします。

ダーク補正実施確認画面



ダーク補正中画面



[はい]アイコン [いいえ]アイコン



ご注意


- 「ダーク補正中です。しばらくお待ちください。」のメッセージの表示中、またはプログレスバーが表示されている間は、電源は切らないでください。


ダーク補正の設定が更新されました。

次の画面が表示されたときは

ダーク補正位置確認画面




光量切り換えリング②がレンジ H () またはレンジ L () に設定されており、ダーク補正は実施されませんでした。

光量切り換えリング②をダーク補正位置 **CAL** () にセットしてから、ダーク補正を行ってください。


ダーク補正確認画面

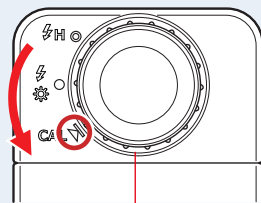


ダーク補正は実施されましたが、正常に実行できませんでした。

光量切り換えリング②をダーク補正位置 **CAL** () に再設定してから、ダーク補正を再開してください。

ご参考

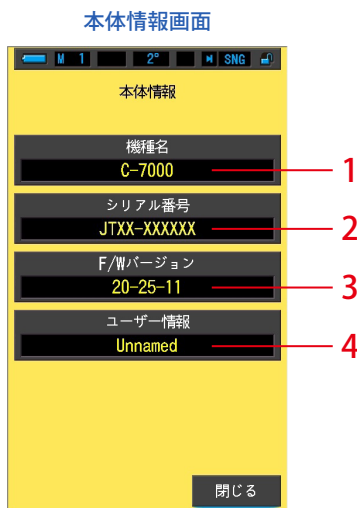
- ホームメニューと各測定画面で、光量切り換えリング②をダーク補正位置 **CAL** () にセットするとダーク補正を行うことができます。
- ダーク補正は「前回ご使用時から24時間以上経過した時」「電池を交換した時」「ご使用後24時間以内でも急激な温度変化があった時」に電源を投入すると自動的に行われます。それ以外の場合は電源投入時のダーク補正はスキップされます。



光量切り換えリング②

7-5 本体情報表示

機器情報表示画面では、測定画面に表示されていない詳細情報を表示します。



※ 画面の内容は、本機のモデルとは表記が異なります。

No.	項目名称	説明
1	機種名	本機のモデル型番を表示します。
2	シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
3	F/Wバージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
4	ユーザー情報	ユーザー情報を表示します。ユーザー情報として、ハードウェア設定で任意の文字を入力することができます。(▶ P195)

操作

1. 本体設定の2ページ目：項目[本体情報]アイコンをタッチします。
本体情報画面が表示されます。



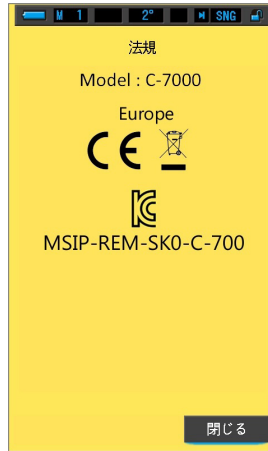
2. [閉じる]アイコンをタッチします。
本体設定に戻ります。

7-5-1

法規表示

法規表示画面では、本機が認可を受けた法的規制に対する適合性表示マーク（制度）を表示します。

法規画面



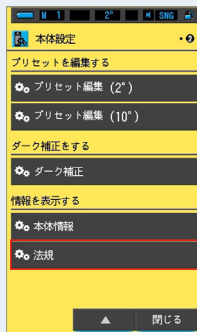
操作

1. 本体設定の3ページ目：項目 [法規] をタッチします。

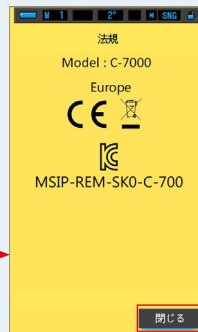
法規画面が表示されます。

お買い求めいただきました商品により、表示内容が異なります。

本体設定画面



法規画面



[閉じる]アイコン

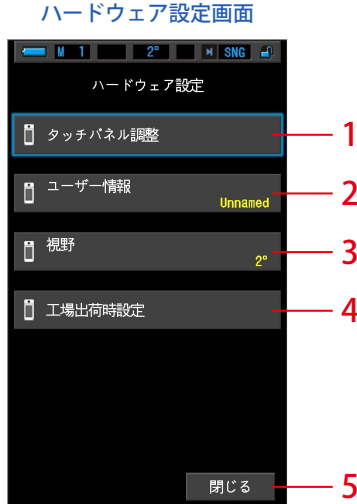
2. 本体設定の3ページ目：項目 [法規] をタッチします。

法規画面が表示されます。

7. ハードウェア設定画面

ハードウェア設定画面では、以下の設定を行うことができます。

- タッチパネル調整
- ユーザー情報の編集
- 視野
- 工場出荷時設定



No.	項目名称	説明
1	タッチパネル調整	タッチパネルのタッチセンサが認識する座標位置を調整できます。(➡P192)
2	ユーザー情報	ユーザー情報を編集できます。変更したユーザー情報は情報画面に表示されます。(➡P195)
3	視野	視野角度 2° または 10° のいずれかを選択できます。(➡P197)
4	工場出荷時設定	すべての表示や設定内容を工場出荷時の設定に戻します。(➡P199)
5	閉じる	ハードウェア設定画面を閉じ、HOME 画面が表示されます。

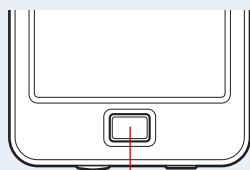
操作

1. メニューボタン ⑥ を押しながら電源ボタン ③ を押して、電源を ON にします。

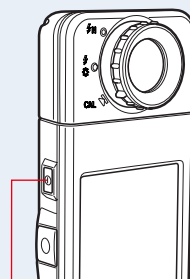
※ハードウェア設定画面が表示されるまで、メニューボタン ⑥ と電源ボタン ③ を放さないでください。

ハードウェア設定画面が表示される前にボタンを放すと測定画面が表示されます。

ハードウェア設定画面が表示されます。



メニューボタン ⑥



電源ボタン ③

2. 目的のメニュー項目をタッチします。

選択した項目の設定画面が表示されます。

各項目の設定については、次ページからの説明を参照してください。

3. 終了するときは、[閉じる]アイコンをタッチします。

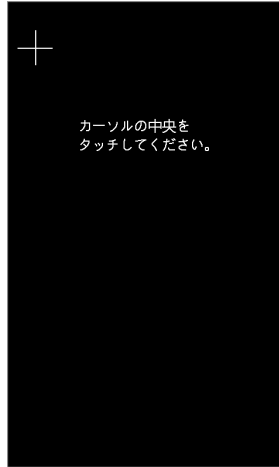
ダーク補正中画面に移り、表示モード選択画面が表示されます。

または、電源ボタン ③ を押して、電源を OFF にします。

7-1 タッチパネル調整の調整

タッチパネルのタッチセンサが認識する座標位置を調整できます。

タッチパネル調整画面

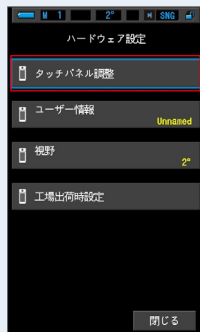


操作

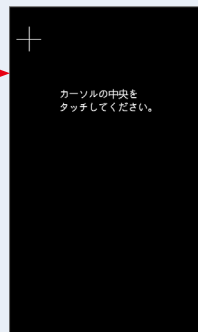
1. ハードウェア設定の [タッチパネル調整] アイコンをタッチします。

タッチパネル調整「カーソルの中央をタッチしてください」とメッセージが表示されます。

ハードウェア設定画面



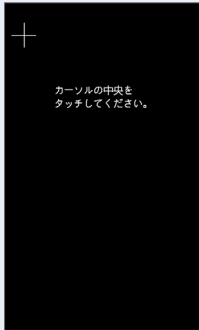
タッチパネル調整画面



2. 画面左上の点灯している白い十字カーソルの中央をタッチします。

タッチ位置が赤い十字カーソルで表示され、順次白い十字カーソル位置が変わり表示されます。

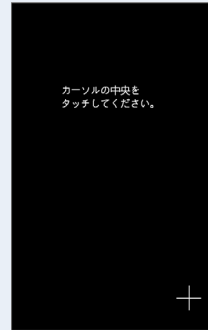
タッチパネル調整画面



タッチ位置は赤い十字カーソルで表示されます



白十字カーソルが移動します

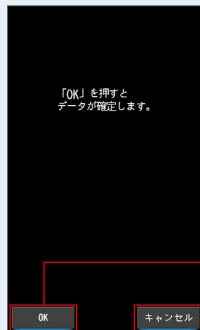


3. 7箇所分繰り返します。

続けて7箇所分繰り返します。

タッチパネル調整確認「[OK]」を押すとデータが確定します。」メッセージ確認画面が表示されます。

タッチパネル調整確認画面



[OK] アイコン

[キャンセル] アイコン

4. [OK] アイコンをタッチします。

調整を設定して、ハードウェア設定に戻ります。

調整を設定を行わず、ハードウェア設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

タッチパネルの調整が完了しました。



ご参考

- 白い十字カーソルからはなれた場所をタッチすると、画面は調整の失敗を示すために点滅します。やり直してください。

タッチパネル調整画面



7-2 ユーザー情報の設定

ユーザー情報を編集できます。

ユーザー情報画面



ご参考

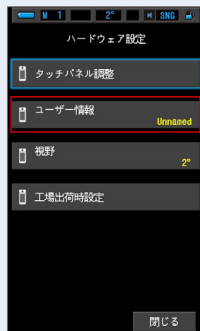
- 入力可能な文字数は、英数字で最大 16 文字です。

操作

1. ハードウェア設定の [ユーザー情報] アイコンをタッチします。

ユーザー情報文字入力画面が表示されます。

ハードウェア設定画面

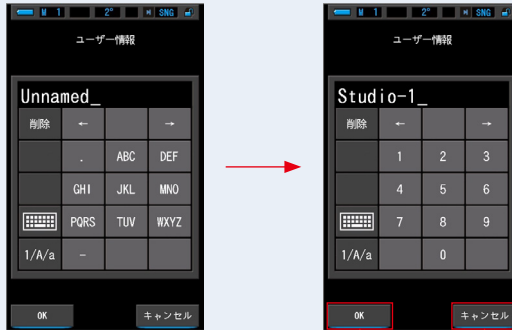


ユーザー情報文字入力画面



2. ユーザー情報を編集します。(⇒P19)

ユーザー情報文字入力画面



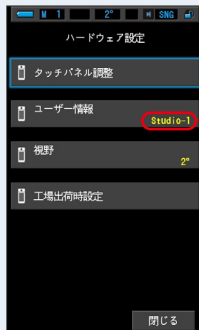
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

ユーザー情報に登録され、ハードウェア設定に戻ります。

ユーザー情報に登録せず、ハードウェア設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

ハードウェア設定画面

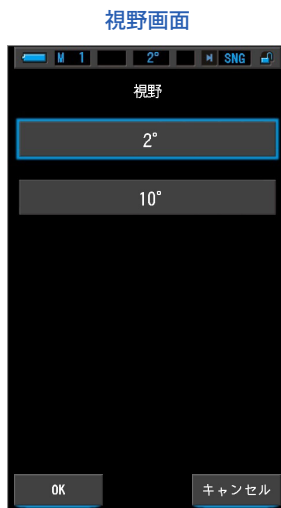


設定されている内容が表示されます

ユーザー情報が更新されました。

7-3 視野

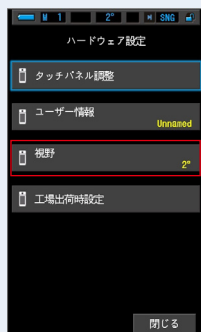
測定時の視野を設定します。



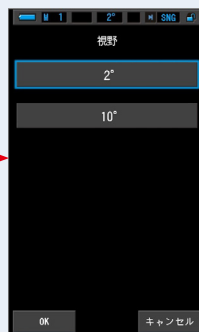
操作

1. ハードウェア設定の [視野] アイコンをタッチします。
視野選択画面が表示されます。

ハードウェア設定画面



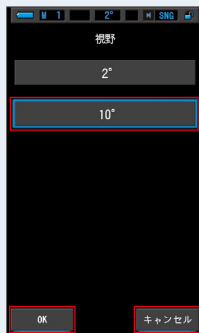
視野画面



2. 視野を設定します。

視野 2° または 10° を選択できます。

視野画面



選択されたアイコンは青枠表示されます

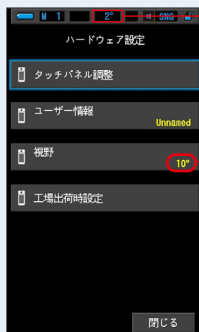
[OK] アイコン [キャンセル] アイコン

3. [OK] アイコンをタッチします。

内容が確定され、ハードウェア設定に戻ります。

内容を変更せず、ハードウェア設定に戻る場合は、[キャンセル] アイコンをタッチします。

ハードウェア設定画面



ステータスバーに反映されます

設定されている内容が表示されます

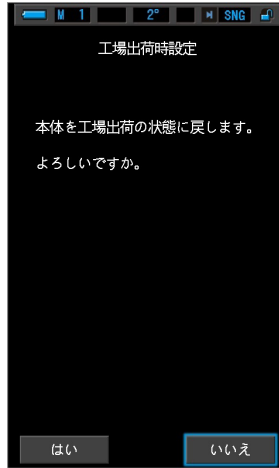
視野の設定が完了しました。

7-4

工場出荷時設定

本体のすべての表示や設定内容を工場出荷時の設定に戻すことができます。

工場出荷時設定画面

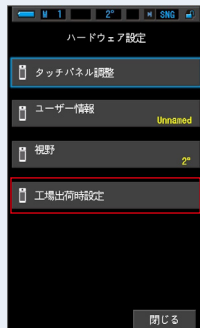


操作

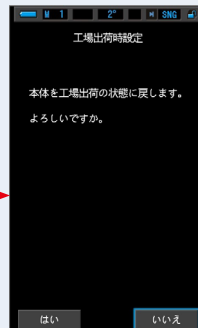
1. ハードウェア設定の [工場出荷時設定] アイコンをタッチします。

工場出荷時設定「本体を工場出荷の状態に戻します。よろしいですか。」メッセージが表示されます。

ハードウェア設定画面



工場出荷時設定画面



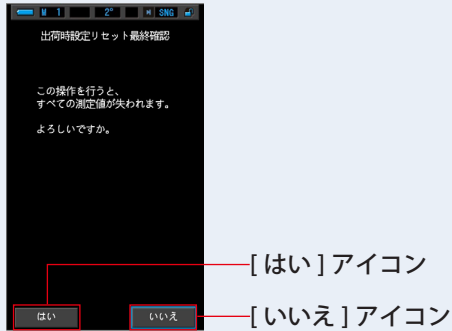
2. [はい]アイコンをタッチします。

出荷時設定リセット最終確認「この操作を行うと、すべての測定値が失われます。よろしいですか。」とメッセージが表示されます。

再確認してください。

工場出荷時設定に戻さず、ハードウェア設定に戻る場合は、[いいえ]アイコンをタッチします。

出荷設定リセット最終確認画面



3. [はい]アイコンをタッチします。

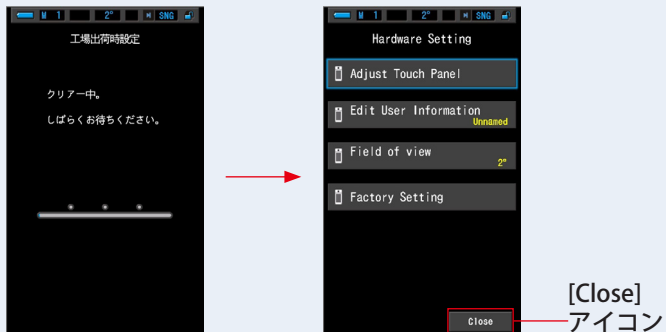


ご注意

- 「クリアー中。しばらくお待ちください。」のメッセージの表示中、またはプログレスバーが表示されている間は、電源は切らないでください。

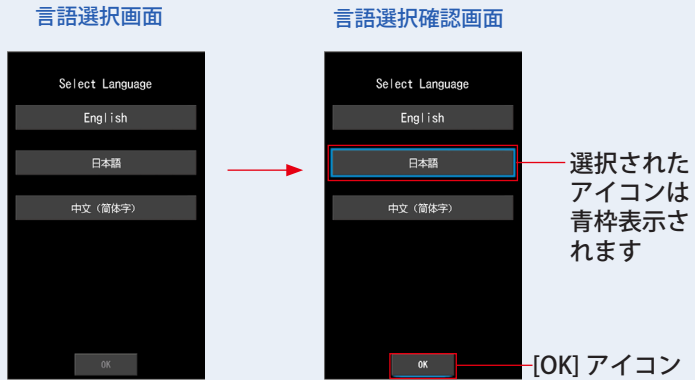
すべての測定値が失われ、ハードウェア設定に戻ります。

工場出荷時設定（クリアー中）画面 ハードウェア設定画面



4. [Close] アイコンをタッチします。

言語選択画面が表示されます。ご使用になる言語を選択してください。(⇒P6)



5. [OK] アイコンをタッチします。

言語はいつでも切り替えることができます。

6. ダーク補正が行われます。

ダーク補正中は「ダーク補正中です。しばらくお待ちください。」とメッセージ表示されます。正常に行われると表示モード選択画面 1 ページが表示されます。

表示モード選択画面
1 ページ



工場出荷時の設定に戻りました。

8. 付録

8-1

用語集

用語	説明
色温度	黒体を熱すると、その温度により、発する光（波長）の色が変化します。この光の色に対応した温度を色温度と呼び、単位はケルビン（K）であらわします。色温度が低いほど波長の長い光が多く赤っぽい光、色温度が高いほど波長の短い光が多く青っぽい光となります。 色温度の変化を x y 色度図上にプロットしたものを黒体放射軌跡と呼びます。
相関色温度	光源測定を行うと、すべての光源が黒体放射軌跡に一致するわけではありません。 この場合、測定値と一致する黒体放射軌跡より引かれた等色温度線を用いて求められた色温度のことです。
光（可視光）	電磁波のうち、人間の目で見えると言われている波長（380 nm ～ 780 nm）の物を指します。
黒体	光など、あらゆる波長に渡って完全に吸収し、また熱する事により、色温度に応じた光を発する理論上の物質のことです。
黒体放射	黒体を熱した時に発生する光のことです。 色温度により、各波長のエネルギー量が変わるため、色の見え方が変わってきます。
K	ケルビン絶対温度の単位のこと。「K」と表示します。0（ゼロ）Kは -273.15℃または -459.67°Fになります。
Δuv	黒体放射軌跡に対して、相関色温度のズレ量のこと。 相関色温度が黒体放射軌跡より上に有れば「+」、下に有れば「-」の符号をつけます。
CRI	Color Rendering Index の略で、国際照明委員会（CIE）の Publication 13.3 で定められている国際規格で、光源の演色性（物体色見え方）を表した指数。 基準の光源に対して、物体色見え方の違いを数値で表したもの。特殊演色評価数（Ri）と R1 ～ R8 までの平均値で表した、平均演色評価数（Ra）が有る。 初版は蛍光灯が多く使われ始めた 1965 年、最後に改訂されたのが 1974 年です。
TM-30	Technical Memorandum の略で、北米照明協会で定められている国際規格の一つで、LED 光源の見え方にも対応した評価方法。 最新ファームウェアの C-7000 では TM-30-18 が表示されます。 TM-30-18 の Rf は CIE 224:2017 の Rf と同じ値となります。 基準の光源に対して、99 色のカラーサンプルを使って物体色見え方の違いを数値で表したものです。 色の忠実性を見るための指標（Rf）と光源のもつ鮮やかさの指標（Rg）が有ります。

用語	説明
SSI	Spectral Similarity Index の略で、映画芸術科学アカデミー（Academy of Motion Picture Arts and Sciences）が提唱した評価方法。 基準光源に対して、測定した光源の違いを数値で表したものです。 光源の分光的な相似性を評価する指標（SSI）です。
TLCI-2012	Television Lighting Consistency Index の略で、欧州放送連盟（EBU）が提唱した評価方法。 基準の光源に対して、カメラのセンサー特性を加味して 18 色のカラーサンプルを使って物体色の見え方の違いを数値で表したものです。 テレビ用照明器具の整合性を評価する指標（TLCI）です。
TLMF-2013	Television Luminaire Matching Factor の略で、欧州放送連盟（EBU）が提唱した評価方法。 計算方式は TLCI を流用し、実際に使用する 2 種類の光源間に対して、分光特性の整合性を数値で表したものです。 テレビ用照明器具間の整合性を評価する指標（TLMF）です。
CIE1931	CIE で 1931 年に採択した等色関数 $\bar{x}(\lambda)$ 、 $\bar{y}(\lambda)$ 、 $\bar{z}(\lambda)$ に基づく三色表色系です。（2°視野 XYZ 表色系ともいいます。）観測視野が視角 4°以下の場合に適用します。
CIE1964	CIE で 1964 年に採択した等色関数 $\bar{x}_{10}(\lambda)$ 、 $\bar{y}_{10}(\lambda)$ 、 $\bar{z}_{10}(\lambda)$ に基づく三色表色系です。（10°視野 XYZ 表色系ともいいます。）観測視野が視角 4°を超える場合に適用します。
CIE1976	CIE で 1976 年に定められた色度図上の全ての個所において、輝度の等しい色の感覚差が図上の幾何学的距離にほぼ比例するように意図して目盛を定めた色度図です。XYZ 表色系の三刺激値 X、Y、Z または色度座標 x、y から計算式により算出します。
視野	視野とは色を見る角度のことで、人間の色の見え方は視覚（物体の大きさ）に影響されます。従って色測定の際には人間の色感覚を規制する必要があるため、2 度視野と 10 度視野の分光感度が CIE や JIS で決められています。例えば、観察者が 50 cm の位置で直径 1.7 cm の試料を観察し、色を判定する場合は 2 度視野で、同じ距離で直径 8.8cm の試料を観察する場合は 10 度視野です。 2 度視野は視覚が 1 度～4 度用で、10 度視野は視覚が 4 度以上の場合に用います。
光合成光量子束密度	光合成光量子束密度とは光合成に必要とされる 400nm から 700nm の波長での光量子が単位時間・単位面積あたりに入射する個数のことである。 単位は $\mu \text{ mol m}^{-2}\text{s}^{-1}$ で表す。

8-2

仕様

形式

- CMOS リニアイメージセンサー内蔵分光色彩照度計

照度計の階級

- JIS C 1609-1:2006 一般形 A 級照度計に準拠
- DIN 5032 Part 7 Class C に準拠

受光方式

- 入射光式

受光部

- 白色拡散板（固定）

受光素子

- CMOS リニアイメージセンサー 128 画素

測定方式

- | | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • 測定モード | <ul style="list-style-type: none"> • 定常光 • フラッシュ光 | 定常光モード
シンクロコードを用いて測定（接続モード）
シンクロコードなしで測定（コードレスモード） |
| <ul style="list-style-type: none"> • 表示モード | | テキストモード、スペクトルモード、
スペクトル比較モード、CRI モード、
CRI 比較モード、TM-30 モード、
SSI モード、TLCI/TLMF モード、
CIE1931（CIE1964）モード、
CIE1931（CIE1964）比較モード、
CIE1976 モード、
CIE1976 比較モード |

測定項目

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • T_{cp} • Δuv • $X, Y, Z / X_{10}, Y_{10}, Z_{10}$ • $x, y, z / x_{10}, y_{10}, z_{10}$ • $u', v' / u'_{10}, v'_{10}$ • $\lambda d / \lambda d_{10}$ • $P_e / P_{e,10}$ • λ_p • $Lux, fc / Hlx, Hfc$ | 相関色温度
偏差
三刺激値
CIE1931（CIE1964）色度座標
CIE1976 UCS 色度座標
主波長
刺激純度
ピーク波長
照度 / 露光量 |
|--|---|

測定項目

• Ra	平均演色評価数
• R1 ~ R15	特殊演色評価数
• Rf, Rg	
• SSlt, SSld	
• TLCI	
• TLMF	
• PPFd	光合成有効光量子束密度

測定範囲

• 照度	• 定常光	1 lx ~ 200,000 lx
• 露光量	• フラッシュ光	レンジ L : 20 lx·s ~ 640 lx·s レンジ H : 580 lx·s ~ 20,500 lx·s
• 光合成有効光量子束密度		0.0 ~ 9999.9 μ mol m ⁻² s ⁻¹
• 演色評価	• CRI	Ra, R1 ~ R15 -100.0 ~ 100.0
	• TM-30	Rf 0 ~ 100 Rg 0 ~ 200
	• SSI	SSI 0 ~ 100
	• TLCI-2012	Qa 0 ~ 100
	• TLMF-2013	∠ Qa 0 ~ 100

確度

• 照度	指示値の± 5 % ± 1 digit (JISC1609-1:2006 一般形 A 級照度計に準拠)
• xy	± 0.003 (A 光源、800 lx)

繰り返し性 (2σ)

• 照度	1 % + 1 digit (A 光源、30 lx ~ 200,000 lx)、 5 % + 1 digit (A 光源、1 lx ~ 29.9 lx)
• xy	• 0.001 (A 光源、500 lx ~ 200,000 lx) • 0.002 (A 光源、100 lx ~ 499 lx) • 0.004 (A 光源、30 lx ~ 99 lx) • 0.008 (A 光源、5 lx ~ 29.9 lx)

可視域相対分光**応答度特性**

• f1'	9 % 以下 (JISC1609-1:2006 一般形 A 級照度計に準拠)
-------	--

斜入射光特性

• f2	6 % 以下 (JISC1609-1:2006 一般形 A 級照度計に準拠)
------	--

温度特性

• 照度	指示値の± 5 % (JISC1609-1:2006 一般形 A 級照度計に準拠)
• xy	± 0.006 (A 光源、1000 lx)


湿度特性

• 照度	指示値の± 3 % (JISC1609-1:2006 一般形 A 級照度計に準拠)
• xy	± 0.006 (A 光源、1000 lx)

表示範囲

• 色温度	1,563 K ~ 100,000 K (5 lx ~ 200,000 lx)
• 照度	• 定常光 1 lx ~ 200,000 lx (上位 3 桁有効)
• 露光量	• フラッシュ光 20 lx・s ~ 20,500 lx・s、1.86 fc・s ~ 1,900 fc・s (上位 3 桁有効)
• シャッター速度	• フラッシュ光 1 秒 ~ 1/500 秒
• 演色評価	• CRI Ra, R1 ~ R15 -100.0 ~ 100.0
	• TM-30 Rf 0 ~ 100
	Rg 0 ~ 200
	• SSI SSI 0 ~ 100
	• TLCI-2012 Qa 0 ~ 100
	• TLMF-2013 Δ Qa 0 ~ 100

その他の機能

• プリセット設定機能	• プリセット No.1 ~ 5
• 本体設定	• 5 項目設定可能
• メモリー機能	• 999 回まで可能
• メモリークリアー・リコール機能	
• 測定範囲外及び表示範囲外	• [Under] アンダー、[Over] オーバーの警告表示
• 電池残量表示機能	• 4 段表示
• 自動電源オフ機能	• 最終操作後約 20 分、約 10 分、約 5 分、なしから選択可能
• 液晶バックライト (EL)	• 明るさは明るい、普通、暗いから選択可能
	• 減灯時間は最終操作後約 5 秒、10 秒、20 秒、40 秒、60 秒、減灯しないから選択可能
• タッチパネルロック機能	• 本体のメニューボタン  を 3 秒間押し続けると、ロックとロックの解除が可能
• 三脚用ネジ穴付き	• 1/4in、20 山

使用液晶

- 液晶表示画素数 • 4.3 インチ QVGA 480 × 800 ドット

推奨電池

- 単三形電池 • 1.5V × 2本 アルカリ、マンガン

電源

- USB 接続によるバスパワー • 5V/500mA以下(パソコン接続時にUSBケーブルより供給)

使用周囲温度

- -10℃～40℃ (但し、結露しない事)

使用周囲湿度

- 85% RH 以下 (35℃のとき) (但し、結露しない事)

輸送保管条件

- -10℃～60℃ (但し、結露しない事)

寸法

- 約 73 (幅) × 183 (高さ) × 27 (厚さ) mm (受光部含まず) (最大厚さ 40 mm)

質量

- (C-7000) 約 230 g (電池含まず)

標準付属品

- CD-ROM (使用説明書 (本書) とアプリケーション (Win、Mac))、ソフトケース、ストラップ、スタートアップガイド (保証書付き)、安全上のご注意、要求事項と安全上のご注意、USB ミニ B ケーブル

※ 「照度単位」は本体が各国の法規制によって "fc (fc・)" を使わないモデル <JT50> の場合、表示しません。なお、() 内は露光量を表す単位です。

※ この使用説明書に記載の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

測定基準面

- 受光部の先端

CIE 標準イルミナント A に対する一般照明用光源の色補正係数：C-7000

光源	色補正係数	光源	色補正係数
補助標準イルミナント B	0.984	蛍光ランプ F10	0.983
補助標準イルミナント C	0.978	高圧ナトリウムランプ	1.022
CIE 標準イルミナント D ₆₅	0.977	メタルハライドランプ H1	0.978
蛍光ランプ F6	0.995	メタルハライドランプ H2	0.992
蛍光ランプ F8	0.983	高圧水銀ランプ	0.990

C-7000 の相対分光応答度特性は、標準分光視感効率 $V(\lambda)$ からの誤差が小さいため (f_1 : 9% 以下)、通常の使い方では色補正係数による補正は必要ありません。

距離の逆二乗則の成立する距離範囲

- 測定基準面より 50 cm 以上

入射均一性について

- 本器は、受光面上を照度分布がほぼ均一な光が完全に覆うような状態で使用することを想定しています。
指向性の強い光源や配光特性の不均一な場合には、誤差が生じることがあります。

8-3 法的要求事項

法的要求事項

本製品は下記の法的順守事項に準拠しています。

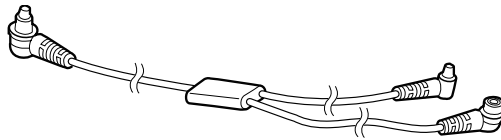
仕向け地	規格	詳細
日本	環境関連	容器包装リサイクル法

9. 別売アクセサリ

■ シンクロコード

長さ 5 m のコードは 3 つのプラグを持ち、カラーメーター、フラッシュとカメラを接続同調させることができますので、撮影する時にもコードを差し換える必要がなく便利です。また、シンクロコードのカラーメーター側の接続端子（オス）は、抜け防止用にロック機構がついています。

（カラーメーター側オス端子 1 個－オス端子 1 個・メス端子 1 個）



10. トラブルシューティング

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理をご依頼される前にもう一度ご確認ください。下記の点検をしても正常に動作しない場合は、本機の故障の可能性があります。電池を取り外して購入先または弊社まで修理をご依頼ください。

状態	点検項目	対処方法
パワーオンしない (表示しない)	電源ボタンを1秒以上長押ししていますか？	電源ボタンを1秒以上長押ししてください。
	電池は⊕⊖が正しく入っていますか？	⊕⊖表示を確認してください。 (➡P4)
	電池の容量はありますか？	電池を交換してください。(➡P10)
	電池の端子が汚れていませんか？	乾いた布で拭いてください。
	電池は指定の製品が入っていますか？	電池を確認してください。(➡P4)
液晶が反応しない	画面のロックが設定されていませんか？	メニューボタン 6 を長押しして画面のロックを解除してください。 (➡P20)
測定できない	C-700、C-7000 シリーズユーティリティのソフトを使用していますか？	ソフトを終了してください。
測定値がおかしい	光量切り換えリングが中間位置になっていませんか？配光特性が変わり適正な測定ができません。	カチッと音がするまで光量切り換えリングを回してください。
	測定モードを間違っていないか？ (フラッシュ光なのに定常光モードで測定している、など)	正しい測定モードを選択しているかどうか確認してください。(➡P23)
	フラッシュ光コードレスモードで測定するときにはフラッシュのプリ発光機能を使用していないか？	フラッシュ光コードレスモードでは、最初のプリ発光を測定してしまい、本発光の測定値を表示できない場合があります。フラッシュのプリ発光機能を解除してください。
分光式カラーメーターの設定値・測定値がカメラの設定値にない	カメラのシャッター速度や絞りの設定のステップと分光式カラーメーターのシャッター速度や絞りの設定ステップは合っていますか？	分光式カラーメーターのステップをカメラのステップに合わせてください。(シャッター速度ステップ) (➡P26)

状態	点検項目	対処方法
メモリーできない	差分測定モードになっていませんか？	差分測定モードではメモリー機能は使用できません。差分測定モードを解除してください。
	メモリーボタンを押したときに「メモリーが一杯です。」と出ていませんか？	メモリーできる回数は最大 999 回までです。 必要のないメモリー値をクリアしてから使用してください。

11. アフターサービスについて

※弊社の製品には一定の期間内無償修理をお引き受けする保証書があります。記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

■ 保証期間などについて

1. 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
2. 保証書にお買い上げ日および販売店名のないものは保証の対象になりませんので、必ずお確かめください。
3. 保証期間内でも有償修理となる場合もありますので、保証書の記載事項をお確かめください。
4. 保証期間経過後の修理は有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

■ 補修用部品の保有期間などについて

1. 補修用性能部品は、製造打ち切り後7年間を目安に保有しております。したがって、本期間を過ぎますと修理をお引き受けできないことがあります。
2. 修理完了品には、弊社の修理納品書が発行されますのでお確かめください。
3. 修理可能期間内でも浸冠水、強度のショックその他損傷のいちじるしいもので、修理後の機能維持に問題が残ると思われるものにつきましては、修理不可能となる場合があります。

■ 修理ご依頼にあたって

1. 修理品につきましては、故障内容を、またご指定の修理箇所があります場合には、その指定箇所をできるだけ具体的にお申し出ください。ご指定のない場合には、各部点検査をはじめ品質的、性能的に必要と認められるすべてのところを検査・調整・修理することになり、修理料金が加算される場合がありますのでご注意ください。
2. 修理をご依頼されたものの中には単に電池を交換するだけで正常に作動する「故障していないもの」が見受けられます。電池の容量低下、(+) (-) の逆、定格違いなどについて、よくお確かめください。
3. 分解や改造（ソフトウェアを含む）による故障および損傷、または分解や改造された痕跡がある場合は修理をお断りしています。

■ お問い合わせについて

本製品の保証、修理、使い方などのお問い合わせは弊社営業部門にご相談ください。



ご参考

万一、製造上の不備で生じた不都合につきましては現品をもって保証させていただきます。それ以外の責任は負いかねます。

株式会社 セコニック

〒 178-8686

東京都練馬区大泉学園町 7-24-14

TEL : 03-3978-2366

FAX : 03-3922-2144

[https : //www.sekonic.co.jp](https://www.sekonic.co.jp)

JT5097614 (ja)
November 2022